

令和5年度第1回君津市介護保険運営協議会及び委嘱状交付式

日 時 令和5年7月26日(水)
19時00分～
会 場 君津市役所5階大会議室

委嘱状交付式

- 1 開 式
- 2 委嘱状交付
- 3 部長あいさつ
- 4 委員紹介(自己紹介)
- 5 閉 式

介護保険運営協議会

- 1 開 会
- 2 議 題
 - (1) 副会長の選出について
 - (2) 令和4年度君津市地域包括支援センターの事業実績及び決算報告について
 - (3) 令和5年度君津市地域包括支援センターの事業計画及び収支予算について
 - (4) 介護予防支援業務を委託する事業所について
 - (5) 第8期介護保険事業計画進捗報告について
 - (6) 第9期介護保険事業計画について
 - (7) その他
- 3 閉 会

君津市介護保険運営協議会について

1 介護保険運営協議会について

君津市の介護保険事業に関する運営状況及び施策の実施状況等について、その実施を円滑に行うため重要と認められる事項について審議をお願いするため設置するものです。

2 所掌事務

- (1) 介護保険事業の運営に関する事項
- (2) 介護保険事業計画に関する事項
- (3) その他、
介護保険事業に関し必要な事項、地域包括支援センターの事業評価
地域密着型サービス事業所の指定に係る意見聴取 等

3 設置根拠法令等

君津市介護保険条例及び君津市介護保険施行規則

○君津市介護保険条例（抜粋）

第2章の2 介護保険運営協議会

(設置)

第2条の2 市が行う介護保険事業の円滑かつ適正な運営に資するため、君津市介護保険運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条の3 協議会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 介護保険事業の運営に関する事項
- (2) 介護保険事業計画に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、介護保険事業に関し必要な事項

(組織)

第2条の4 協議会は、15人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 被保険者
- (2) 要介護者等の家族
- (3) 学識経験者
- (4) 保健医療関係者
- (5) 福祉関係者
- (6) 介護サービス事業者
- (7) 費用負担関係者

○君津市介護保険規則（抜粋）

第2章の2 介護保険運営協議会

（任期）

第5条の2 介護保険運営協議会（以下「協議会」という。）の委員の任期は、3年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（身分）

第5条の3 委員は、非常勤の特別職とする。

（会長及び副会長）

第5条の4 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条の5 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数でこれを決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

（守秘義務）

第5条の6 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

（庶務）

第5条の7 協議会の庶務は、福祉部介護保険課において処理する。

君津市介護保険運営協議会委員名簿

任期：令和3年7月27日～令和6年7月26日

役職	委員氏名	選出区分	推薦団体名	備考
1	会長 保住 寛	保健医療関係者	君津木更津医師会	
2	神 由紀彦	保健医療関係者	君津木更津歯科医師会	
3	兼子 健一	学識経験者	学校法人 君津あすなる学園 千葉医療福祉専門学校	
4	川嶋 昌弘	被保険者	君津市シニアクラブ連合会	
5	江尻 節子	被保険者	君津市赤十字奉仕団	
6	中野 久美子	被保険者	君津商工会議所	
7	渡辺 一男	福祉関係者	君津市民生委員児童委員協議会	
8	加藤 美代子	福祉関係者	社会福祉法人 君津市社会福祉協議会	
9	伊賀 浩	介護サービス事業者	一般社団法人 千葉県老人保健施設協会	
10	水野谷 繁	介護サービス事業者	君津四市高齢者福祉施設連絡協議会	
11	林 英一	介護サービス事業者	君津市介護支援専門員協議会	
12	箱田 純子	介護サービス事業者	一般社団法人 千葉県介護福祉士会	
13	津金澤 寛	介護サービス事業者	君津市介護サービス研究会	
14	大古 政昭	費用負担関係者	君津市農業協同組合	
15	高野 摂子	要介護者等の家族	認知症介護者ネットきみつ	

令和4年度
君津市地域包括支援センター
事業実績・決算報告

君津市福祉部高齢者支援課

令和4年度 君津市地域包括支援室 事業実績報告書

センター名		君津市地域包括支援室	
実施期間		令和4年4月1日から令和5年3月31日まで	
		目 標 (当初)	取組実績
総合相談支援		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に関するさまざまな相談を受け止め、地域包括支援室に相談をすると、あらゆるサービスの調整まで可能になるといったワンストップサービス拠点としての機能を果たす。 高齢者の総合相談窓口であることを広く市民に知ってもらうための周知活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者本人や家族、地域の方、医療・介護関係者等からの高齢者に関する相談を随時受け付け、保健・医療・福祉サービスや関係機関、制度に繋げ、必要に応じ、継続的に支援を行った。 窓口チラシを置くとともに広報誌やホームページに掲載し、地域包括支援センターの役割等を広く市民に知ってもらうよう周知活動を行った。
	権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害防止に向け、成年後見制度の活用を支援する。 高齢者虐待の発見・通報があった場合、適切かつ速やかに対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の状況により、成年後見制度や日常生活自立支援事業の情報提供と必要に応じて制度につなげる支援を行った。 高齢者虐待については、関係機関と連携し、迅速な対応により被虐待者の保護を図った。
業 務 別	包括的・継続的ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議等を実施し、地域課題の把握や自立に向けての方策を検討する。 困難事例等に対応する介護支援専門員を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援・介護予防の観点から踏まえ、QOLの向上を図ることを目的とした自立支援型個別地域ケア会議を6回、12事例、困難事例1回、1事例を開催した。 担当地域の介護支援専門員が企画・運営し、君津市地域包括支援室の主任介護支援専門員が運営を支援する形式のケアマネ交流会をZoomの活用により実施し、情報交換等行いスキルアップを図った。また、介護支援専門員が抱える困難事例等の相談については、必要に応じ、医療や関係機関、市の他部署と連携するなどの対応により支援を行った。
	介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> 生活機能低下の恐れのある高齢者へ訪問し、相談等を行うことで、要介護状態を未然に防ぐ。 介護予防に関する啓発活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる恐れのある高齢者に対し、社会福祉士が訪問、介護予防指導等を実施した。 介護予防啓発パンフレットの配布等も併せて行った。
	指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者ができる限り在宅で自立した日常生活を継続できるように、適切なサービスを提供し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの身体状況や環境等を考慮し、利用者が主体的に介護予防に取り組めるよう適切な支援を行った。 セルフマネジメントを推進するため、健康長寿のための健康づくりのポイント等のパンフレットを活用した。

その他	<p><地域包括支援センター運営事業委託事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹型として、市内の地域包括支援センターとの連絡調整、連携、統括、支援及び指導を行う。 <p>【以下、基幹型包括として実施する事業】</p> <p><在宅医療・介護連携推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・介護連携推進事業の実施に向けた調整を行う。 <p><包括的支援事業・任意事業事務費></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症への正しい知識と理解の普及啓発を行う。 ・ 認知症の方及びその家族が抱える課題について、支援を行うとともに、地域で支えあう体制づくりに取り組む。 <p><生活支援体制整備事業費></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2層生活支援コーディネーターと各地域包括支援センターとの連携を推進する。 <p><介護予防・生活支援サービス事業費></p> <p>【重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民主体型サービス事業の補助制度の策定 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員研修の受講 千葉県地域包括支援センター職員初任者研修 認知症地域支援推進員新任研修 千葉県キャラバンメイト養成研修 千葉県認知症サポーターステップアップ講座指導者研修 千葉県チームオレンジコーディネーター研修 認知症初期集中支援チーム員フォローアップ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市直営という立場から、市の方針等を各センターに伝達し、共通認識のもと連携しながら事業が実施するとともに、必要に応じた支援・指導・統括・連絡調整を行った。 ・ 職種ごとに定期的に連絡会議を行い、情報交換や支援を行った。 ・ 在宅医療介護連携推進に向け、 (ア) 協議会事務局として、2回協議会を開催した。 (イ) 多職種研修会を開催した。 (ウ) 医療・介護の連携推進を図るためのエチケット集や市内の医療資源一覧を修正した。 (エ) 市民向け講演会を開催した。 (オ) 相談窓口として、親族からの相談を受け、1事例について、サポート医から助言を受け相談者へフィードバックした。 ・ 高齢者に接する機会の多い君津警察署員を対象に認知症サポーター養成講座を行う等、普及啓発活動を行った。 ・ チームオレンジの構築に向け、要領を作成した。 ・ 認知症予防として、軽度認知障害に関する普及啓発や自己診断ツールの検討をし、相談先を案内する仕組みづくりに取り組んだ。 ・ 医師及び地域包括支援室職員にて構成された「認知症初期集中支援チーム」を10回開催し、3件の事例に対応した。 ・ 生活支援体制整備として、第1層と第2層の生活支援コーディネーターと連携し、地域包括支援センターが主導的に生活支援コーディネーターと関わる仕組みづくりについて検討し、令和4年度より毎月地区担当生活支援コーディネーターと各地域包括支援センターが地域の支援ケースについて協議できる体制を構築した。 ・ 君津市高齢者助け合いサービス事業補助金交付要綱を制定し、令和5年4月1日から施行した。 <p>新任2名受講 新任2名受講 新任2名受講 新任2名受講 2名受講 1名受講</p>
	総合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステムの実現に向けた中核的な機関として、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。 ・ 在宅医療・介護連携推進協議会の開催や地域ケア会議を開催するとともに、医師会主催の会議やリハビリテーション協議会、君津市介護支援専門員協議会等へ出席し、情報交換や地域ネットワークの構築に努めた。 ・ 基幹型として各センターの統括、連携調整・情報提供をするとともに市直営として市他部署や社会福祉協議会、民生委員、自治会長など関係機関との連携・協力、高齢者の安否確認等を行った。

別表：個別処理件数

令和4年度 事業実績報告書 別表

センター名 君津市地域包括支援室

1 総合相談支援

相談件数	5,038件
来所	631件
電話	3,591件
訪問	816件

2 権利擁護

虐待（疑含む）件数	11件
身体的虐待	7件
経済的虐待	4件
精神的虐待	0件
性的虐待	0件
介護放棄	0件
成年後見制度利用	9件
消費者被害	0件
困難事例	2件
その他	0件
計	22件

3 包括的・継続的ケアマネジメント

18件

4 介護予防事業

		新規	委託連 携加算	新規+委託 連携加算	継続	合計
介護予防支援事業件数 （総合事業以外）	包括分	11件	/	/	263件	274件
	委託分	1件	1件	21件	654件	677件
	計	12件	1件	21件	917件	951件
介護予防 ケアマネジメント件数 （総合事業）	包括分	22件	/	/	209件	231件
	委託分	0件	0件	24件	529件	553件
	計	22件	0件	24件	738件	784件

5 地域ケア会議

自立支援型

日付	会場	参加人数
6月17日	オンライン (君津市役所502会議室)	21人
8月19日	オンライン (君津市役所502会議室)	20人
10月21日	オンライン (君津市役所502会議室)	26人
12月16日	オンライン (君津市役所502会議室)	26人
2月3日	オンライン (君津市役所502会議室)	27人
3月3日	オンライン (君津市役所502会議室)	29人

困難事例

日付	会場	参加人数
12月16日	オンライン (君津市役所502会議室)	15人

6 認知症サポーター養成講座

日付	団体名	受講者数	対象
5月25日	君津警察署	18人	君津市勤務
7月13日	君津中央病院附属看護学校	5人	看護学生
10月17日	君津中央病院附属看護学校	6人	看護学生
11月2日	君津中央病院附属看護学校	6人	看護学生
11月10日	生涯学習交流センター	13人	市民
11月24日	社会福祉協議会	19人	あんしん事業協力会員
3月17日	ノバメディクス、 サロンドタビダチ	11人	介護・障害支援者

延べ受講者数 78人

7 会議及び研修等（開催・講師派遣等の依頼を受けたもの）

日付	テーマ等	会場	参加人数	対象
4月18日	君津市介護支援専門員協議会役員会	z o o m	8人	君津市介護支援専門員協議会役員
4月18日	生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター3階作業多機能室	17人	生活支援コーディネーター1層、2層
4月21日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター2階会議室3	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
5月12日	第1回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所1階第3面談室	14人	君津市包括職員
5月19日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター2階会議室3	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
5月25日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所1階第3面談室	8人	君津市包括社会福祉士
5月27日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所403会議室	5人	君津市包括看護職
6月13日	君津市介護支援専門員協議会役員会	z o o m	10人	君津市介護支援専門員協議会役員
6月16日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター2階会議室3	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
6月20日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所501会議室	6人	君津市包括社会福祉士
6月23日	君津市介護支援専門員協議会総会	君津市役所202会議室（zoom）	80人	ケアマネ協議会会員
7月6日	第2回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所202会議室（zoom）	6人	主任介護支援専門員
7月8日	第2回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所1階第3面談室	8人	君津市包括職員
7月11日	第1回オンラインケアマネ交流会	君津市役所501会議室（zoom）	6人	担当地区のケアマネ事業所
7月15日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所401会議室	5人	君津市包括看護職
7月19日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所501会議室	7人	君津市包括社会福祉士
7月21日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター2階会議室3	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
8月15日	第2回オンラインケアマネ交流会	君津市役所502会議室（zoom）	8人	担当地区のケアマネ事業所
8月18日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター2階会議室3	4人	生活支援コーディネーター1層、2層
8月29日	令和4年度第2回介護保険運営協議会	z o o m	23人	介護保険運営協議会委員15名、事務局8名
9月15日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所502会議室	7人	君津市包括社会福祉士
9月22日	令和4年度第1回認知症価値域支援体制全国合同セミナー	君津市役所502会議室（zoom）	2人	社会福祉士
9月22日	第2回君津市地域包括支援センター主マネ連絡会議	君津市役所1階第3面談室	6人	主任介護支援専門員
9月30日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所401会議室	5人	君津市包括看護職
10月21日	すなみほっとサロンにてサポーターについて研修	周南公民館	20人	すなみほっとサロン参加者及びスタッフ
10月28日	君津市介護支援専門員協議会役員会	地下職員組合会議室（zoom）	10人	介護支援専門員
11月4日	君津市介護支援専門員協議会研修会	君津市役所401会議室（zoom）	45人	介護支援専門員

日付	テーマ等	会場	参加人数	対象
11月16日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所 501 会議室	7人	君津市包括社会福祉士
11月17日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター3階作業多機能室	4人	生活支援コーディネーター1層、2層
11月18日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所 401 会議室	6人	君津市包括看護職
11月21日	第3回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所 1階 第3面談室	6人	君津市包括職員
11月22日	令和4年度第3回介護保険運営協議会	君津市役所 6階 災害対策室	20人	介護保険運営協議会委員13名、事務局7名
12月12日	君津市介護支援専門員協議会役員会	君津市役所 401 会議室 (zoom)	10人	介護支援専門員
12月21日	第3回オンラインケアマネ交流会	君津市役所 502 会議室 (zoom)	6人	担当地区のケアマネ事業所
1月12日	君津市ケアマネ協議会役員会	君津市役所 401 会議室 (zoom)	10人	介護支援専門員
1月12日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター3階作業多機能室	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
1月19日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所 501 会議室	7人	君津市包括社会福祉士
2月6日	第3回君津市地域包括支援センター主マネ連絡会議	君津市役所 1階 第3面談室	6人	主任介護支援専門員
2月16日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター3階作業多機能室	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
2月16日	第4回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所 1階 第3面談室	5人	君津市包括職員
3月1日	まちづくりふれあい講座	大野台自治会館	6人	大野台体操クラブ
3月2日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所 502 会議室	6人	君津市包括社会福祉士
3月16日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター2階会議室3	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
3月17日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所 401 会議室	6人	君津市包括看護職
3月24日	令和4年度第4回介護保険運営協議会	君津市役所 5階 大会議室	20人	介護保険運営協議会委員14名、事務局6名

延べ参加人数 470人

令和4年度 君津市地域包括支援室 収支決算書

1 収支

単位：円

	予算額	決算額
年間収入	84,680,000	76,446,716
年間支出	84,680,000	76,446,716
年間収支	0	0

2 介護予防支援事業

(収入)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
介護予防支援事業収入	5,960,000	4,345,540	初回 R3. 10. 1～ 7,534 円× 15 件= 113,010 円 初回+委託連携加算 R3. 10. 1～ 10,597 円× 18 件= 190,746 円 継続 R3. 10. 1～ 4,471 円×904 件=4,041,784 円 一般会計繰入金
合 計	1,559,000	1,028,918	
	7,519,000	5,374,458	

(支出)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
指定介護予防支援事業	7,519,000	5,374,458	旅費 4,992 円 消耗品費 31,800 円 通信運搬費 14,400 円 手数料 19,200 円 委託費 3,080,420 円 初回 R3. 10. 1～ 7,534 円× 1 件= 7,534 円 初回+委託連携加算 R3. 10. 1～ 10,597 円× 17 件= 180,149 円 継続 R3. 10. 1～ 4,471 円×647 件=2,892,737 円 システム使用料 2,175,984 円 研修費 47,662 円
合 計	7,519,000	5,374,458	

3 包括的支援事業等

(収入)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
介護保険料、国庫補助金、 県補助金等	77,161,000	71,072,258	
合 計	77,161,000	71,072,258	

(支出)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
一般職員人件費	57,070,000	55,269,923	給料 26,525,442 円 手当 14,060,367 円 共済費 7,822,710 円 負担金(公務災害補償金) 34,911 円 負担金(総合事務組合負担金) 6,826,493 円
介護予防・生活支援サービ ス事業費	648,000	0	補助金 0 円
一般介護予防事業費	3,761,000	2,316,359	報酬 1,203,636 円 手当 225,933 円 共済費 232,883 円 報償費 560,500 円 旅費 42,180 円 消耗品費 51,227 円
徘徊高齢者等家族支援サー ビス利用助成事業費	78,000	4,200	通信運搬費 0 円 補助金 4,200 円
認知症対応型共同生活介 護事業所家賃等助成事業 費	731,000	0	通信運搬費 0 円 補助金 0 円
生活支援体制整備事業費	12,479,000	11,442,232	報償費 0 円 旅費 3,680 円 食糧費 0 円 消耗品費 440 円 通信運搬費 0 円 保険料 38,112 円 委託費 11,400,000 円 借上料 0 円 研修費 0 円
在宅医療・介護連携推進事 業費	1,474,000	1,413,930	報償費 125,000 円 旅費 0 円 消耗品費 16,930 円 通信運搬費 8,400 円 委託費 1,263,600 円
認知症総合支援事業費	395,000	177,950	報償費 100,000 円 旅費 1,312 円 消耗品費 638 円 通信運搬費 0 円 研修費 76,000 円
包括的支援事業・任意事業 事務費 ・ケア会議 ・認知症サポーター関係 ・認知症にやさしい地域づくり ネットワーク	525,000	447,664	報償費 225,000 円 旅費 3,152 円 食糧費 0 円 印刷製本費 13,750 円 消耗品費 10,688 円 通信運搬費 185,174 円 手数料 9,900 円
合 計	77,161,000	71,072,258	

令和4年度 君津市中部地域包括支援センター 事業報告書

センター名		君津市中部地域包括支援センター	
実施期間		令和4年4月1日から令和5年3月31日まで	
		目 標 (当初)	取組実績
業 務 別	総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む高齢者等に関するさまざまな相談を受け止め、地域包括支援センターに相談すると、あらゆるサービスの調整まで可能になるといったワンストップサービス拠点としての機能を果たす。 ・安心して総合相談ができる窓口を目指し、個々の職員がより一層の利用者理解に努めるとともに専門家に迅速につなげることにより、相談機能の強化・充実化を図る。 重点項目 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ機能として、いつでも包括に相談が来れば、迅速に対応し、関係機関に繋げている。 ・3職種で連携し高齢者のニーズや地域の実態把握に努め、解決に向けた地域のネットワーク作りに取り組んでいる。 ・9月と3月に「中部包括だより」を作成し、地域包括支援センターの役割等を広く市民に知ってもらえるよう、民生委員・居宅介護支援事業所・地域住民に配布することで周知活動を行った。
	権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見、高齢者虐待、消費者被害等の法律や制度を理解し、警察等の関係機関とネットワーク化、解決に努める。 ・高齢者虐待の発見、通報があった場合、君津市高齢者虐待対応連携マニュアルに基づき、市に迅速に連絡し、指導の下適切に対応する。 ・認知症への正しい知識と理解の普及啓発を行い、認知症高齢者を地域で見守る体制作りを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症や精神障害のある人への支援を関係機関と連携し行い、成年後見制度や日常生活自立支援事業等、必要に応じて制度に繋げる支援を行った。 ・高齢者虐待について、発見や通報があった場合は高齢者支援課に連絡を入れて指示を受け、迅速な対応により被虐待者の保護を図った。 ・ケアハウスの入居者および職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。
	包括的・継続的ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議を実施し、個別ニーズや地域課題を見出すと共に、解決に向けての方策を検討する。 重点項目 ・困難事例等に対応する介護支援専門員を支援し、多職種連携等の環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の地域ケア会議を1回、1事例開催した。 ・包括支援室が開催する自立支援型地域ケア会議に参加した。 ・困難事例の解決に向けてケアマネージャーと協働で取り組み、関係機関と連携するなどの対応により支援を行った。 ・介護支援専門員のスキルアップ・資質向上の研修会として企画会議および事例検討会等の研修を年4回開催した。
	介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防活動に関する市民向けの講座等の実施、市民向けの介護予防の普及・啓発を図る。 ・生活機能の低下の恐れのある高齢者の予防及び日常生活支援を目的に、適切なサービスが提供されるようケアマネジメントを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の出張講座等は、コロナ禍のため開催できなかったが、民生委員協議会の定例会にて、認知症に関することや口腔機能の維持向上等の説明を行い、介護予防の普及・啓発を図った。 ・健康長寿の為に健康づくりのポイント等のパンフレットを活用し、要介護状態になる恐れのある高齢者に介護予防の啓発を行った。

<p>指定介護予防支援事業支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者ができる限り在宅で自立した日常生活を継続できるよう、適切なサービスを提供し住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が生活機能の改善を実現するための適切なサービスが選択できるように、目標志向型の介護予防のケアプラン作成を行っている。 ・君津市内外の居宅介護支援事業所の協力を得ながら、高齢者の地域で自立した生活を支援している。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の方針や公益性を充分認識し、公正・中立の下、事業を行う。 ・認知症の方やその家族を支援する相談業務を行う。 ・日常生活上の支援を行う為の体制整備を行う。 ・迅速且つ的確な対応ができるために包括職員の更なるスキルアップをする。職員の資質向上のための研修体制の整備を行う。重点項目 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託包括として、直営の地域包括支援室の指導を受け、東部地域包括支援センター・小糸・清和地域包括支援センターと連携し、共通認識の下で事業を実施している。 ・地域包括支援センターのセンター長会議・3職種の連絡会議に出席し、情報共有・ケース検討を行った。 ・認知症に関する相談に対し、介護保険サービスに結び付けるだけでなく、医療機関や必要な制度・社会資源を提案し、主介護者の介護負担の軽減を図るよう努めた。 ・月1回の地域包括支援センターと第1層生活支援コーディネーター・第2層生活支援コーディネーターとの連絡会を開催し、情報提供、支援等を行った。 ・新任の職員の研修受講 千葉県地域包括支援センター職員初任者研修 キャラバン・メイト養成研修 ・現任の職員の研修受講 千葉県地域包括支援センター職員現任研修 認知症地域支援推進員研修
<p>総合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築・深化に向けて、介護・医療・福祉等の地域の関係機関とのネットワークの構築や利用可能な地域資源の把握に努め、高齢者の健康保持と生活安定の為に必要な相談・援助を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターとして、ささいな問題でも相談者の立場を心がけ、日々、職務に取り組んでいる。 ・地域にある職能団体やボランティア、市民グループと関わりを持ち連携し、ネットワーク作りを心がけ、単身生活でも安心して生きがいを持ち住める社会になることを目指し業務を行っている。

別表：個別処理件数

令和4年度 事業報告書 別表

センター名 君津市中部地域包括支援センター

1 総合相談支援

相談件数	1, 719件
来所	141件
電話	1, 321件
訪問	257件

2 権利擁護

虐待（疑含む）件数	34件
身体的虐待	26件
経済的虐待	8件
精神的虐待	0件
性的虐待	0件
介護放棄	0件
成年後見制度利用	22件
消費者被害	0件
困難事例	27件
その他	0件
計	83件

3 包括的・継続的ケアマネジメント

4件

4 介護予防事業

		新規	委託連携 加算	新規+委託 連携加算	継続	合計
介護予防支援事業 件数 (総合事業以外)	包括分	4件			308件	312件
	委託分	3件	0件	19件	952件	974件
	計	7件	0件	19件	1, 260件	1, 286件
介護予防 ケアマネジメント 件数 (総合事業)	包括分	5件			333件	338件
	委託分	4件	1件	42件	853件	900件
	計	9件	1件	42件	1, 186件	1, 238件

5 地域ケア会議

困難事例

日付	会場	参加人数
2月1日	ふれあい館1階集団指導室	15人

6 認知症サポーター養成講座

日付	団体名	受講者数	対象
5月17日	ケアハウス グランディきみつ	44人	入居者・家族・職員

7 会議及び研修等（開催・講師派遣等の依頼を受けたもの）

日付	テーマ	会場	参加人数	対象
4月18日	君津市介護支援専門員協議会役員会	zoom	8人	君津市介護支援専門員協議会役員
4月18日	生活支援コーディネーター連絡会議	ふれあい館 3階 作業多機能室	17人	生活支援コーディネーター1層、2層
5月12日	第1回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所 1階 第3面談室	14人	君津市包括職員
5月25日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所 1階 第3面談室	8人	君津市包括社会福祉士
5月27日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所 403会議室	5人	君津市包括看護職
6月7日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	ふれあい館 3階 グループ団体室	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
6月20日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所 501会議室	6人	君津市包括社会福祉士
6月23日	君津市介護支援専門員協議会総会	君津市役所 202会議室(zoom)	80人	ケアマネ協議会会員
6月24日	令和4年度ケアマネ研修会企画会議	ふれあい館 3階 グループ団体室	12人	居宅介護支援事業所 ケアマネージャー
7月5日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	ふれあい館 3階 グループ団体室	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
7月6日	第1回君津市地域包括支援センター主マネ連絡会議	君津市役所 501会議室	6人	主任介護支援専門員
7月8日	第2回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所 1階 第3面談室	8人	君津市包括職員

日付	テーマ	会場	参加人数	対象
7月15日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所 401 会議室	5人	君津市包括看護職
7月19日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所 501 会議室	7人	君津市包括社会福祉士
8月29日	令和4年度第2回介護保険運営協議会	z o o m	23人	介護保険運営協議会委員15名、事務局8名
9月6日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	ふれあい館 3階 グループ団体室	6人	生活支援コーディネーター1層、2層
9月12日	君津市介護支援専門員協議会役員会	z o o m	9人	君津市介護支援専門員協議会役員
9月15日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所 502 会議室	7人	君津市包括社会福祉士
9月16日	令和4年度介護支援専門員研修会 事例検討会	ふれあい館 3階 グループ団体室	12人	介護支援専門員
9月22日	第2回君津市地域包括支援センター主マネ連絡会議	君津市役所 1階 第3面談室	6人	主任介護支援専門員
9月30日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所 401 会議室	5人	君津市包括看護職
10月4日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	ふれあい館 3階 グループ団体室	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
11月1日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	ふれあい館 3階 グループ団体室	3人	生活支援コーディネーター1層、2層
11月16日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所 501 会議室	7人	君津市包括社会福祉士
11月18日	令和4年度介護支援専門員研修会 事例検討会	ふれあい館 1階 会議室1	14人	介護支援専門員
11月18日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所 401 会議室	6人	君津市包括看護職
11月21日	第3回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所1階第 3面談室	6人	君津市包括職員
12月6日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	ふれあい館 3階 グループ団体室	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
12月12日	君津市介護支援専門員協議会役員会	z o o m	10人	君津市介護支援専門員協議会役員
1月10日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	ふれあい館 3階 グループ団体室	4人	生活支援コーディネーター1層、2層
1月19日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所 501 会議室	7人	君津市包括社会福祉士

日付	テーマ	会場	参加人数	対象
2月6日	第3回君津市地域包括支援センター主マネ連絡会議	君津市役所 1階 第3面談室	6人	主任介護支援専門員
2月7日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	ふれあい館 3階 グループ団体室	5人	生活支援コーディネーター1層、2層
2月16日	第4回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所 1階 第3面談室	5人	君津市包括職員
2月17日	令和4年度介護支援専門員研修会 事例検討会	ふれあい館 3階 作業多機能室	12人	介護支援専門員
3月2日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所 502会議室	6人	君津市包括社会福祉士
3月7日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	ふれあい館 3階 グループ団体室	4人	生活支援コーディネーター1層、2層
3月17日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所 401会議室	6人	君津市包括看護職
3月27日	君津市介護支援専門員協議会臨時役員会	ふれあい館 1階 会議室1	13人	君津市介護支援専門員協議会役員

延べ参加人数 378人

令和4年度 君津市中部地域包括支援センター 収支決算書

1 収支

単位：円

	予算額	決算額
年間収入	45,434,000	44,634,561
年間支出	45,434,000	44,634,561
年間収支	0	0

2 介護予防支援事業

(収入)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
介護予防支援事業収入	12,510,000	11,710,561	初回 7,534円× 17件= 128,078円 初回+委託連携 10,597円× 61件= 646,417円 継続 4,471円×2,446件=10,936,066円
合 計	12,510,000	11,710,561	

(支出)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
介護予防支援事業支出	12,510,000	11,710,561	人件費 2,689,248円 給与 1,965,732円 賞与 353,081円 福利厚生費 370,435円 事務経費 244,469円 通信費 81,087円 事務用品・消耗品費 62,290円 請求ソフト・端末等リース料 33,198円 会議費 10,000円 燃料費 52,239円 予備費 5,655円 業務委託費支出 8,776,844円 初回 7,534× 8件= 60,272円 初回+委託連携 10,597× 61件= 646,417円 継続 4,471×1,805件= 8,070,155円
合 計	12,510,000	11,710,561	

3 包括的支援事業等

(収入)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
委託料収入	32,924,000	32,924,000	包括的支援事業等委託料
合 計	32,924,000	32,924,000	

(支出)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明	
包括的支援事業等支出	32,924,000	32,924,000	人件費	29,880,546 円
			給与	21,841,472 円
			季節手当	3,923,123 円
			福利厚生費	4,115,951 円
			事務諸経費	3,043,454 円
			通信費	456,650 円
			水道光熱費	188,694 円
			保険料	7,918 円
			事務用品・消耗品費	208,285 円
			車輛リース料	372,873 円
			車輛燃料費（及びメンテナンス関連）	349,350 円
			コピー機リース・保守料	405,533 円
			パソコン等リース・保守料	888,072 円
			委託料	147,067 円
研修費	11,534 円			
予備費	7,478 円			
合 計	32,924,000	32,924,000		

令和4年度 君津市東部地域包括支援センター 事業報告書

センター名		君津市東部地域包括支援センター	
実施期間		令和4年4月1日から令和5年3月31日まで	
		目 標 (当初)	取組実績
業 務 別	総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者やその家族から寄せられる相談について、適切な保健、医療、福祉サービス等の関係機関及び制度の利用につなげる。 ・地域住民が相談しやすいように、地域包括支援センターの周知活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談は延べ1,774件の対応を行った。そのうち新規相談件数は209件だった。 ・精神疾患等のある家族についても、君津市障害福祉課と連携し支援を行った。 ・12月より民生委員児童員協議会が新体制となったため、上総地区、小櫃地区でそれぞれ包括についての説明を行い、リーフレットを配布した。
	権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の権利が侵害されることなく、住み慣れた地域で尊厳ある生活を続けていくために、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待について3件の通報があり、「君津市高齢者虐待対応マニュアル」をもとに高齢者支援課と連携し対応した。 ・上総地区、小櫃地区の民生委員児童員協議会において、消費者被害防止の啓発活動として国民生活センターのリーフレットを配布して注意喚起を行った。
	包括的・継続的ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議を開催し、個別課題解決の方策を検討すると共に、地域課題の抽出を行う。 ・困難事例の対応をしている介護支援専門委員の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月にひとり暮らしの認知症高齢者の方について個別の地域ケア会議を開催し、今後の在宅生活継続のための協議を行った。 ・同居家族に精神疾患や知的障害を抱えている場合のマネジメントなど、対応が困難なケースについて介護支援専門員の支援を行った。
	介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に関する啓発活動を行い、高齢者が主体的に介護予防に取り組むことができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康に関するテーマの記事を、上総公民館だより（6月、12月、3月号）に寄稿した。 ・11月に上総地区の住民に対して「認知症について」「高齢者の健康管理について」と題した出前講座を開催した。
	指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者が適切なサービス利用により心身機能が向上し、住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に介護予防に取り組むことができるように、利用者の意向を尊重した介護予防サービス計画書の作成に努めた。

<p style="text-align: center;">その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援室、中部地域包括支援センター、小糸・清和地域包括支援センターと連携し事業を実施する。 ・生活支援コーディネーターとの連携を強化する。 ・研修に参加し、包括職員として必要な知識や技術を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行われる各職種の連絡会及びセンター長会議に参加し情報共有やケース検討を行った。 ・毎月第3水曜日に生活支援コーディネーターと包括支援センターで連絡会を開催し、包括がもつ事例を発表し意見交換を行った。 ・以下の研修に参加し、包括職員として必要な知識と技術の習得に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ○認知症地域推進員研修（新任者） ○地域包括支援センター職員研修（初任者） ○地域包括支援センター職員研修（現任者） ○千葉県キャラバン・メイト養成研修 ○千葉県キャラバン・メイトスキルアップ研修
<p style="text-align: center;">総合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護・地域住民といったあらゆる社会資源と連携することで「地域ケアシステム」の構築を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催される小櫃、上総地区の民生委員児童員協議会に参加し、地域の情報交換やケース相談の受け付けを行った。 ・小櫃地区のサロン「いーね」に包括職員が毎月参加し、運営の手伝いや地域住民の相談対応を行った。 ・対応困難ケースについて、ケースに応じて君津市の厚生課や障害福祉課、地域の診療所、ケアマネジャーに声掛けし検討会を行った。

別表：個別処理件数

令和4年度 事業報告書 別表

センター名 君津市東部地域包括支援センター

1 総合相談支援

相談件数	1,774件
来所	55件
電話	1,343件
訪問	376件

2 権利擁護

虐待（疑含む）件数	7件
身体的虐待	4件
経済的虐待	1件
精神的虐待	1件
性的虐待	0件
介護放棄	1件
成年後見制度利用	0件
消費者被害	0件
困難事例	5件
その他	0件
計	12件

3 包括的・継続的ケアマネジメント

9件

4 介護予防事業

		新規	委託連携 加算	新規+委託 連携加算	継続	合計
介護予防支援事業 件数 (総合事業以外)	包括分	20件			319件	339件
	委託分	3件	0件	11件	418件	432件
	計	23件	0件	11件	737件	771件
介護予防 ケアマネジメント 件数(総合事業)	包括分	18件			228件	246件
	委託分	5件	0件	6件	341件	352件
	計	23件	0件	6件	569件	598件

5 地域ケア会議

困難事例

日付	会場	参加人数
7月20日	君津市農村環境改善センター	7人

6 認知症サポーター養成講座

なし

7 会議及び研修等（開催・講師派遣等の依頼を受けたもの）

日付	テーマ	会場	参加人数	対象
4月18日	生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター3階作業多機能室	17人	生活支援コーディネーター1層、2層
5月11日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	7人	生活支援コーディネーター
6月15日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	5人	生活支援コーディネーター
7月20日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	5人	生活支援コーディネーター
8月17日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	4人	生活支援コーディネーター
9月20日	令和4年介護支援専門員研修会 事例検討	ZOOM	13人	介護支援専門員
9月21日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	6人	生活支援コーディネーター
10月19日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	6人	生活支援コーディネーター
11月16日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	6人	生活支援コーディネーター
11月16日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所501会議室	7人	君津市包括社会福祉士
11月18日	君津市地域包括支援センター看護職連絡会	君津市役所401会議室	6人	君津市包括看護職
11月21日	第3回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所1階第3面談室	6人	君津市包括職員
12月21日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	5人	生活支援コーディネーター
1月17日	令和4年介護支援専門員研修会 認知症初期集中支援について	ZOOM	12人	介護支援専門員
1月27日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	6人	生活支援コーディネーター
2月20日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	6人	生活支援コーディネーター
3月15日	第2層生活支援コーディネーターと東部包括連絡会議	上総地域交流センター	6人	生活支援コーディネーター

延べ参加人数 123人

令和4年度 君津市東部地域包括支援センター 収支決算書

1 収支

単位：円

	予算額	決算額
年間収入	34,208,000	34,497,713
年間支出	34,208,000	34,497,713
年間収支	0	0

2 介護予防支援事業

(収入)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
介護予防支援事業収入	6,209,000	6,448,713	初回 7,534円×49件=369,166円 初回+委託連携加算 10,597円×21件=222,537円 継続 4,471円×1,310件=5,857,010円
補助金(公費)	0	50,000	社会福祉施設等事業継続交付金
合 計	6,209,000	6,498,713	

(支出)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
介護予防支援事業支出	6,209,000	6,498,713	人件費 1,244,447円 給与 848,916円 賞与 239,711円 法定福利費 155,820円 事務諸経費 5,254,266円 賃借料支出 388,673円 車輛費支出 92,710円 業務委託費支出 3,676,298円 初回 7,534円×8件=60,272円 初回+委託連携 10,597円×21件=222,537円 継続 4,471円×759件=3,393,489円 保険料支出 59,730円 拠点区分間繰入金支出 1,036,855円
合 計	6,209,000	6,498,713	

3 包括的支援事業等

(収入)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
委託料収入	27,999,000	27,999,000	包括的支援事業等委託料
合 計	27,999,000	27,999,000	

(支出)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明	
包括的支援事業等支出	27,999,000	27,999,000	人件費	24,800,315
			給与	16,999,003
			賞与	4,554,509
			法定福利費	3,246,803
			事務諸経費	3,198,685
			賃借料支出	796,593
			車両費支出	164,496
			福利厚生費支出	41,164
			職被服費支出	12,232
			研修研究費支出	142,656
			事務消耗品費支出	163,302
			水道光熱費支出	179,210
			通信運搬具費支出	397,760
			広報費支出	158,400
			手数料支出	1,616
			保険料支出	183,840
			賃借料支出	389,560
			租税公課支出	12,800
			諸会費支出	40,000
			雑支出	1,102
			ファイナンス・リース債務の返済支出	210,204
			退職給付引当資産支出	303,750
合 計	27,999,000	27,999,000		

令和5年度
君津市地域包括支援センター
事業計画・収支予算

君津市福祉部高齢者支援課

令和5年度 君津市地域包括支援室 事業計画書

センター名	君津市地域包括支援室		
実施期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
担当地区データ	地区人口 (R5. 3. 31 現在)	高齢者人口 (R5. 3. 31 現在)	高齢化率 (R5. 3. 31 現在)
	25,003 人	7,344 人	29.37%
担当職員	職種	人数	担当業務
	社会福祉士等	2 人	総合相談業務、権利擁護及び虐待防止業務、その他
	保健師等	2 人	総合相談業務、介護予防事業、その他
	主任介護支援専門員	2 人	総合相談業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務、その他
	社会福祉士(会計年度)	1 人	介護予防事業 (要介護状態になる恐れのある高齢者への訪問)
	看護師(会計年度)	1 人	介護予防事業 (要介護状態になる恐れのある高齢者への訪問)
	社会福祉士に準じる者	1 人	管理者 (センターの統括)、一般庶務
	目 標		担当地区の課題
総合	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの実現に向けた中核的な機関として、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢化率は、市内で低い方ではあるが、独り暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が多く、家族の協力が得られにくいことがある。 地域とのつながりが比較的希薄な面がある。
	業務別目標		取組概要
業務別	総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に関するさまざまな相談を受け止め、地域包括支援室に相談をすると、あらゆるサービスの調整まで可能になるといったワンストップサービス拠点としての機能を果たす。 高齢者の総合相談窓口であることを広く市民に知ってもらうための周知活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を的確に把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度につなげる。 広報きみつや君津市ホームページへの掲載、自治会回覧、まちづくりふれあい講座の開催等により、地域包括支援センターの役割や介護保険制度のより一層の理解を図る。
	権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害防止に向け、成年後見制度の活用を支援する。 高齢者虐待の発見・通報があった場合、適切かつ速やかに対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知機能の低下により契約行為等が行えず、また、支援する親族が不在ケースに対して成年後見制度の活用に向け支援する。 消費者被害に関する消費者センターの情報を、民生委員会議で報告する。 高齢者虐待については、マニュアルに基づき、状況を迅速に把握し、関係機関と連携して、被虐待者の保護を図る。 虐待をする養護者に対して必要な支援を行い、虐待の再発防止を図る。
	包括的・継続的ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議等を実施し、地域課題の把握や自立に向けての方策を検討する。 困難事例等に対応する介護支援専門員を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援型地域ケア会議を年6回開催し、対象者の QOL の向上及び関係者のスキルアップ等の支援とモニタリングを実施する。 介護支援専門員への相談に応じ、必要に応じて、同行や関係行政機関との連携等を支援する。 地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議を開催し、介護支援専門員のスキルアップを支援する。
	介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> 生活機能低下の恐れのある高齢者へ訪問し、相談等を行うことで、要介護状態を未然に防ぐ。 介護予防に関する啓発活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる恐れのある高齢者に対し、訪問相談等を実施する。 リハビリ専門職等と連携し、介護予防等の講座を開催する。

<p>指定介護予防支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者ができる限り在宅で自立した日常生活を継続できるように、適切なサービスを提供し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの身体状況や環境等を考慮し、利用者が主体的に介護予防に取り組めるよう適切な支援を行う。 ・セルフマネジメントを推進するため、健康長寿のための健康づくりのポイント等のパンフレットを活用する。
<p>その他</p> <p>業 務 別</p>	<p><地域包括支援センター運営事業委託事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹型として、市内の地域包括支援センターとの連絡調整、連携、統括、支援及び指導を行う。 <p>【以下、基幹型包括として実施する事業】</p> <p><在宅医療・介護連携推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携推進事業の実施に向けた調整を行う。 <p><包括的支援事業・任意事業事務費></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症への正しい知識と理解の普及啓発を行う。 ・認知症の方及びその家族が抱える課題について、支援を行うとともに、地域で支えあう体制づくりに取り組む。 <p><生活支援体制整備事業費></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2層生活支援コーディネーターと各地域包括支援センターとの連携を推進する。 <p><介護予防・生活支援サービス事業費></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体型サービス事業の補助制度の周知 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントの防止 <p>【重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画の策定 <p>・虐待の防止</p> <p>・職員研修の受講予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市直営という立場から、市の方針等をセンター間で共通認識のもと事業を実施するとともに、公正・中立性が確保された事業運営がなされるよう、連携、支援及び指導等を行う。 <p>(以下、基幹型包括として実施する事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携推進事業として、協議会の運営や多職種連携に向けた研修会、市民を対象とした講演会、在宅医療介護連携相談窓口などを実施する。 ・医療介護連携地域相談サポート医設置事業業務委託について実績に対する検証を行う。 ・君津木更津医師会とも連携し、ICTの活用を推進する。 ・市役所、警察署、小中学校等への認知症サポーター養成講座受講の働きかけを行う。 ・チームオレンジの構築に向けた実施方法等を検討する。 ・認知症予防として、軽度認知障害に関する普及啓発や自己診断ツールの検討、相談先を案内する仕組みづくりに取り組む。 ・医師及び地域包括支援室職員にて構成された「認知症初期集中支援チーム」による支援を実施する。 ・第1層生活支援コーディネーターとも連携し、月1回の地域包括支援センターと第2層生活支援コーディネーターとの連絡会について、目的やあるべき関係性について踏まえて支援する。 ・策定した補助制度について周知する。 ・君津市人材育成基本方針に従い、委託包括に対して定期的にハラスメント研修を実施し、委託包括職員への周知啓発と意識向上に努めます。 ・また、利用者等からの著しい迷惑行為(カスタマーハラスメント)についても必要な措置を講じます。 ・感染症や非常災害の発生時において、事業運営の継続的な実施や非常体制で早期の運営再開を図るための計画を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講じます。 ・虐待の発生またはその再発を防止するための対策について、「君津市高齢者虐待対応連携マニュアル」に基づき、速やかに当該高齢者の状況を把握し、適切な対応をとります。 ・また、虐待防止の措置を適切に実施するための担当者を定めて対策を推進します。 ・現任の職員の受講計画 <ul style="list-style-type: none"> 各種事業担当者研修 主任介護支援専門員の法定外研修 キャラバン・メイト養成研修 キャラバン・メイトスキルアップ研修

令和5年度 君津市地域包括支援室 収支予算書

1 収支見通し

年間収入	90,081,000円
年間支出	90,081,000円
年間収支	0円

2 介護予防支援事業

(収入)

内 容	金額 (円)	説 明
介護予防支援事業収入	5,914,000	初回 7,534円×27件 203,418円
		初回+委託連携 10,597円×20件 211,940円
		継続 4,471円×1,230件 5,499,330円
		602,000 一般会計繰入金
合 計	6,516,000	

(支出)

内 容	金額 (円)	説 明
指定介護予防支援事業	6,516,000	旅費 36,000円
		消耗品費 21,000円
		通信運搬費 78,000円
		委託費(介護サービス計画作成)4,683,000円
		初回+委託連携 10,597円×20件=211,940円
		継続 4,471円×1,000件=4,471,000円
		システム使用料 1,646,000円
		負担金(研修費) 52,000円
合 計	6,516,000	

3 包括的支援事業等

(収入)

内 容	金額 (円)	説 明
介護保険料、国庫補助金、 県補助金等	83,565,000	
合 計	83,565,000	

(支出)

内 容	金額 (円)	説 明
一般職員人件費	59,245,000	給料 27,673,000 円 手当 16,018,000 円 共済費 8,481,000 円 負担金(公務災害補償金) 39,000 円 負担金(総合事務組合負担金) 7,034,000 円
介護予防・生活支援 サービス事業費	340,000	補助金 340,000 円
一般介護予防事業費	4,825,000	報酬 3,105,000 円 職員手当等 525,000 円 共済費 646,000 円 報償費 342,000 円 旅費 149,000 円 需要費 58,000 円
家族介護支援事業費	148,000	報償費 94,000 円 役務費 2,000 円 負担金補助及び交付金 52,000 円
認知症対応型共同生活介護 事業所家賃等助成事業費	366,000	役務費 1,000 円 負担金補助及び交付金 365,000 円
生活支援体制整備事業費	12,164,000	報償費 60,000 円 旅費 9,000 円 需要費 6,000 円 役務費 80,000 円 委託料 12,000,000 円 使用料及び賃借料 4,000 円 負担金補助及び交付金 5,000 円
在宅医療・ 介護連携推進事業費	1,804,000	報償費 160,000 円 旅費 4,000 円 需要費 19,000 円 役務費 40,000 円 委託料 1,515,000 円 使用料及び賃借料 66,000 円
認知症総合支援事業費	499,000	報償費 195,000 円 旅費 43,000 円 需要費 5,000 円 役務費 100,000 円 負担金補助及び交付金 156,000 円
包括的支援事業・ 任意事業事務費 ・ケアプラン作成員 ・ケア会議 ・認知症サポーター関係 ・認知症にやさしい地域づくり ネットワーク	4,174,000	給料 2,543,000 円 手当 577,000 円 共済費 506,000 円 報償費 270,000 円 旅費 12,000 円 需要費 34,000 円 役務費 232,000 円
合 計	83,565,000	

令和5年度 君津市中部地域包括支援センター 事業計画

センター名	君津市中部地域包括支援センター		
実施期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
担当地区データ	地区人口 (R5.3.30)	高齢者人口 (R5.3.30)	高齢化率 (R5.3.30)
	35,296人	10,120人	28.67%
担当職員	職種	人数	担当業務
	社会福祉士等 (介護支援専門員)	2人	センターの統括(管理者)、総合相談業務、権利擁護及び虐待防止業務
	保健師等(看護師)	2人	総合相談業務、介護予防事業
	主任介護支援専門員	1人	総合相談業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務
	事務職	1人	健全経営の為の事務管理(経理等含む)
	目 標		担当地区の課題
総 合	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの構築・深化に向けて、介護・医療・福祉等の地域の関係機関とのネットワークの構築や利用可能な地域資源の把握に努め、高齢者の健康保持と生活安定の為に必要な相談・援助を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 都市部と田舎の両地域を抱えている特性から、高齢者世帯や独居高齢者世帯が増えており、課題も多様化し、移動手段等の社会資源の不足がみられる。 自治会に未加入者もみられ、個別ニーズや地域課題を掘り起こす際に難しい側面がある。
	業務別目標		取組概要
業 務 別	総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域に住む高齢者等に関するさまざまな相談を受け止め、地域包括支援センターに相談すると、あらゆるサービスの調整まで可能になるといったワンストップサービス拠点としての機能を果たす。 高齢者の総合相談窓口であることを広く市民に知ってもらうための周知活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の心身の状況や生活実態と必要な支援を把握し、地域における保険・医療・福祉サービス、関係機関や制度利用につなげる。 地域包括支援ネットワーク構築を促進する。 高齢者の身近な相談所であることを周知するために、包括支援センターだよりの発行を継続し、地域包括支援センターの役割や介護保険制度のより一層の理解を図る。
	権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見、高齢者虐待、消費者被害等の法律や制度を理解し、警察等の関係機関とネットワーク化、解決に努める。 高齢者虐待の発見、通報があった場合、君津市高齢者虐待対応連携マニュアルに基づき、市に迅速に連絡し、指導の下適切に対応する。 認知症への正しい知識と理解の普及啓発を行い、認知症高齢者を地域で見守る体制作りを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度等の利用が必要と思われる高齢者の親族等に対して、制度の説明や申し立てに当たっての関係機関の紹介などを行う。 状況に応じ速やかに対応すると共に、養護者に対しても必要な支援を行い、虐待の再発防止を図る。 認知症サポーター養成講座の受講への働きかけと開催。 消費者被害の防止の為に情報収集を行い、民生委員会議で報告する等の啓発活動を行う。
	包括的・継続的ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議を実施し、個別ニーズや地域課題を見出すと共に、解決に向けての方策を検討する。 困難事例等に対応する介護支援専門員を支援し、多職種連携等の環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 困難事例を対象とした個別地域ケア会議を開催し、地域課題の抽出と解決を図る。自立支援型会議への協力をする。 介護支援専門員のスキルアップ、資質向上の研修会の機会を設ける。地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会等を開催する。 介護支援専門員からの相談に対して、同行訪問、情報提供等を行うなど、心のケアに努め、困難ケースを協働で解決に向けサポートをする。
	介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防活動に関する市民向けの講座等の実施、市民向けの介護予防の普及・啓発を図る。 生活機能の低下の恐れのある高齢者の予防及び日常生活支援を目的に、適切なサービスが提供されるようケアマネジメントを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の集う場を訪問し、介護予防の講座を開催する。 要介護状態になる恐れのある高齢者に予防や生活支援を行い、悪化を防止する。健康長寿の為に健康づくりのポイント等のパンフレットを活用する。

指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者ができる限り在宅で自立した日常生活を継続できるよう、適切なサービスを提供し住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の心身の状況や置かれている環境等を考慮し、介護サービス計画の作成をする。 ・地域で自立した生活が送れるよう支援する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市の方針や公益性を充分認識し、公正・中立の下、事業を行う。 ・認知症の方やその家族を支援する相談業務を行う。 ・日常生活上の支援を行う為の体制整備を行う。 ・迅速且つ的確な対応ができるために包括職員の更なるスキルアップをする。職員の資質向上のための研修体制の整備を行う。 ・ハラスメントの防止 <p>【重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託包括として、直営の地域包括支援室の指導を受け、東部地域包括支援センター・小糸清和地域包括支援センターと連携し、市の方針等を共通認識の下、事業を実施する。 ・必要に応じて市の認知症初期集中支援チームへ繋げると共に連携して支援を行う。 ・市及び第一層、第二層の生活支援コーディネーターと協働し、月1回連絡会を開催し必要な取り組みを実施して行く。 ・新任の職員の受講計画 <ul style="list-style-type: none"> 千葉県地域包括支援センター職員初任者研修 キャラバン・メイト養成研修 ・現任の職員の受講計画 <ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員研修 キャラバン・メイトスキルアップ研修 主任介護支援専門員の更新研修 各種専門職に関する研修 ・君津市人材育成基本方針に従い、定期的にハラスメント研修を実施し、職員への周知啓発と意識向上に努める。 ・また、利用者等からの著しい迷惑行為（カスタマーハラスメント）についても必要な措置を講じる。 ・感染症や非常災害の発生時において、事業運営の継続的な実施や非常体制で早期の運営再開を図る為の計画（以下、「業務継続計画」という。）を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講じる。

令和5年度 君津市中部地域包括支援センター 収支予算書

1 収支見通し

年間収入	45,062,000 円
年間支出	45,062,000 円
年間収支	0 円

2 介護予防支援事業

(収入)

内 容	金額 (円)	説 明
介護予防支援事業収入	12,138,000	初回
		7,534 円 × 40 件 301,000 円
		初回+委託連携
		10,597 円 × 75 件 794,000 円
		継続
		4,471 円 × 2,470 件 11,043,000 円
合 計	12,138,000	

(支出)

内 容	金額 (円)	説 明
介護予防支援事業支出	2,720,000	人件費
		給与 2,130,000 円
		賞与 200,000 円
	9,418,000	法定福利費 390,000 円
		事務経費
		車両費支出 100,000 円
		通信費支出 80,000 円
		事務用品・消耗品費 100,000 円
		予備費 57,000 円
		業務委託費支出 9,081,000 円
合 計	12,138,000	

3 包括的支援事業等

(収入)

内 容	金額 (円)	説 明
委託料収入	32,924,000	包括的支援事業等委託料
合 計	32,924,000	

(支出)

内 容	金額 (円)	説 明	
包括的支援事業等支出	29,650,000	人件費	
		給与	21,350,000 円
		賞与	4,000,000 円
	3,274,000	法定福利費	4,300,000 円
		事務諸経費	
		通信費支出	396,000 円
		水道光熱費支出	170,000 円
		保険料支出 (車両・賠償等)	230,000 円
		ソフト保守支出	530,000 円
		事務用品費支出	210,000 円
		車輛費支出	750,000 円
		燃料費支出	200,000 円
		事務機保守費支出	210,000 円
		P C 機器支出	440,000 円
		委託費支出 (セキュリティー)	60,000 円
研修研究費支出 (旅費含む)	45,000 円		
予備費支出 (交際費・センター保守)	33,000 円		
合 計	32,924,000		

令和5年度 君津市東部地域包括支援センター 事業計画書

センター名		君津市東部地域包括支援センター		
実施期間		令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
担当地区データ		地区人口 (R5. 3. 30)	高齢者人口 (R5. 3. 30)	高齢化率 (R5. 3. 30)
		10, 488人	4, 898人	46. 7%
担当職員	職種	人数	担当業務	
	社会福祉士等	2人	センターの統括(管理者)、総合相談業務、権利擁護業務	
	保健師等	1人	総合相談業務、介護予防ケアマネジメント業務	
	主任介護支援専門員	1人	総合相談業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務	
	事務職	1人	事務管理	
		目 標		担当地区の課題
総合	高齢者が住み慣れた地域で生活が続けられるように、地域特性を活かした方法で地域包括ケアシステムを推進する。		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が高く、介護の担い手が少ない。 ・病院や商店、介護保険のサービス事業所、移動手段といった社会資源が不足している。 	
		業務別目標		取組概要
業務別	総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の総合相談窓口として、高齢者やその家族から寄せられる相談について、ワンストップサービスで適切な保健、医療、福祉サービスにつなげられるように支援する。 ・地域住民が相談しやすいように、地域包括支援センターの周知活動を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターに寄せられる様々な相談に対して、職員の専門性を活用し、必要に応じて関係機関や制度につなぐ。 ・地域住民の集いの場において、リーフレット等を配布し、地域包括支援センターの役割や業務内容について理解してもらう。 ・生活支援コーディネーターや民生委員の協力を得て、地域住民に地域包括支援センターの存在を周知してもらう。 ・小櫃公民館のサロン活動「いーね」に参加し、参加者の相談に応じる。
	権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が尊厳ある生活を続けていくために、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を専門的・継続的な観点から行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待が発生した場合は、君津市の「高齢者虐待対応マニュアル」に沿って、市や関係機関と連携し対応する。 ・日常生活の意思決定が困難な方や親族が不在のケースについては、必要に応じて成年後見制度、日常生活自立支援事業につなげる。 ・認知症サポーター養成講座を開催する。 ・消費者被害に関する消費者センターの情報を民生委員会議で周知する。
	包括的・継続的ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議を開催し、個別課題解決の方策を検討すると共に、地域課題の抽出を行う。 ・困難事例の対応をしている介護支援専門委員の支援を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・個別地域ケア会議や事例検討会を開催し課題の整理、解決を図る。また、地域課題の抽出を行い、市に報告する。 ・自立支援型地域ケア会議へ参加し、高齢者のQOLの向上及び関係機関のスキルアップを支援する。 ・介護支援専門員からの相談に応じ、主任介護支援専門員をはじめ、看護師、社会福祉士が専門的知識を用いて支援を行い、必要に応じて各関係機関とも連携し支援する。

<p>介護予防事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に関する啓発活動を行い、高齢者が主体的に介護予防に取り組むことができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に関する出前講座の開催を行う。 ・フレイルなどの筋力低下状態にある高齢者に対して、相談受付や助言を行う。 ・地域包括支援室より、要介護状態になる恐れのある高齢者に関する訪問依頼があった場合は、看護師等が訪問し保健指導等を行う。
<p>指定介護予防支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者が適切なサービス利用により心身機能が向上し、住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の心身の状況や、生活環境等に応じて、介護予防サービス計画を作成し、効果的に介護予防サービスを提供されるように調整を行う。 ・セルフマネジメントを推進するために、必要な助言を行う。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援室、中部地域包括支援センター、小糸・清和地域包括支援センターと連携し事業を実施する。 ・ハラスメントの防止 ・生活支援コーディネーターとの連携を強化する。 ・研修に参加し、包括職員として必要な知識や技術を身に付ける。 <p>【重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画を策定する ・虐待の防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの職種別連絡会やセンター長会議に参加し情報共有、各事業の推進を行う。 ・基幹型地域包括支援センターが開催するハラスメント研修を受講し、包括職員全員に周知する。 ・毎月定例会を開催して、包括が担当しているケース相談や情報交換を行う。 ・毎月小櫃公民館にて開催されるサロン”いーね”のオブザーバー役として参加する。 ・地域包括支援センター現任者職員研修 ・認知症地域推進員研修 ・千葉県キャラバン・メイト養成研修 ・千葉県キャラバン・メイトスキルアップ研修 ・感染症や非常災害の発生時において、事業運営の継続的な実施や非常体制で早期の運営再開を図るための計画を策定し、必要な措置を講じる。 ・虐待が発生した場合は「君津市高齢者虐待対応連携マニュアル」に基づき迅速に対応し、再発防止に努める。

令和5年度 君津市東部地域包括支援センター 収支予算書

1 収支見通し

年間収入	34,208,000 円
年間支出	34,208,000 円
年間収支	0 円

2 介護予防支援事業

(収入)

内 容	金額 (円)	説 明
介護予防支援事業収入	6,209,000	初回
		7,534 円 × 48 件 361,632 円
		継続
		4,471 円 × 1,308 件 5,848,068 円
合 計	6,209,000	

(支出)

内 容	金額 (円)	説 明	
介護予防支援事業支出	1,322,000	人件費	
		給与 881,000 円	
		賞与 254,000 円	
			法定福利費 187,000 円
	4,887,000	事務諸経費	
		賃借料支出 400,000 円	
		車輛費支出 80,000 円	
		通信運搬具費支出 60,000 円	
		業務委託費支出 4,257,000 円	
		初回	
		7,534 × 24 件 180,000 円	
		継続	
		4,471 × 912 件 4,077,000 円	
保険料支出 90,000 円			
合 計	6,209,000		

3 包括的支援事業等

(収入)

内 容	金額 (円)	説 明
委託料収入	27,999,000	包括的支援事業等委託料
合 計	27,999,000	

(支出)

内 容	金額 (円)	説 明
包括的支援事業等支出	24,789,000	人件費
		給与 16,751,000 円 賞与 4,834,000 円 法定福利費 3,204,000 円
	3,210,000	事務諸経費
		賃借料支出 600,000 円 車輛費支出 150,000 円 福利厚生費支出 120,000 円 職員被服費支出 50,000 円 旅費交通費支出 20,000 円 研修研究費支出 100,000 円 事務消耗品費支出 270,000 円 印刷製本費支出 100,000 円 水道光熱費支出 130,000 円 通信運搬具費支出 380,000 円 会議費支出 10,000 円 広報費支出 160,000 円 手数料支出 10,000 円 保険料支出 250,000 円 賃借料支出 160,000 円 租税公課支出 10,000 円 諸会費支出 40,000 円 雑支出 10,000 円 ファイナンス・リース債務の返済支出 220,000 円 退職給付引当資産支出 420,000 円
合 計	27,999,000	

令和4年度
君津市地域包括支援センター
事業実績・決算報告
事業計画・収支予算

君津市福祉部高齢者支援課

令和4年度 君津市小糸・清和地域包括支援センター 事業報告書

センター名		君津市小糸・清和地域包括支援センター	
実施期間		令和4年4月1日から令和5年3月31日まで	
		目 標 (当初)	取組実績
業 務 別	総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 迅速かつ丁寧な対応を心掛け、地域から信頼され、地域から情報が集まる場所を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の身近な相談所であることを周知するため、夜間、休日の相談体制を記載したパンフレットを窓口を設置するとともに、地域住民に配布した。 生活コーディネーターとの連携を図り、インフォーマルな社会資源の活用に努めた。 SNS を活用し、地域包括センターの活動内容の周知活動を行った。
	権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> 身近に家族がいない等の高齢世帯、独居高齢者に成年後見制度の活用の支援や、消費者被害防止に取り組む。 高齢者虐待の発見・通報があった場合、速やかに適切に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用が必要な高齢者の相談を随時受け付けし、関連機関への相談をした。 消費者教育コーディネーター育成講座を受講し、消費者啓発に関する担い手となるべく学んだ。 消費者被害について、センター内掲示板に国民生活センターのチラシを掲示するとともに、職員が訪問する際に注意喚起をした。 虐待通報があった事例については市、警察と連携を図り訪問、報告、見守りをした。
	包括的・継続的ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域の関係機関との連携や多職種相互の協働に努め、ケアマネジャーの支援を含めて包括的・継続的なケアマネジメントを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーと関係機関との連携支援や、インフォーマルな社会資源が活用できるよう、連絡調整をした。 困難事例などについて個々のケアマネジャーへの相談支援を随時行った。 地域のケアマネジャーに事例検討など研修会を通してネットワークづくりや情報交換を行いスキルアップを図った。
	介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域の高齢者の自主性及び主体性を引き出すために、あらゆる機会を通じ、介護予防の周知に努める。 地域に元気な高齢者を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防の重要性に対する理解を深めるため、自治会館にて～包括支援センターとは～について出前講座を行った。 要支援認定を受けている方で包括への相談が来ていない方をリストアップし、包括支援センターのパンフレットを持参して訪問活動をした。
	指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 適切なサービス提供に努め、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活が継続でき、安心して暮らし続けることができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険における要支援者に対して、介護予防サービス等の適切な利用を行い、要介護状態にならない為の予防をして、自立した生活を送ることができるようになるために、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整などを行った。

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人が、住み慣れた環境で暮らし続けることができるようにするため、医療機関、介護サービス事業所や初期集中支援チーム等の支援機関をつなぐ連携支援や、認知症の人とその家族を支援する相談業務等を行います。 <p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援室、東部及び中部包括支援センターとの連携を図り、円滑に事業の運営を行う。 <p>【研修予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括職員としての必要な知識の習得、各専門職のスキルアップを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象としたさくら de カフェを開催し、自宅にこもりがちな高齢者の外出機会を作るとともに、地域包括支援センターの普及啓発に努めた。 ・小地域ケア会議を開催し、困難事例についての対応方法を地域の住民と検討した。 ・センター長会議等での情報共有、困難事例等の対処方針等の確認・連携を図り事業を実施した。 ・千葉県地域包括支援センター職員現任者研修 2名 ・千葉県地域包括支援センター職員初任者研修 2名 ・千葉県キャラバンメイト養成研修 2名 ・認知症地域支援推進員新任研修 2名
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に特性を生かした住民主体の地域包括ケアシステムの構築に取り組み、地域のすべての人が自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて事業を開始した地域包括支援センターとして、各種の会議等に参加する事で関連機関や地域住民とのネットワークづくりに努めた。 ・地域の様々な生活背景を持つ住民とそこに関わる人たちの相談窓口であるという周知活動を行った。

別表：個別処理件数

令和4年度 事業実績報告書 別表

センター名 君津市小糸・清和地域包括支援センター

1 総合相談支援

相談件数	440件
来所	148件
電話	209件
訪問	83件

2 権利擁護

虐待（疑含む）件数	19件
身体的虐待	19件
経済的虐待	0件
精神的虐待	0件
性的虐待	0件
介護放棄	0件
成年後見制度利用	0件
消費者被害	0件
困難事例	0件
その他	0件
計	19件

3 包括的・継続的ケアマネジメント

20件

4 介護予防事業

		新規	委託連 携加算	新規+委託 連携加算	継続	合計
介護予防支援事業件数 (総合事業以外)	包括分	12件	/	/	261件	273件
	委託分	8件	0件	8件	418件	434件
	計	20件	0件	8件	679件	707件
介護予防 ケアマネジメント件数 (総合事業)	包括分	28件	/	/	187件	215件
	委託分	6件	0件	6件	260件	272件
	計	34件	0件	6件	447件	487件

5 地域ケア会議

困難事例（ケアマネなし）

日付	会場	参加人数
5月24日	小糸公民館婦人室	6人

6 認知症サポーター養成講座

日付	団体名	受講者数	対象
なし			

7 会議及び研修等（開催・講師派遣等の依頼を受けたもの）

日付	テーマ等	会場	参加人数	対象
4月13日	民生委員年次総会	清和公民館	20人	民生委員・地域包括支援センター
4月13日	民生委員年次総会	糸川自治会館	20人	民生委員・地域包括支援センター
4月18日	生活支援コーディネーター連絡会議	保健福祉センター3F作業多機能室	17人	生活支援コーディネーター1層、2層
5月11日	小糸地区民生委員定例会～悪質商法撃退法～	糸川自治会館	15人	小糸地区民生委員 小糸・清和地域包括
5月12日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	小糸・清和地域包括	7人	生活支援コーディネーター1層、2層
6月9日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	小糸・清和地域包括	8人	生活支援コーディネーター1層、2層
7月8日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	小糸・清和地域包括	6人	生活支援コーディネーター1層、2層
7月15日	出前講座～包括支援センターとは～	上根本自治会館	11人	根本住民、2層小糸地区生活支援コーディネーター
9月8日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	小糸・清和地域包括	7人	生活支援コーディネーター1層、2層
10月13日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	小糸・清和地域包括	7人	生活支援コーディネーター1層、2層
11月10日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	小糸・清和地域包括	7人	生活支援コーディネーター1層、2層
11月16日	君津市地域包括支援センター社会福祉士連絡会	君津市役所501会議室	7人	君津市包括社会福祉士
11月18日	君津市地域包括支援センター看護師連絡会	君津市役所401会議室	6名	君津市包括看護職
11月21日	第3回君津市地域包括支援センター連絡会議	君津市役所1階第3面談室	6人	君津市包包括職員
12月9日	令和4年度介護支援専門員研修会	小糸・清和地域包括	6人	介護支援専門員
12月15日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	小糸・清和地域包括	7人	生活支援コーディネーター1層、2層
1月12日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	小糸・清和地域包括	7人	生活支援コーディネーター1層、2層
1月26日	令和4年度介護支援専門員研修会	小糸・清和地域包括	6人	介護支援専門員
2月9日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	小糸・清和地域包括	8人	生活支援コーディネーター1層、2層
3月9日	第2層生活支援コーディネーター連絡会議	小糸・清和地域包括	8人	生活支援コーディネーター1層、2層
3月23日	令和4年度介護支援専門員研修会	ふれあい館	5人	介護支援専門員

延べ参加人数 191人

令和4年度 君津市小糸・清和地域包括支援センター 収支決算書

1 収支

単位：円

	予算額	決算額
年間収入	31,433,232	33,476,938
年間支出	31,433,232	33,476,938
年間収支	0	0

2 介護予防支援事業

(収入)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
介護予防支援 事業収入	3,044,232	5,477,938	初回 7,534円×42件＝316,428円 初回＋委託連携加算 10,597円×2件＝127,164円 継続 4,471円×1,126件＝5,034,346円
合 計	3,044,232	5,477,938	

(支出)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
介護予防支援 事業支出	3,044,232	5,477,938	人件費 954,000円 給与 954,000円 事務経費 144,235円 水道光熱費支出 1,030円 消耗器具備品支出 15,137円 事務消耗品費支出 37,495円 通信運搬費支出 48,157円 土地・建物賃貸料支出 42,416円 業務委託費支出 3,173,570円 初回 7,534円×2件＝15,068円 初回＋委託連携加算 10,597円×12件＝127,164円 継続 4,471円×678件＝3,031,338円 拠点区分間繰入金支出 1,206,133円 拠点区分間繰入金支出 1,206,133円
合 計	3,044,232	5,477,938	

3 包括的支援事業等

(収入)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
委託料収入	27,999,000	27,999,000	包括的支援事業等委託料
合 計	27,999,000	27,999,000	

(支出)

単位：円

内 容	予算額	決算額	説 明
包括的支援事業等支出	27,999,000	27,999,000	人件費 21,093,977 円
			給与 17,038,935 円
			賞与 1,929,450 円
			法定福利費 2,125,592 円
			事務諸経費 4,683,392 円
			水道光熱費支出 18,396 円
			消耗器具備品費支出 270,352 円
			車輛費支出 253,965 円
			福利厚生費支出 18,156 円
			職員被服費支出 46,200 円
			旅費交通費支出 35,832 円
			研修研究費支出 84,000 円
			事務消耗品費支出 669,685 円
			修繕費支出 142,780 円
			通信運搬費支出 860,106 円
			業務委託費支出 29,480 円
			貸貸料支出 1,188,550 円
			土地・建物貸貸料支出 757,584 円
			租税公課支出 16,800 円
			保守料支出 264,000 円
			渉外費支出 4,676 円
			諸会費支出 4,000 円
			雑支出 18,830 円
			施設整備等支出 780,000 円
			ファイナンス・リース債務の返済支出 780,000 円
			退職給与引当金 362,125 円
退職給与引当金 362,125 円			
拠点間区分繰入金支出 1,079,506 円			
拠点間区分繰入金支出 1,079,506 円			
合 計	27,999,000	27,999,000	

令和5年度 君津市小糸・清和地域包括支援センター 事業計画書

センター名	君津市小糸・清和地域包括支援センター		
実施期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
担当地区データ	地区人口 (R5.3.31 現在)	高齢者人口 (R5.3.31 現在)	高齢化率 (R5.3.31 現在)
	9,977人	4,466人	44.76%
担当職員	職種	人数	担当業務
	社会福祉士等	1人	総合相談業務、権利擁護及び虐待防止業務、その他
	保健師等	1人	総合相談業務、介護予防事業、その他
	主任介護支援専門員	2人	管理者(センターの統括) 総合相談業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務、ケアマネの支援、その他
	事務職	1人	一般庶務
	目 標	担当地区の課題	
総 合	地域に特性を生かした住民主体の地域ケアシステムの構築に取り組み、地域のすべての人が自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりを支援する。	地区別高齢化率の5年伸び率は小糸地区 4.6% 、清和地区 7.3% と高い数字が示されています。急速な高齢化にサービス不足が危惧される。 不足する資源の充足を図り、小糸・清和地区における地域包括ケアシステムの構築が必要。	
	業務別目標	取組概要	
業 務 別	総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ丁寧な対応を心掛け、地域から信頼され、地域から情報が集まる場所を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の身近な相談所であることを周知するため、パンフレットを作成し、夜間、休日の相談体制を記載し、地域住民に周知を図る。 ・自治会長、民生委員等との連携を強化する。 ・毎月生活支援コーディネーターとの定例会を開催し、相談や情報交換を行う。 ・相談ケースは、三職種が情報共有し対応し、それぞれの専門性を生かして解決にあたる。
	権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に家族がいない等の高齢世帯、独居高齢者に成年後見制度の活用の支援や、消費者被害防止に取り組む。 ・高齢者虐待の発見・通報があった場合、速やかに適切に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用が必要な高齢者に適切に対応し、制度の理解を深める活動を行っていく。 ・消費者被害は、被害の早期発見ができるよう関係機関と連携し、周知啓発を行っていく。 ・高齢者虐待については、マニュアルに基づき、市と連携して対応する。
	包括的・継続的ケアマネ	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域の関係機関との連携や多職種相互の協働に努め、ケアマネジャーの支援を含めて包括的・継続的なケアマネジメントを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーと関係機関との連携支援や、インフォーマルな社会資源が活用できるようにしていく。 ・困難事例など個々のケアマネジャーへの相談支援を行います。 ・地域のケアマネジャーに地域ケア会議への参加を通して、民生委員や地域関係者との顔の見える関係づくりを支援する。

業 務 別	指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 適切なサービス提供に努め、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活が継続でき、安心して暮らし続けることができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険における要支援者に対して、介護予防サービス等の適切な利用を行い、要介護状態の移行を予防して、自立した生活を送ることができるために、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整などを行う。
	介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域の高齢者の自主性及び主体性を引き出すために、あらゆる機会を通じ、介護予防の周知に努める。 地域に元気な高齢者を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防の重要性に対する理解を深めるため、自治会やシニアクラブに出前講座等により介護予防活動の普及を行う。 地域の社会資源の情報を集約することで、各個人にあった活動が案内できるよう、社会資源マップを作成し、配布する。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人が、住み慣れた環境で暮らし続けることができるようにするため、医療機関、介護サービス事業所や初期集中支援チーム等の支援機関をつなぐ連携支援や、認知症の人とその家族を支援する相談業務等を行う。 地域包括支援室、東部及び中部地域包括支援センターとの連携を図り、円滑に事業の運営を行う。 <p>【重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画の策定 虐待の防止 <p>【職員研修計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 包括職員としての必要な知識の習得、各専門職のスキルアップを行う。 <p>【独自事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 包括主催による集いの場（カフェ）づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での行事や介護予防教室等を通じて、認知症の理解を深めるため普及啓発に努める。 地域ケア会議や事例検討会等を通じて医療機関、介護サービス事業所等の関係機関とのネットワークづくりに取り組み、多職種協働による認知症の相談支援体制を構築する。 センター長会議等での情報共有、困難事例等の対処方針等の確認・連携を図り事業を実施する。 感染症や災害発生が発生した際、継続的な事業運営の実施と早期の運営再開を図るための計画を策定し、当該業務継続計画に従い、必要な措置を講じる。 虐待の発生またはその再発を防止するための対策について、「君津市高齢者虐待対応連携マニュアル」に基づき、速やかに当該高齢者の状況を把握し、適切な対応をとる。 千葉県地域包括支援センター職員初任・現任者研修 千葉県キャラバンメイト養成研修 千葉県キャラバンメイトスキルアップ研修 認知症地域支援推進員研修 外出の少ない高齢者に機会を増やしてもらうきっかけづくり。カフェに来訪する高齢者等に対して地域包括支援センターの活動を周知する。

令和5年度君津市小糸・清和地域包括支援センター 収支予算書

1 収支見通し

年間収入予想	33,333,430
年間支出見込	33,333,430
年間収支予想	0

2 介護予防支援事業

(収入)

内 容	見込額 (円)	説 明
介護予防支援事業収入	5,334,430	初回 7,534円× 40件＝ 310,360円 初回＋委託連携加算 10,597円× 10件＝ 105,970円 継続 4,471円×1,100件＝ 4,918,100円
合 計	5,334,430	

(支出)

内 容	見込額 (円)	説 明
介護予防支援事業支出	5,334,430	人件費 954,000円 給与 954,000円 事務経費 1,292,970円 水道光熱費支出 10,500円 消耗器具備品支出 15,137円 事務消耗品費支出 52,333円 通信運搬費支出 55,000円 施設整備等支出 1,160,000円 業務委託費支出 3,087,460円 初回 7,534円× 10件＝ 75,340円 初回＋委託連携加算 10,597円× 10件＝ 105,970円 継続 4,471円×650件＝ 2,906,150円
合 計	5,334,430	

3 包括的支援事業等

(収入)

内 容	見込額 (円)	説 明
委託料収入	27,999,000	包括的支援事業等委託料
合 計	27,999,000	

(支出)

内 容	見込額 (円)	説 明	
包括的支援事業等支出	27,999,000	人件費	21,938,660 円
		給与	17,554,935 円
		賞与	2,194,366 円
		法定福利費	2,189,359 円
		事務諸経費	2,657,352 円
		水道光熱費支出	540,000 円
		消耗器具備品費支出	270,000 円
		福利厚生費支出	19,000 円
		職員被服費支出	46,200 円
		旅費交通費支出	35,832 円
		研修研究費支出	84,000 円
		事務消耗品費支出	669,685 円
		修繕費支出	142,780 円
		通信運搬費支出	512,069 円
		業務委託費支出	29,480 円
		租税公課支出	16,800 円
		保守料支出	264,000 円
		渉外費支出	4,676 円
		諸会費支出	4,000 円
		雑支出	18,830 円
施設整備等支出	3,030,000 円		
ファイナンス・リース債務返済支出	3,030,000 円		
退職給付引当金	372,988 円		
退職給付引当金	372,988 円		
合 計	27,999,000		

介護予防支援業務を委託する事業所について

趣 旨

介護保険法第115条の23第3項の規定により、介護予防支援業務の一部を指定居宅介護支援事業所に委託するものです。

委託予定の指定居宅介護支援事業所

番号	受託者	事業所名	所在地	介護支援 専門員数
1	合同会社 パイオニアケアサービス	ケアポプラ	木更津市大久保2-17-18	1

参 考

○介護保険法

(指定介護予防支援の事業の基準)

第百十五条の二十三 指定介護予防支援事業者は、次条第二項に規定する指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準及び指定介護予防支援の事業の運営に関する基準に従い、要支援者の心身の状況等に応じて適切な指定介護予防支援を提供するとともに、自らその提供する指定介護予防支援の質の評価を行うことその他の措置を講ずることにより常に指定介護予防支援を受ける者の立場に立ってこれを提供するように努めなければならない。

2 省略

3 指定介護予防支援事業者は、厚生労働省令で定めるところにより、指定介護予防支援の一部を、厚生労働省令で定める者に委託することができる。

第8期介護保険事業計画 実績報告

第8期介護保険事業計画の令和3年度、令和4年度の見込値、実績値について以下のとおりご報告いたします。

補足 各項目の数値について

- ① 令和3年度分は令和4年3月末、令和4年度分は令和5年3月末の数値です。
- ② 見込み・計画値は「第8期介護保険事業計画」に掲載したものです。
- ③ 達成率は見込み・計画値に占める実績の割合です。
- ④ 差異は見込み・計画値と実績の差です。

第5章 「人生100年時代」を見据えた生きがいつくり・健康づくり・介護予防の推進

1. 生きがいつくりと元気な暮らしの支援

(1) シニアクラブ助成事業【45ページ】（担当課：高齢者支援課）

シニアクラブの活動に補助金による助成を行い、高齢者の社会参加の促進や、生きがいを持った生活の支援を図ります。また、クラブ数の減少問題に対して、助言等を行います。

		令和3年度	令和4年度
クラブ数	計画値	54	54
	実績	50	48
	達成率	92.59%	88.89%
会員数	計画値	1,900	1,900
	実績	1,710	1,584
	達成率	90.00%	83.37%

(2) 高齢者の就労の場の確保【46ページ】（担当課：高齢者支援課）

君津市シルバー人材センターの活動に補助金を交付することで、高齢者の就業機会の増大などを図ります。併せて、登録会員数の減少問題について、より高齢者のニーズに合った業務の検討を求め等、助言等を行います。

また、令和2年10月に開設した君津版ハローワーク「きみジョブ」との連携を検討し、高齢者の就労の場の確保、社会参加等を促進していきます。

		令和3年度	令和4年度
シルバー人材センター 会員数	計画値	525	540
	実績	382	374
	達成率	72.76%	69.26%

2. 健康づくりの支援・介護予防の推進

(1) ライフステージに応じた健康づくりの支援

②各種検診【48ページ】（担当課：健康づくり課）

がん検診等（結核・肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん）、肝炎ウイルス検診及び歯周疾患検診を行います。

		令和3年度	令和4年度
結核・肺がん 検診 受診率	計画値	8.7%	8.8%
	実績	5.1%	5.2%
	達成率	58.62%	59.09%
胃がん検診 受診率	計画値	5.6%	5.7%
	実績	2.4%	2.9%
	達成率	42.86%	50.88%
大腸がん検診 受診率	計画値	7.8%	7.9%
	実績	5.6%	5.4%
	達成率	71.79%	68.35%
乳がん検診 受診率	計画値	13.8%	13.9%
	実績	11.0%	10.8%
	達成率	79.71%	77.70%
子宮頸がん検診 受診率	計画値	13.9%	13.9%
	実績	13.1%	13.4%
	達成率	94.24%	96.40%

⑥健康増進事業【49ページ】（担当課：高齢者支援課）

おおむね60歳以上の方に対し、身近な会場として、住民の居住地の近くにある集会所等において運動をする習慣化の機会を設けます。また、生きがい支援センターや公民館等で「健康増進事業」を実施して介護予防に努めます。特に、地域で実施する運動教室「健康増進モデル事業」は、地域コミュニティの醸成も目的とし、現在105教室（令和2年7月末現在）ある教室の維持継続に努めていきます。

「屋外運動習慣化事業」では、屋外型健康増進器具を使用した「うんどう教室」をふれあい広場や内みのわ運動公園で実施し、介護予防を図るとともに、高齢者等の運動習慣化を推進する市民ボランティアとしての「地域指導員」の養成にも取り組んでいきます。

		令和3年度	令和4年度
健康増進モデル事業実施 箇所数	計画値	108	110
	実績	104	103
	達成率	96.30%	93.64%
地域指導員数（人）	計画値	24	24
	実績	23	23
	達成率	95.83%	95.83%

(2) 一般介護予防事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

①介護予防把握事業【50ページ】（担当課：高齢者支援課）

地域包括支援センターの総合相談支援事業等と連携して収集した情報を活用し、看護職員が自宅に訪問することで、閉じこもり等の何らかの支援を要する人を把握し、「健康増進モデル事業」で実施する運動教室等の介護予防活動への参加につなげます。

		令和3年度	令和4年度
訪問件数	計画値	400	400
	実績	379	326
	達成率	94.75%	81.50%

⑤地域リハビリテーション活動支援事業【50ページ】（担当課：高齢者支援課）

平成30年度から、君津地域リハビリテーション広域支援センターの協力のもと、市内公民館と連携し、医療機関、介護事業所等に従事する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハビリテーション専門職による介護予防講座を開催しています。

今後も、地域における介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、「健康増進モデル事業」で実施する運動教室など、住民運営の通いの場等へリハビリテーション専門職の関与を促進します。

令和2、3年度については、コロナ禍により開催中止となっております。

		令和3年度	令和4年度
講座実施回数	計画値	6	6
	実績	0	0
	達成率	0.00%	0.00%

(3) 介護予防・生活支援サービス事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

①訪問型サービス【51ページ】（担当課：介護保険課）

要支援者等に対し、訪問介護員による身体介護や、掃除、洗濯等の日常生活上の支援を提供します。

国のガイドライン等で例示されるいわゆる「多様なサービス」のうち住民主体型のサービスである「訪問型サービスB」について、要支援者等に対する生活支援の体制の充実とともに、サービスを提供する高齢者等の社会参加の促進や介護予防、生きがいの充実などが期待できることから、実施に向けた取組を進めていきます。

また、実施にあたっては、国において、介護予防・生活支援サービス事業の利用対象者の弾力化として、要介護者を対象者に加えるなどの制度の見直しが検討されていることから、国の動向を見ながら、本市の対応を検討していきます。

		令和3年度	令和4年度
介護予防訪問介護相当サービス件数	計画値	2,163	2,233
	実績	1,875	1,881
	達成率	86.69%	84.24%

(3) 介護予防・生活支援サービス事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

②通所型サービス【52ページ】（担当課：高齢者支援課）

要支援者等に対し、介護予防を目的とした通所介護事業所等への通いにより、入浴、排せつ、食事の介護など、日常生活上の支援や機能訓練、運動などの支援を提供します。

訪問型サービスと同様に、住民主体型のサービスである「通所型サービスB」について、実施に向けた取組を進めていきます。

		令和3年度	令和4年度
介護予防通所介護相当サービス件数	計画値	4,078	4,228
	実績	3,184	3,206
	達成率	78.08%	75.83%

第6章 地域で安心して暮らせる支援体制の構築

3. 高齢者を地域で支える体制づくりの推進

(1) 地域資源の開発やそのネットワーク化（生活支援体制整備事業）

【56ページ】（担当課：高齢者支援課）

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加により、日常生活上の支援等のニーズが高まるなか、見守りや安否確認、買い物、調理、掃除などの家事支援や、通いの場の開催など、介護予防に関し、地域住民を中心とした高齢者の支え合いの体制づくりの推進が求められています。

本市では、平成29年4月に、第2層のコーディネーターの後方支援など、事業全体を調整する第1層の生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、平成31年4月、市内8地区に第2層の生活支援コーディネーターを配置しました。

また、多様な主体間の定期的な情報の共有や、地域課題解決のための取組の検討等を実施する「協議体」の設置を順次進めています。

今後も地域全体での支え合いの体制づくりを推進するため、第2層の地区において順次、協議体の設置に向けた取組を進め、地域で高齢者を支援する体制を整備していきます。

（協議体設置について）

R2.6君津中地区 設置 R2.10君津東地区 設置 R3.4小櫃地区 設置

		令和3年度	令和4年度
生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）	計画値（第1層 人数）	3	3
	実績	3	3
	達成率	100.00%	100.00%
	計画値（第2層 人数）	8	8
	実績	8	9
	達成率	100.00%	112.50%
協議体設置数	計画値（第1層 設置数）	1	1
	実績	1	1
	達成率	100.00%	100.00%
	計画値（第2層 設置数）	検討・順次設置	
	実績	3	3
	達成率	-	-

(2) 災害に備えた情報伝達体制や避難支援体制の整備【56ページ】 (担当課：厚生課)

本市では、「君津市災害時要援護者避難支援計画」に基づき、災害時の避難にあたって支援が必要となる高齢者や障害者等の実態等を把握し、災害発生時に地域で連携して支援する体制づくりに取り組んでいます。

今後も本制度の周知に努めるとともに、民生委員や自治会、介護サービス事業者等と協力しながら、災害に備えた情報伝達体制や避難支援体制の整備に努めます。

災害発生時に自力で避難することが困難な方への支援体制を整えるため、令和3年10月に君津市避難行動要支援者避難支援計画を策定した。

		令和3年度	令和4年度
登録者数	計画値	1,740	1,770
	実績	1,517	1,350
	達成率	87.18%	76.27%

4. 外出環境の向上

(5) ひとり暮らし老人等福祉タクシー事業【58ページ】 (担当課：高齢者支援課)

75歳以上のひとり暮らしで、要介護・要支援認定を受けた高齢者にタクシー券を交付し、外出を支援します。

令和2年度より1枚730円券を、500円券に改定。利用枚数が増加した。

		令和3年度	令和4年度
利用人数	計画値	125	125
	実績	136	159
	達成率	108.80%	127.20%
利用枚数	計画値	1,600	1,600
	実績	3,392	3,521
	達成率	212.00%	220.06%

6. 生活支援サービスの充実

(8) ひとり暮らし老人等緊急通報システム設置事業【61, 62ページ】

(担当課：高齢者支援課)

65歳以上でひとり暮らしの方、75歳以上の方のみで構成される世帯の方の自宅に「緊急通報システム」を設置することにより、疾病、災害時等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、安心して暮らせるよう支援します。

		令和3年度	令和4年度
設置台数	計画値	290	295
	実績	289	302
	達成率	99.66%	102.37%

(10) 君津市高齢者見守りネットワーク事業【62ページ】 (担当課：高齢者支援課)

地域全体で高齢者を見守る体制を構築することを目的として、事業活動を通じて高齢者と接することの多い民間事業者等と高齢者の見守りにかかる覚書を締結しています。

今後の拡大について、より有効な方法を検討し、ネットワークの強化、推進を図ります。

		令和3年度	令和4年度
覚書締結社数	計画値	14	16
	実績	13	12
	達成率	92.86%	75.00%

7. 認知症施策の総合的な推進

(2) 「認知症地域支援推進員」の設置・業務の実施【63ページ】（担当課：高齢者支援課）

地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員が、認知症の症状に応じて適切なサービスを受けられるよう、医療機関や介護サービス、地域の支援機関との間の連携体制の構築や、認知症高齢者やその家族等に対する相談支援等を行います。

		令和3年度	令和4年度
配置人数	計画値	6	8
	実績	4	14
	達成率	66.67%	175.00%

(4) 「認知症サポーター」の養成と本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み（チームオレンジなど）の整備【64ページ】（担当課：高齢者支援課）

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サポーター」を養成します。

また、認知症の人等の身近な困りごとを把握し、認知症サポーター養成講座の受講修了者にステップアップ研修を実施した上で、近隣の認知症サポーターと当事者でチームオレンジを編成し、認知症の人等の身近な困りごとへできる範囲で手助けをする体制づくりを推進します。

		令和3年度	令和4年度
養成者数（延べ人数）	計画値	6,580	6,600
	実績	6,442	6,571
	達成率	97.90%	99.56%

8. 在宅医療・介護連携の推進

(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討【66ページ】（担当課：高齢者支援課）

医師、君津市在宅医療・介護連携推進協議会を定期的で開催し、関係機関と継続的に課題を共有し、対応策を検討していきます。

		令和3年度	令和4年度
在宅医療・介護連携推進協議会の開催回数	計画値	2	2
	実績	1	2
	達成率	50.00%	100.00%

3 介護が必要な方を支える介護基盤の整備推進と人材の確保

1. 介護サービスの整備推進【77ページ】

増加が見込まれる認知症高齢者の住まいの確保、支援の視点から、認知症対応型共同生活介護の新規整備（1事業所・小糸地区）を計画します。

在宅の要介護者等が、住み慣れた自宅で安心して生活を継続できるよう、24時間対応で支援する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の新規整備（1事業所）、利用者の選択に応じて、事業所への「通い」や短期間の「宿泊」、自宅への「訪問」を組み合わせて支援する「小規模多機能型居宅介護」の新規整備（1事業所）を計画します。

在宅の要介護者の医療ニーズが高まっていることから、「退院直後の在宅生活へのスムーズな移行」、「がん末期等の看取り期、病状不安定期における在宅生活の継続」等、医療ニーズに対応できる「看護小規模多機能型居宅介護」の新規整備（1事業所）を計画します。

また、上記の事業所の配置については、地域密着型サービスの基盤整備が遅れている圏域等の状況を考慮しつつ、未整備圏域にも整備が進むよう適正な配置に努めるほか、サービスの普及に向けて、市民、介護支援専門員などの関係機関へ周知を図ります。

		令和3年度	令和4年度
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護事業所数	計画値	3	3
	実績	0	0
	達成率	0.00%	0.00%
小規模多機能型居宅介護 事業所数	計画値	1	1
	実績	0	0
	達成率	0.00%	0.00%
認知症対応型共同生活 介護事業所数	計画値	4	4
	実績	0	0
	達成率	0.00%	0.00%
看護小規模多機能型居宅 介護事業所数	計画値	1	1
	実績	0	0
	達成率	0.00%	0.00%

2. 介護人材の確保及び資質の向上並びにその業務の効率化及び質の向上のための取り組みの推進

(1) 介護職員初任者研修費用助成事業【85ページ】（担当課：介護保険課）

介護人材の参入を促進するため、介護職員初任者研修を受講し、市内の介護サービス事業所、介護保険施設に従事した方に、研修の受講に要した費用の一部を助成します。

		令和3年度	令和4年度
助成者数（人）	計画値	10	10
	実績	16	18
	達成率	160.00%	180.00%

1. 介護保険認定者数について

要支援・要介護認定者数の推移

		令和3年度	令和4年度
第1号被保険者 認定者数(人)	見込み	4,579	4,690
	実績	4,412	4,425
	差異	167	265
第2号被保険者 認定者数(人)	見込み	115	114
	実績	103	106
	差異	12	8
合計(人)	見込み	4,694	4,804
	実績	4,515	4,531
	差異	179	273
第1号 被保険者数(人)	見込み	26,649	26,670
	実績	26,613	26,531
	差異	36	139
出現率※	見込み	17.18%	17.59%
	実績	16.58%	16.68%
	差異	0.60%	0.91%

※ 第1号被保険者認定者数／第1号被保険者数

2. 介護サービス等の利用実績について

(1) 居宅サービス

①訪問介護

1-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	193,188	197,160
	実績	173,770	173,310
	達成率	89.95%	87.90%
	差異	19,418	23,850
回／月	計画値	16,099.00	16,430.00
	実績	14,480.83	14,442.50
	達成率	89.95%	87.90%
	差異	1,618.17	1,987.50
利用者数	計画値	7,740	7,932
	実績	7,008	7,294
	達成率	90.54%	91.96%
	差異	732	638

②訪問入浴介護

2-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	7,320	7,440
	実績	7,616	8,228
	達成率	104.04%	110.59%
	差異	-296	-788
回/月	計画値	610.00	620.00
	実績	634.67	685.67
	達成率	104.04%	110.59%
	差異	-25	-66
利用者数	計画値	1,428	1,452
	実績	1,509	1,622
	達成率	105.67%	111.71%
	差異	-81	-170

2-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	144	144
	実績	86	44
	達成率	59.72%	30.56%
	差異	58	100
回/月	計画値	12.00	12.00
	実績	7.17	3.67
	達成率	59.72%	30.56%
	差異	4.83	8.33
利用者数	計画値	36	36
	実績	16	12
	達成率	44.44%	33.33%
	差異	20	24

③訪問看護

3-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	23,736	24,168
	実績	24,164	26,190
	達成率	101.80%	108.37%
	差異	-428	-2022
回/月	計画値	1,978.00	2,014.00
	実績	2,013.67	2,182.50
	達成率	101.80%	108.37%
	差異	-36	-169
利用者数	計画値	2,544	2,592
	実績	2,661	2,729
	達成率	104.60%	105.29%
	差異	-117	-137

3-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	3,336	3,444
	実績	2,138	1,652
	達成率	64.09%	47.97%
	差異	1198	1792
回/月	計画値	278.00	287.00
	実績	178.17	137.67
	達成率	64.09%	47.97%
	差異	99.83	149.33
利用者数	計画値	384	396
	実績	255	205
	達成率	66.41%	51.77%
	差異	129	191

④訪問リハビリテーション

4-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	1,872	2,220
	実績	1,319	1,830
	達成率	70.46%	82.43%
	差異	553	390
回/月	計画値	156.00	185.00
	実績	109.92	152.50
	達成率	70.46%	82.43%
	差異	46.08	32.50
利用者数	計画値	168	192
	実績	121	159
	達成率	72.02%	82.81%
	差異	47	33

4-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	228	228
	実績	78	0
	達成率	34.21%	0.00%
	差異	150	228
回/月	計画値	19.00	19.00
	実績	6.50	0.00
	達成率	34.21%	0.00%
	差異	12.50	19.00
利用者数	計画値	24	24
	実績	4	0
	達成率	16.67%	0.00%
	差異	20	24

⑤居宅療養管理指導

5-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	4,776	4,860
	実績	5,304	5,545
	達成率	111.06%	114.09%
	差異	-528	-685
人/月	計画値	398.00	405.00
	実績	442.00	462.08
	達成率	111.06%	114.09%
	差異	-44.00	-57.08

5-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	408	420
	実績	406	422
	達成率	99.51%	100.48%
	差異	2	-2
人/月	計画値	34.00	35.00
	実績	33.83	35.17
	達成率	99.51%	100.48%
	差異	0.17	-0.17

⑥通所介護

6-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	119,904	123,096
	実績	114,412	114,523
	達成率	95.42%	93.04%
	差異	5492	8573
回/月	計画値	9,992.00	10,258.00
	実績	9,534.33	9,543.58
	達成率	95.42%	93.04%
	差異	457.67	714.42
利用者数	計画値	11,664	11,976
	実績	10,855	10,878
	達成率	93.06%	90.83%
	差異	809	1098

⑦通所リハビリテーション

7-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	23,064	23,544
	実績	18,980	18,005
	達成率	82.29%	76.47%
	差異	4084	5539
回/月	計画値	1,922.00	1,962.00
	実績	1,581.67	1,500.42
	達成率	82.29%	76.47%
	差異	340.33	461.58
利用者数	計画値	2,928	2,988
	実績	2,402	2,408
	達成率	82.04%	80.59%
	差異	526	580

7-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	1,212	1,236
	実績	962	906
	達成率	79.37%	73.30%
	差異	250	330
人/月	計画値	101.00	103.00
	実績	80.17	75.50
	達成率	79.37%	73.30%
	差異	20.83	27.50

⑧短期入所生活介護

8-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
日数	計画値	46,428	47,232
	実績	36,825	32,983
	達成率	79.32%	69.83%
	差異	9603	14249
日/月	計画値	3,869.00	3,936.00
	実績	3,068.75	2,748.58
	達成率	79.32%	69.83%
	差異	800.25	1187.42

8-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
日数	計画値	492	492
	実績	179	505
	達成率	36.38%	102.64%
	差異	313	-13
日/月	計画値	41.00	41.00
	実績	14.92	42.08
	達成率	36.38%	102.64%
	差異	26.08	-1.08

⑨短期入所療養介護

9-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
日数	計画値	2,772	2,064
	実績	1,431	1,540
	達成率	51.62%	74.61%
	差異	1341	524
日/月	計画値	231.00	172.00
	実績	119.25	128.33
	達成率	51.62%	74.61%
	差異	111.75	43.67

9-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
日数	計画値	0	0
	実績	0	6
	達成率	-	-
	差異	0	-6
日/月	計画値	0.00	0.00
	実績	0.00	0.50
	達成率	-	-
	差異	0.00	-0.50

⑩福祉用具貸与

10-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	14,616	14,964
	実績	14,634	15,142
	達成率	100.12%	101.19%
	差異	-18	-178
人/月	計画値	1,218.00	1,247.00
	実績	1,219.50	1,261.83
	達成率	100.12%	101.19%
	差異	-1.50	-14.83

10-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	3,372	3,444
	実績	3,049	2,883
	達成率	90.42%	83.71%
	差異	323	561
人/月	計画値	281.00	287.00
	実績	254.08	240.25
	達成率	90.42%	83.71%
	差異	26.92	46.75

⑪特定福祉用具販売

11-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	276	288
	実績	265	257
	達成率	96.01%	89.24%
	差異	11	31
人/月	計画値	23.00	24.00
	実績	22.08	21.42
	達成率	96.01%	89.24%
	差異	0.92	2.58

11-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	96	96
	実績	45	61
	達成率	46.88%	63.54%
	差異	51	35
人/月	計画値	8.00	8.00
	実績	3.75	5.08
	達成率	46.88%	63.54%
	差異	4.25	2.92

⑫居宅介護支援・介護予防支援

12-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	22,704	23,256
	実績	22,474	22,875
	達成率	98.99%	98.36%
	差異	230	381
人/月	計画値	1,892.00	1,938.00
	実績	1,872.83	1,906.25
	達成率	98.99%	98.36%
	差異	19.17	31.75

12-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	4,176	4,272
	実績	3,767	3,587
	達成率	90.21%	83.97%
	差異	409	685
人/月	計画値	348.00	356.00
	実績	313.92	298.92
	達成率	90.21%	83.97%
	差異	34.08	57.08

⑬住宅改修

13-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	192	192
	実績	192	173
	達成率	100.00%	90.10%
	差異	0	19
人/月	計画値	16.00	16.00
	実績	16.00	14.42
	達成率	100.00%	90.10%
	差異	0.00	1.58

13-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	108	108
	実績	73	93
	達成率	67.59%	86.11%
	差異	35	15
人/月	計画値	9.00	9.00
	実績	6.08	7.75
	達成率	67.59%	86.11%
	差異	2.92	1.25

⑭特定施設入居者生活介護 ※地域密着型は(3)⑧

14-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	1,716	1,764
	実績	1,397	1,408
	達成率	81.41%	79.82%
	差異	319	356
人/月	計画値	143.00	147.00
	実績	116.42	117.33
	達成率	81.41%	79.82%
	差異	26.58	29.67

14-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	312	324
	実績	269	218
	達成率	86.22%	67.28%
	差異	43	106
人/月	計画値	26.00	27.00
	実績	22.42	18.17
	達成率	86.22%	67.28%
	差異	3.58	8.83

(2) 施設サービス

①指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

※地域密着型は（3）⑨

1-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	4,716	4,836
	実績	4,822	4,886
	達成率	102.25%	101.03%
	差異	(106)	(50)
人／月	計画値	393.00	403.00
	実績	401.83	407.17
	達成率	102.25%	101.03%
	差異	(8.83)	(4.17)

②介護老人保健施設

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	3,132	3,192
	実績	2,866	2,765
	達成率	91.51%	86.62%
	差異	266	427
人／月	計画値	261.00	266.00
	実績	238.83	230.42
	達成率	91.51%	86.62%
	差異	22.17	35.58

③指定介護療養型医療施設

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	336	336
	実績	298	294
	達成率	88.69%	87.50%
	差異	38	42
人／月	計画値	28.00	28.00
	実績	24.83	24.50
	達成率	88.69%	87.50%
	差異	3.17	3.50

④介護医療院

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	0	0
	実績	4	0
	達成率	-	-
	差異	-4	0
人／月	計画値	0.00	0.00
	実績	0.33	0.00
	達成率	-	-
	差異	-0.33	0.00

(3) 地域密着型サービス

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	696	816
	実績	598	667
	達成率	85.92%	81.74%
	差異	98	149
人／月	計画値	58.00	68.00
	実績	49.83	55.58
	達成率	85.92%	81.74%
	差異	8.17	12.42

②夜間対応型訪問介護

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	72	72
	実績	76	55
	達成率	105.56%	76.39%
	差異	-4	17
人／月	計画値	6.00	6.00
	実績	6.33	4.58
	達成率	105.56%	76.39%
	差異	-0.33	1.42

③認知症対応型通所介護

3-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	3,564	3,756
	実績	3,411	3,395
	達成率	95.71%	90.39%
	差異	153	361
回／月	計画値	297.00	313.00
	実績	284.25	282.92
	達成率	95.71%	90.39%
	差異	12.75	30.08

3-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	0	0
	実績	0	0
	達成率	-	-
	差異	0	0
回/月	計画値	0.00	0.00
	実績	0.00	0.00
	達成率	-	-
	差異	0.00	0.00

④小規模多機能型居宅介護

4-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	312	456
	実績	309	303
	達成率	99.04%	66.45%
	差異	3	153
人/月	計画値	26.00	38.00
	実績	25.75	25.25
	達成率	99.04%	66.45%
	差異	0.25	12.75

4-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	24	36
	実績	13	35
	達成率	54.17%	97.22%
	差異	11	1
人/月	計画値	2.00	3.00
	実績	1.08	2.92
	達成率	54.17%	97.22%
	差異	0.92	0.08

⑤看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	324	468
	実績	338	326
	達成率	104.32%	69.66%
	差異	-14	142
人/月	計画値	27.00	39.00
	実績	28.17	27.17
	達成率	104.32%	69.66%
	差異	-1.17	11.83

⑥地域密着型通所介護

		令和3年度	令和4年度
回数	計画値	22,248	22,740
	実績	20,675	21,014
	達成率	92.93%	92.41%
	差異	1573	1726
回/月	計画値	1,854.00	1,895.00
	実績	1,722.92	1,751.17
	達成率	92.93%	92.41%
	差異	131.08	143.83

⑦認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）

7-1 介護サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	804	900
	実績	826	884
	達成率	102.74%	98.22%
	差異	-22	16
人/月	計画値	67.00	75.00
	実績	68.83	73.67
	達成率	102.74%	98.22%
	差異	-1.83	1.33

7-2 予防サービス

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	0	0
	実績	4	0
	達成率	-	-
	差異	-4	0
人/月	計画値	0.00	0.00
	実績	0.33	0.00
	達成率	-	-
	差異	-0.33	0.00

⑧地域密着型特定施設入居者生活介護

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	0	0
	実績	0	0
	達成率	-	-
	差異	0	0
人/月	計画値	0.00	0.00
	実績	0.00	0.00
	達成率	-	-
	差異	0.00	0.00

⑨地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

		令和3年度	令和4年度
利用者数	計画値	1,020	1,020
	実績	954	947
	達成率	93.53%	92.84%
	差異	66	73
人/月	計画値	85.00	85.00
	実績	79.50	78.92
	達成率	93.53%	92.84%
	差異	5.50	6.08

3. 介護保険施設等の整備状況について

(1) 施設・居住系サービス

① 特定施設入居者生活介護（介護専用型）

		令和3年度	令和4年度
定員総数	計画値	0	0
	実績	0	0
	差異	0	0

② 特定施設入居者生活介護（混合型）

		令和3年度	令和4年度
定員総数	計画値	599	599
	実績	599	599
	差異	0	0

(2) 地域密着型サービス

① 地域密着型介護老人福祉施設

		令和3年度	令和4年度
定員総数	計画値	87	87
	実績	87	87
	差異	0	0

② 地域密着型特定施設入居者生活介護（介護専用型）

		令和3年度	令和4年度
定員総数	計画値	0	0
	実績	0	0
	差異	0	0

③ 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）

		令和3年度	令和4年度
定員総数	計画値	72	90
	実績	72	72
	差異	0	18

君津市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画実態調査

分析結果概要

1【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- ①現在、介護・介助を必要としない人の割合が高くなっていますが、一方で何らかの介護を受けている人の割合は約1割となっており、介護・介助しているは「配偶者（夫・妻）」の割合が約4割となっており、老々介護の傾向がうかがえます。
- ②新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、行動や意識に変化があったかについて、「健康に気をつけるようになった」の割合が6割半ばと最も高くなっていますが、一方で「外出しなくなった」や「人と会わなくなった」の割合も高くなっています。また、外出を控えている人の割合は4割以上となっており、身体の原因により、外出を控えていることがうかがえます。地域活動への参加状況についても、「町内会・自治会」を除いた各活動において「参加していない」の割合が5割以上となっています。外出を控えることや地域参加に参加せず、引きこもりがちになることにより、フレイル状態にもつながることから、コロナ対策を行いながら、外出や地域活動への参加を促していくことが必要となります。
- ③物忘れが多いと感じるかについて、「はい」の割合が5割以上となっていますが、認知症に関する相談窓口の認知状況をみると、知らない人の割合が7割以上となっています。認知症高齢者が今後も増えていくと予測される中で、今後は、認知症に関する相談窓口の周知等も重要であるとともに、日常的に気軽に相談できる環境整備と周知を行っていくことが必要です。
- ④趣味や生きがいの有無について、「思いつかない」の割合が3割以上となっており、思いつかない人ほど、幸福度も低いことがうかがえます。高齢者が地域で生きがいを持ち暮らしていくことで、幸福度も高くなっていくことから、高齢者が趣味や生きがいを持つことのできる環境や機会を整えていくことが必要です。
- ⑤家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談の相談相手について、「そのような人はいない」の割合が3割半ばと最も高くなっています。また、相談相手としては、「医師・歯科医師・看護師」の割合が高くなっています。高齢者が、健康や日常生活に関することなど、気軽に相談できる環境づくりを地域で進めていくことが必要です。

- ⑥ヤングケアラーについて、言葉の認知度は「言葉も内容も知っている」の割合が約5割となっていますが、「知らない」の割合は2割半ばとなっています。
- ヤングケアラーを支援するために必要なこととして、「本人の抱えている状況について相談できる場所」の割合が最も高く、次いで「家族の介護・介助の内容について相談できる場所」となっており、相談することのできる場所を整備していくことが求められています。

1-2【機能別リスク該当者割合の分析】

- ①「運動器」「閉じこもり」において、女性の75歳以上で急激に割合が高くなっています。家に閉じこもり、身体を動かすことが少なくなると、急激にフレイル状態に陥ることが考えられることから、体を動かすことの重要性を周知していくことが必要です。
- ②「口腔」においては、男性のリスク対象者の割合が高く、特に80歳以上になるとその割合が高くなっています。
- 口腔機能の低下は、食べることへの影響も多くなり、低栄養などにもつながります。今後はオーラルフレイル予防の支援も行っていくことが必要です。
- ③「認知」においては、年齢が上がるにつれ割合が高くなり、男性で75歳以上、女性で80歳以上でその割合が5割以上となっています。
- また、要支援認定者でその割合も高くなっています。
- 今後も、認知症高齢者が増えていくと予測されている中で、認知症予防対策とともに、早期発見への支援を行っていくことが必要です。

2【在宅介護実態調査】

- ①家族や親族からの介護は「ほぼ毎日」の割合が5割半ばとなっており、その介護者は「子」の割合が高いものの、「配偶者」の割合も3割以上となっています。
- また、介護者の年齢を見ると約7割が「60歳以上」となっており、老々介護の状況がうかがえます。
- ②今後、在宅生活を継続していくために必要と感じる支援・サービスについて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「外出同行（通院、買い物など）」の割合が高くなっており、移動手段の支援が重要であることがうかがえます。
- ③主な介護者が介護するにあたって働き方を調整しているかについて、2～3割の人が「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」などの調整をしています。
- 介護離職が増えている中、介護休業や介護休暇などの制度の利用しやすい環境など、介護者への負担軽減に向けた支援を行っていくことが必要であると考えます。

④現在の生活を継続していくにあたって、介護者が不安に感じることについて、「認知症状への対応」の割合が最も高くなっています。

また、自身や家族が認知症になったら不安に感じることとして、「周りの人の負担が大きくなるのではないか」の割合が最も高く、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるのではないか」「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」などの割合が高くなっています。

認知症の予防対策とともに、認知症高齢者のいる家族への支援を行っていくことが必要です。

3【在宅生活改善調査】

①在宅での生活の維持が難しくなっている理由について、要介護2以下では「必要な生活支援の発生・増大」、「認知症の症状の悪化」、要介護3以上では「必要な身体介護の増大」が多く挙げられています。

要介護2以下の「認知症の症状の悪化」について具体的にみると「一人での外出が困難」、「深夜の対応」、「家事に支障がある」などが高い割合を占めており、要介護3以上の「必要な身体介護」について具体的にみると「排泄（日中）」、「排泄（夜間）」、「入浴」、「更衣・整容」などが高い割合を占めています。

生活の維持に必要なサービスの整備等を検討していくことが必要です。

4【居所変更実態調査】

①過去1年間の施設等の新規の入居・入所及び退去・退所の流れをサービス種類別にみると、特別養護老人ホームで退去者が139人、死亡も95人と最も多くなっています。

②各施設等から居所変更した理由をみると、「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」、「必要な身体介護の発生・増大」の割合が高くなっています。

5【介護人材実態調査】

①人材確保や職員定着のための取り組みについて、「労働時間の希望を聞く（シフトの調整）」の割合が最も高く、次いで「資格取得への支援」、「労働環境の改善」の割合が高くなっています。

介護人材不足が問題となっている中、介護人材の確保に向けた支援等を検討していくことが重要です。

君津市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画実態調査（アンケート）に係る 分析結果報告書

令和5年3月

君 津 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	介護予防・日常生活圏域二エズ調査	3
(1)	回答者属性	3
(2)	からだを動かすことについて	9
(3)	食べることについて	11
(4)	毎日の生活について	13
(5)	地域の活動について	16
(6)	たすけあいについて	17
(7)	健康について	20
(8)	認知症にかかる相談窓口の把握について	22
(9)	生活支援について	23
2	生活機能評価等に関する分析	24
(1)	機能別リスク該当者割合の分析	24
(2)	日常生活	38
(3)	社会参加	40
3	在宅介護実態調査	44
(1)	調査対象者様ご本人について	44
(2)	主な介護者の方について	54
4	在宅生活改善調査	59
(1)	自宅等から居所を変更した利用者の行先別の人数	59
(2)	自宅等から居所を変更した利用者の要介護度の内訳	60
5	居所変更実態調査	61
(1)	地域内の居所移動の実態	61
(2)	居所変更した理由	65
6	介護人材実態調査	66
(1)	過去1年間の介護職員の職場の変化	66
(2)	人材確保や職員定着のための取り組み	67

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、令和6年度から始まる新しい高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定にあたり、65歳以上の市民やその家族等を対象に、日常生活や社会参加、介護予防の状況、支援のニーズ等を把握するほか、介護サービス事業者を対象に、施策・事業に対するご意見、今後の意向等を把握することを目的に実施しました。

2 調査対象

介護予防・日常生活

圏域ニーズ調査：65歳以上で、介護保険の要介護1～5の認定を受けていない方

在宅介護実態調査：在宅で生活をし、介護保険の要支援・要介護認定を受けている方のうち、認定の更新（区分変更）申請をした方

在宅生活改善調査：市内の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護支援事業所及び看護小規模多機能型居宅介護支援事業所

居所変更実態調査：市内の介護施設及び居住系サービス事業所（サ高住・住宅型有料含む）

介護人材実態調査：市内の介護施設及び介護サービス事業所（サ高住・住宅型有料含む）

3 調査期間

令和5年2月～令和5年3月

4 調査方法

郵送配付・郵送回収方式

5 回収状況

	配付数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,500通	2,360通	67.4%
在宅介護実態調査	800通	419通	52.3%
在宅生活改善調査	32通	20通	62.5%
居所変更実態調査	32通	17通	53.1%
介護人材実態調査	112通	50通	44.6%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。
- ・「一般高齢者」は65歳以上で、介護保険の認定を受けていない方
- ・「要支援認定者」は要支援1～2の認定を受けている方

Ⅱ 調査結果

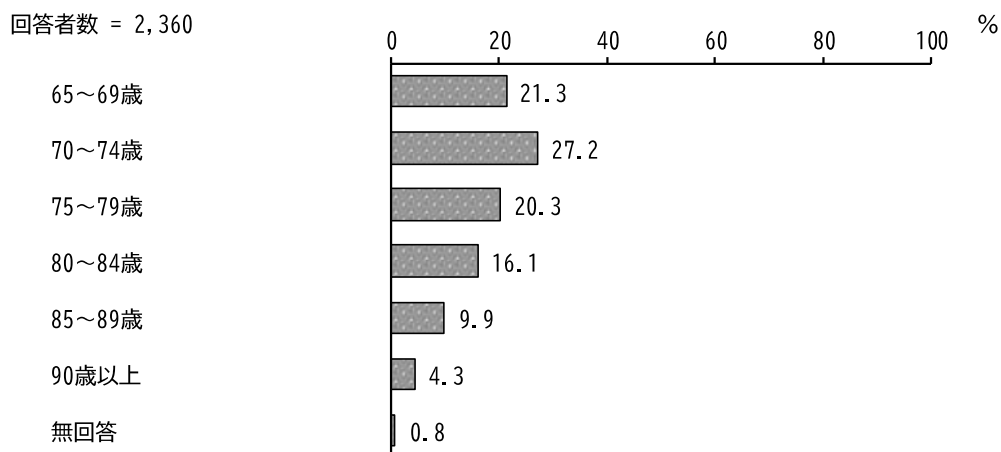
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 回答者属性

以下の問いにつきましては、あて名ご本人の情報をご記入ください。

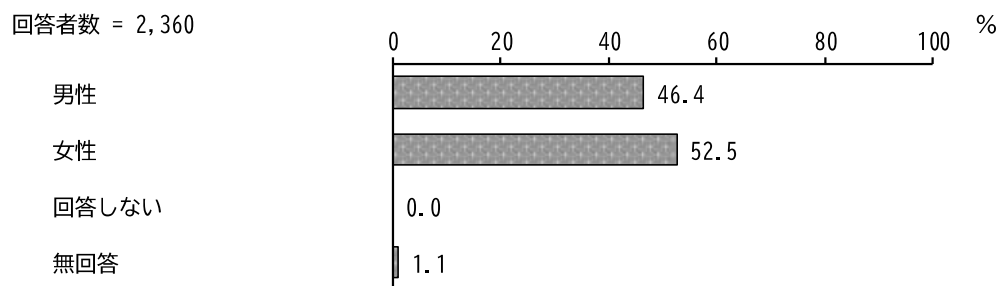
●年齢（回答は1つ）

「70～74歳」の割合が27.2%と最も高く、次いで「65～69歳」の割合が21.3%、「75～79歳」の割合が20.3%となっています。



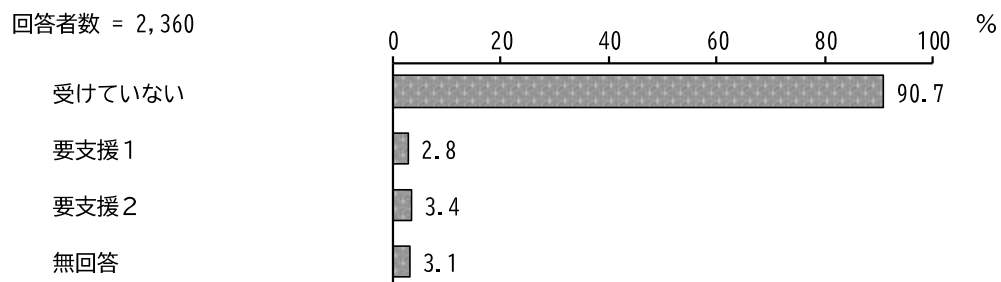
●性別（回答は1つ）

「女性」の割合が52.5%、「男性」の割合が46.4%となっています。



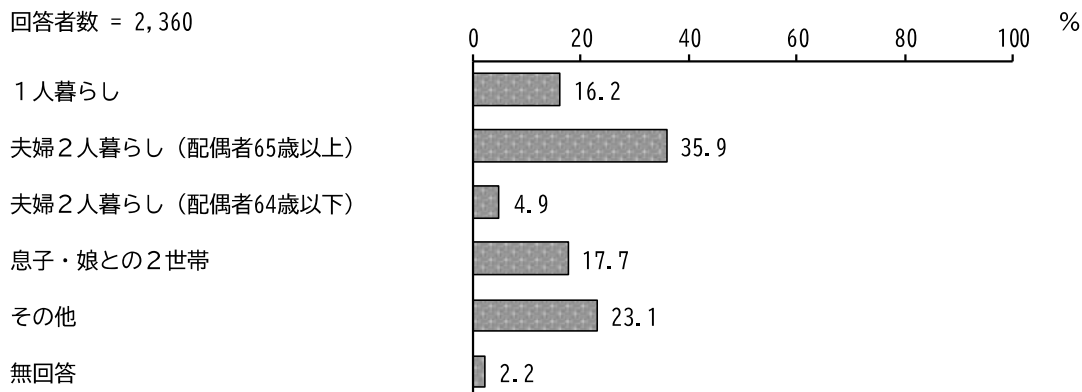
●要支援認定等について（回答は1つ）

「受けていない」の割合が90.7%と最も高くなっています。



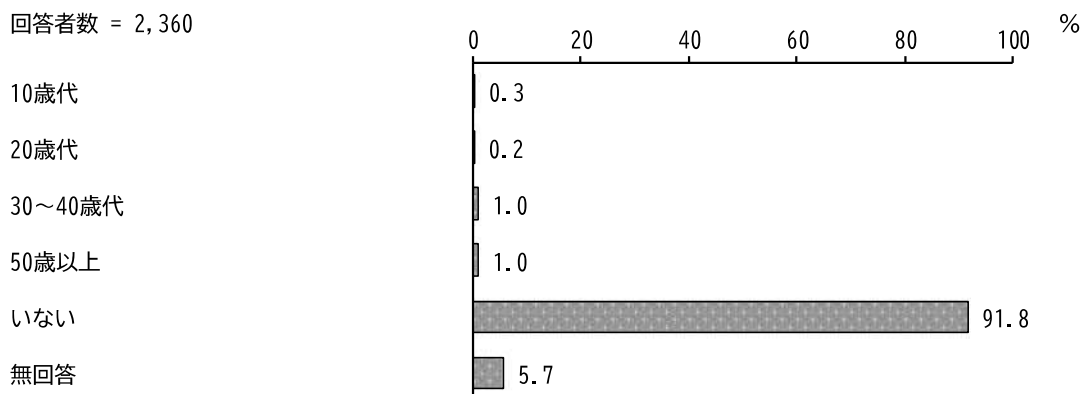
問1 家族構成をお教えてください（回答は1つ）

「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が35.9%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が17.7%、「1人暮らし」の割合が16.2%となっています。



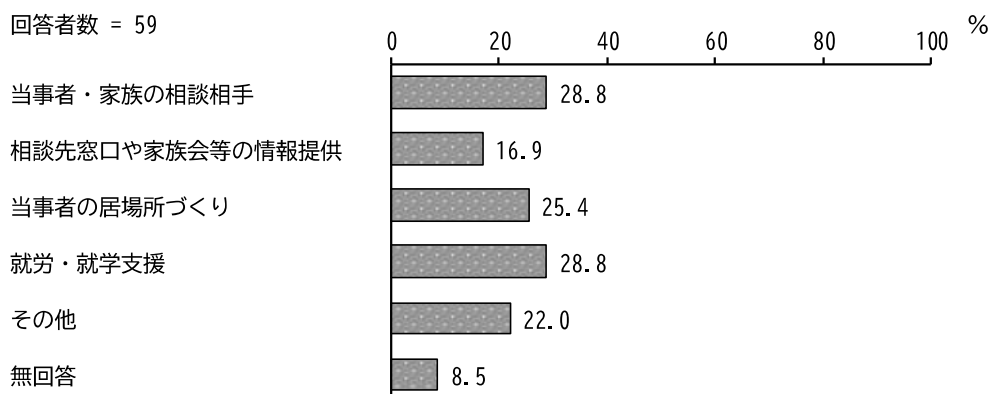
問2 あなたやあなたのご家族にひきこもり状態の方はいらっしゃいますか。また、ひきこもり状態の方に対して、どのような支援を期待しますか

「50歳以上」の割合が91.8%と最も高くなっています。



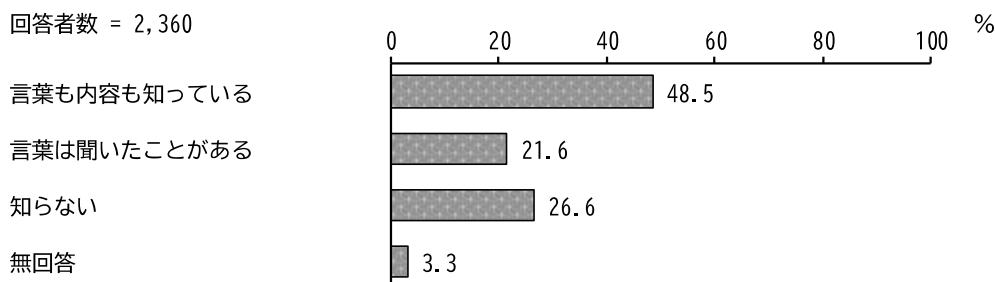
希望する支援方法（いくつでも）

「当事者・家族の相談相手」、「就労・就学支援」の割合が28.8%と最も高く、次いで「当事者の居場所づくり」の割合が25.4%となっています。



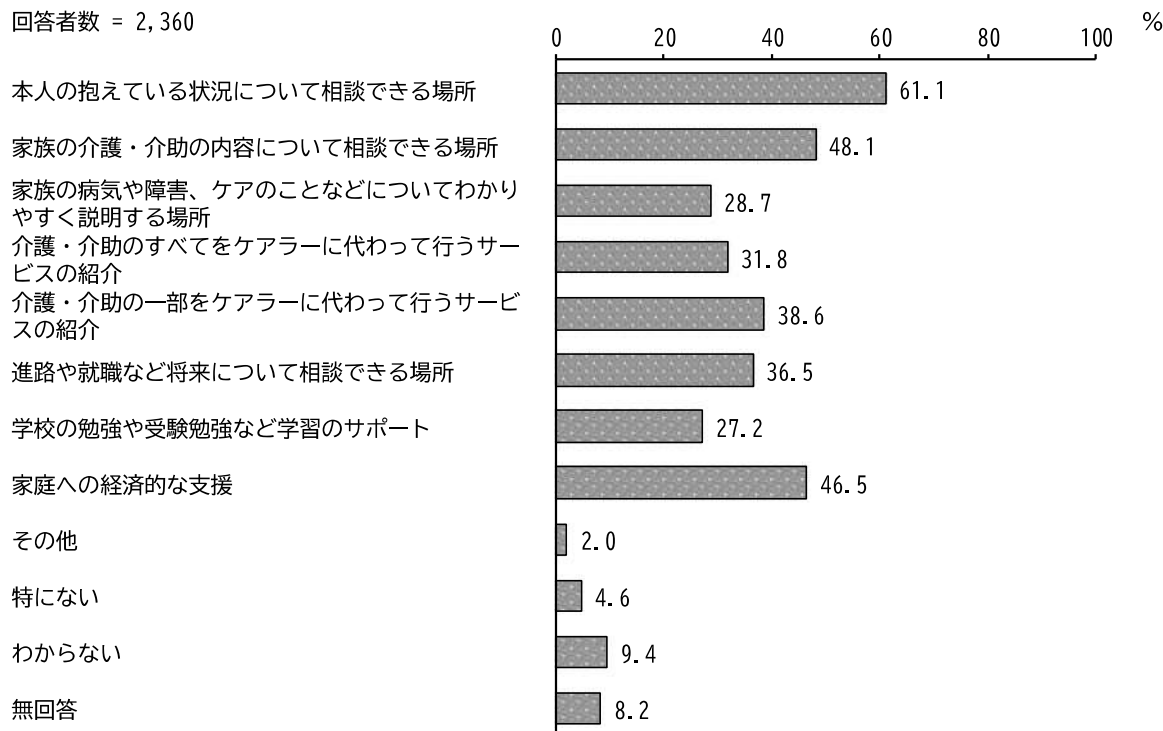
問3 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか（回答は1つ）

「言葉も内容も知っている」の割合が48.5%と最も高く、次いで「知らない」の割合が26.6%、「言葉は聞いたことがある」の割合が21.6%となっています。



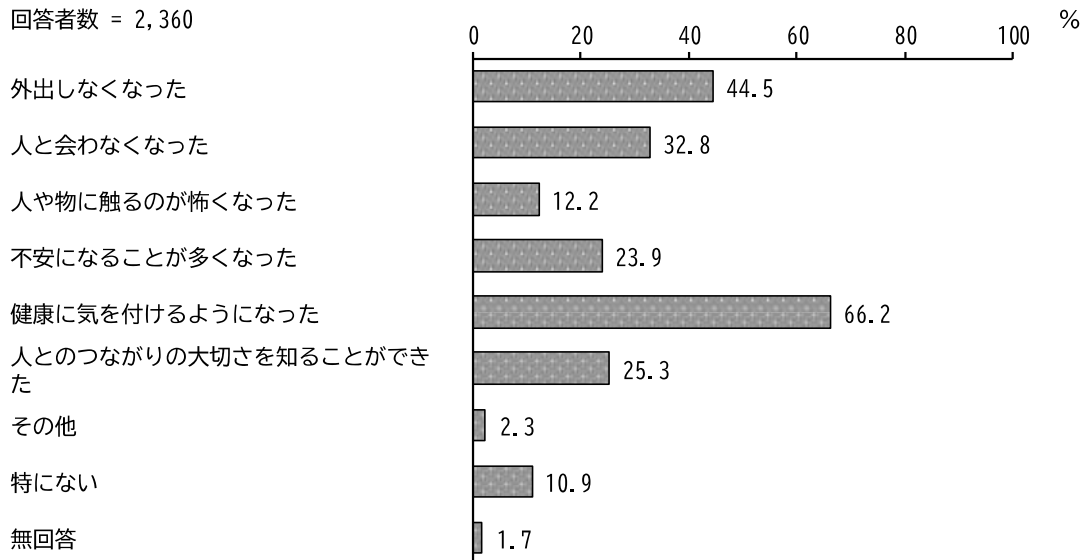
問4 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか（いくつでも）

「本人の抱えている状況について相談できる場所」の割合が61.1%と最も高く、次いで「家族の介護・介助の内容について相談できる場所」の割合が48.1%、「家庭への経済的な支援」の割合が46.5%となっています。



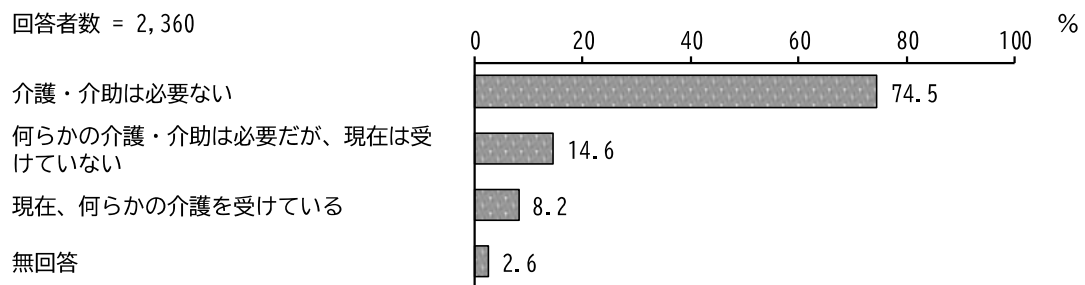
問5 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの行動や意識に変化はありましたか（いくつでも）

「健康に気を付けるようになった」の割合が66.2%と最も高く、次いで「外出しなくなった」の割合が44.5%、「人と会わなくなった」の割合が32.8%となっています。



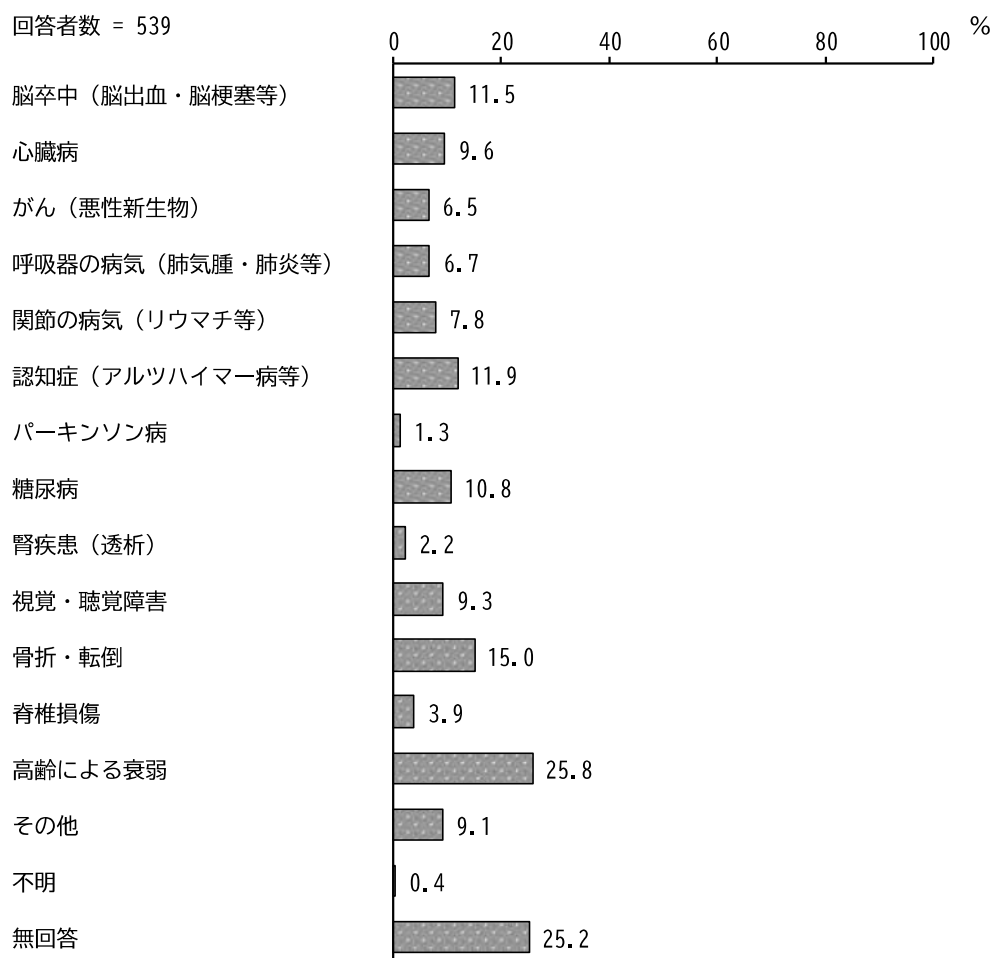
問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（回答は1つ）

「介護・介助は必要ない」の割合が74.5%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が14.6%となっています。



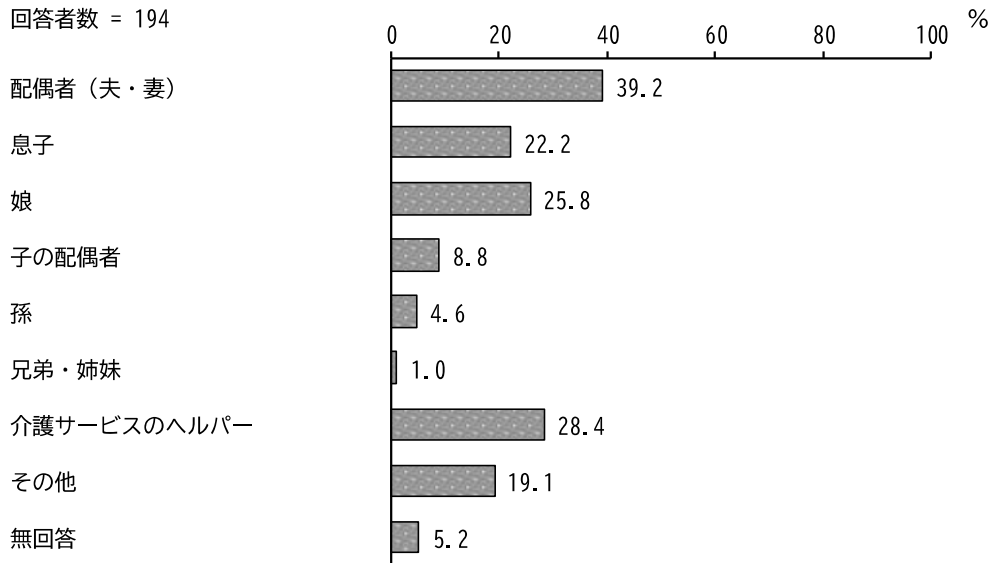
問6-① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

「高齢による衰弱」の割合が25.8%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が15.0%、「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が11.9%となっています。



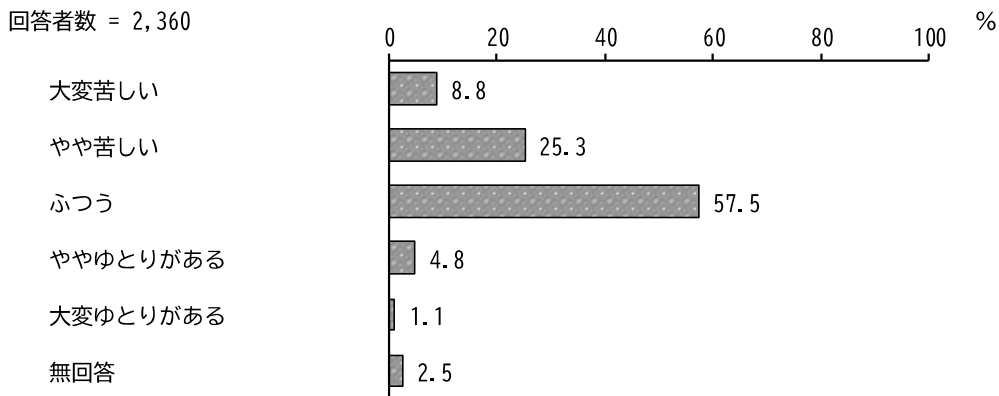
問6-② 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

「配偶者（夫・妻）」の割合が39.2%と最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」の割合が28.4%、「娘」の割合が25.8%となっています。



問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（回答は1つ）

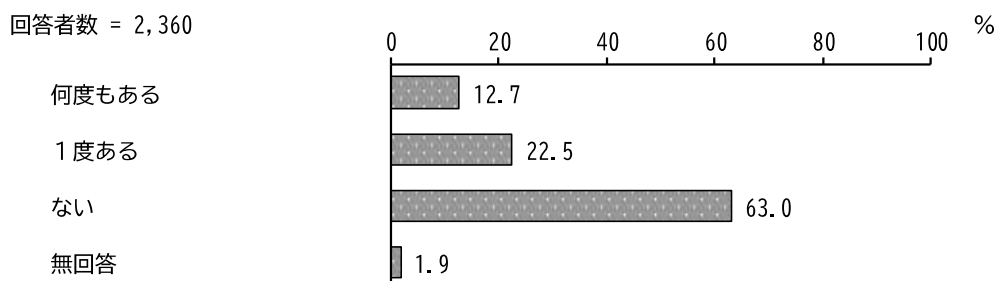
「ふつう」の割合が57.5%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が25.3%となっています。



(2) からだを動かすことについて

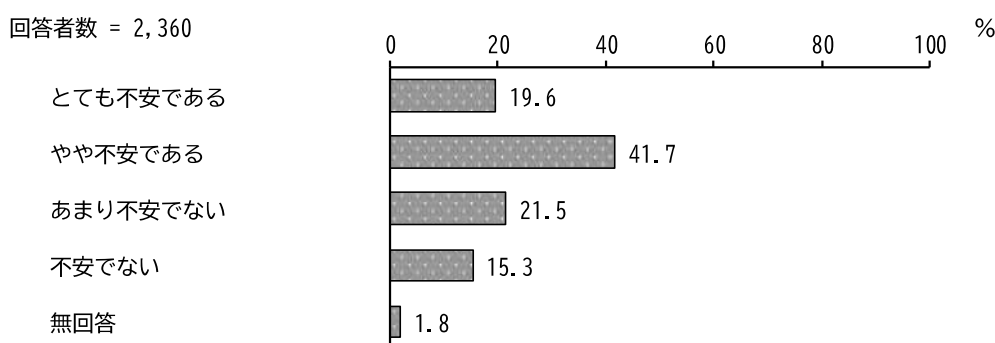
問8 過去1年間に転んだ経験がありますか (回答は1つ)

「ない」の割合が63.0%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が22.5%、「何度もある」の割合が12.7%となっています。



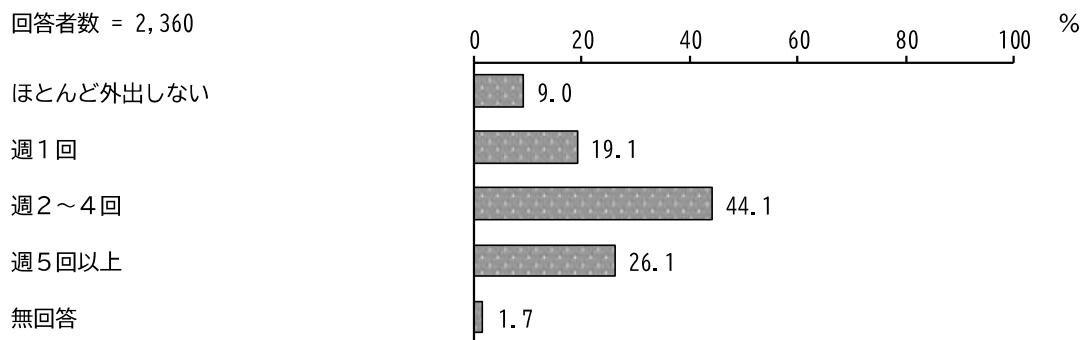
問9 転倒に対する不安は大きいですか (回答は1つ)

「やや不安である」の割合が41.7%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が21.5%、「とても不安である」の割合が19.6%となっています。



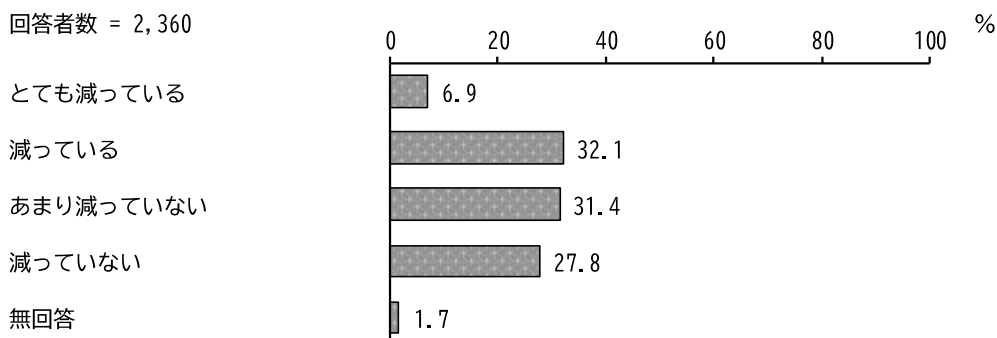
問10 週に1回以上は外出していますか (回答は1つ)

「週2～4回」の割合が44.1%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が26.1%、「週1回」の割合が19.1%となっています。



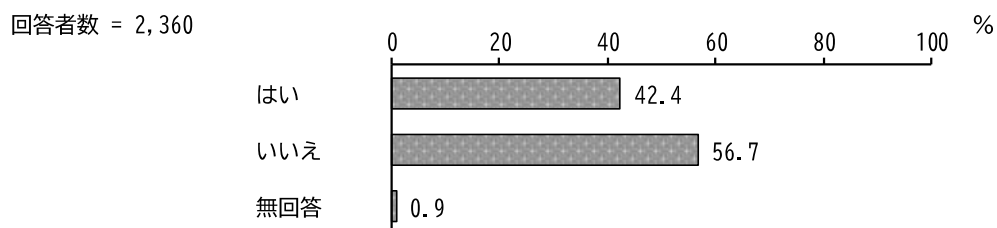
問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（回答は1つ）

「減っている」の割合が32.1%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が31.4%、「減っていない」の割合が27.8%となっています。



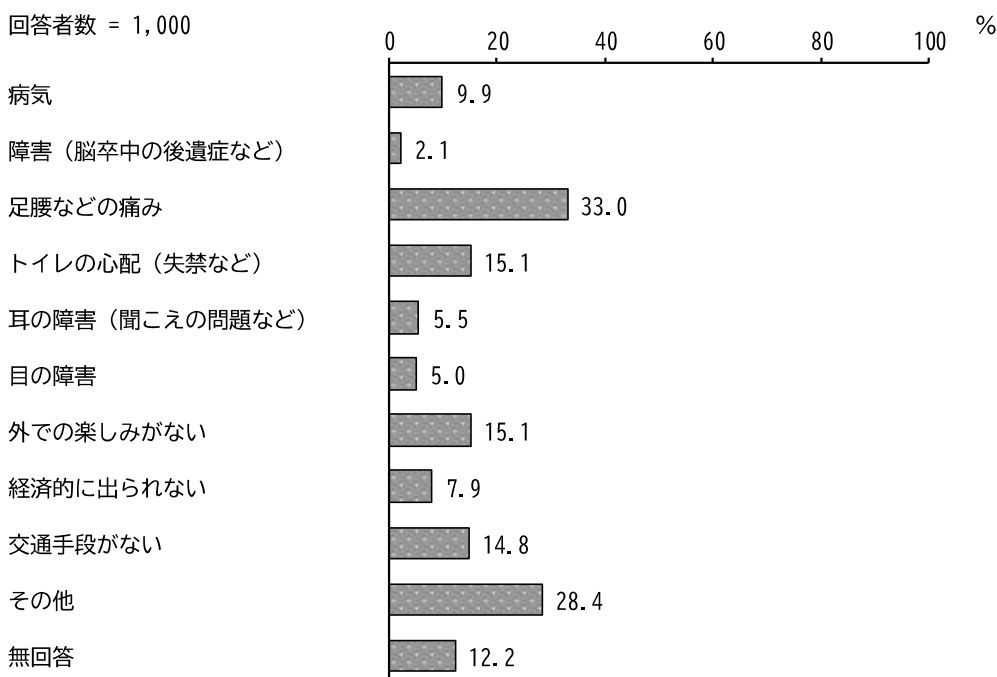
問 12 外出を控えていますか（回答は1つ）

「はい」の割合が42.4%、「いいえ」の割合が56.7%となっています。



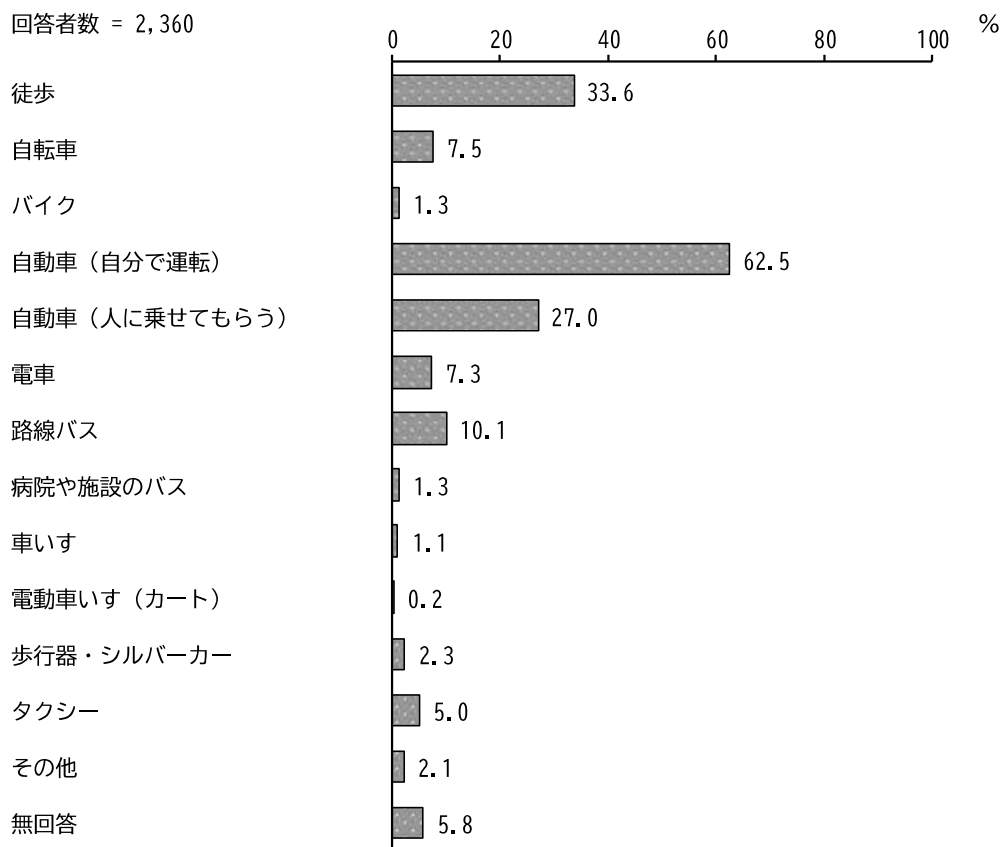
問 12-① 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

「足腰などの痛み」の割合が33.0%と最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」、「外での楽しみがない」の割合が15.1%となっています。



問13 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

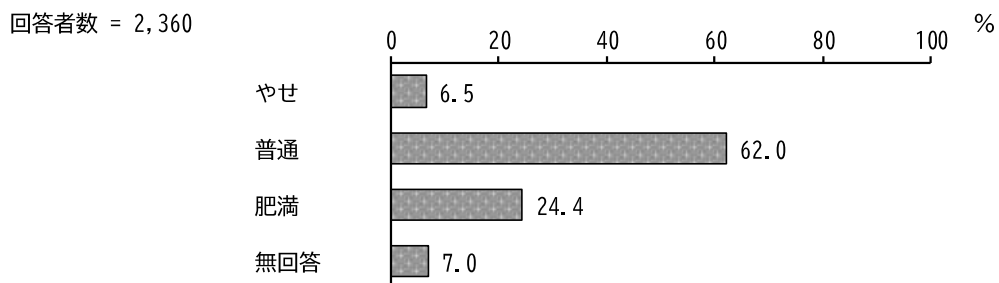
「自動車（自分で運転）」の割合が62.5%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が33.6%、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が27.0%となっています。



(3) 食べることについて

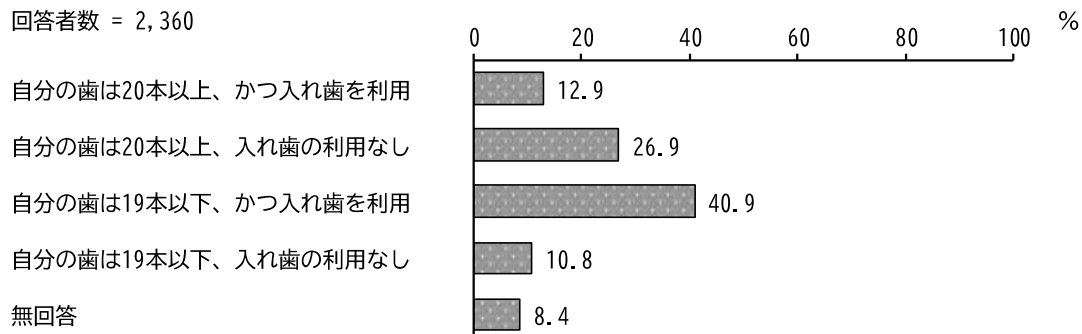
問14 BIM

「普通」の割合が62.0%と最も高く、次いで「肥満」の割合が24.4%となっています。



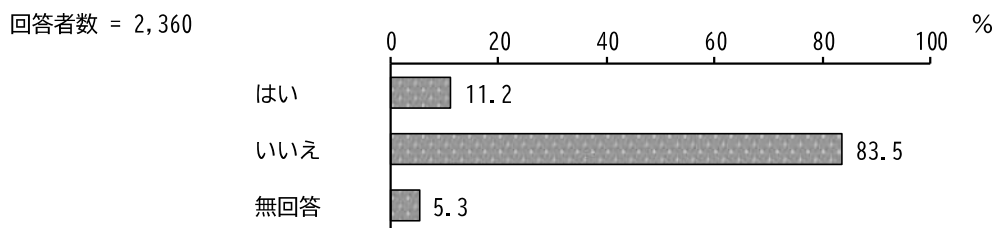
問 15 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（回答は1つ）

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が40.9%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が26.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が12.9%となっています。



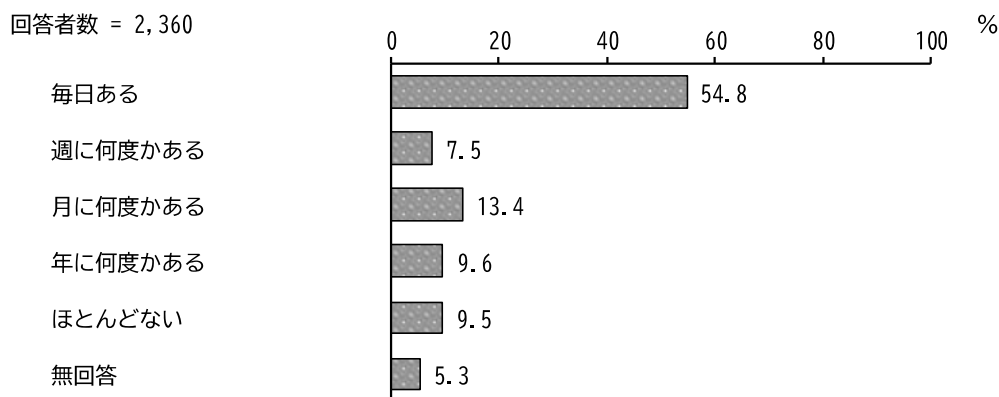
問 16 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（回答は1つ）

「はい」の割合が11.2%、「いいえ」の割合が83.5%となっています。



問 17 どなたかと食事をとにもする機会がありますか（回答は1つ）

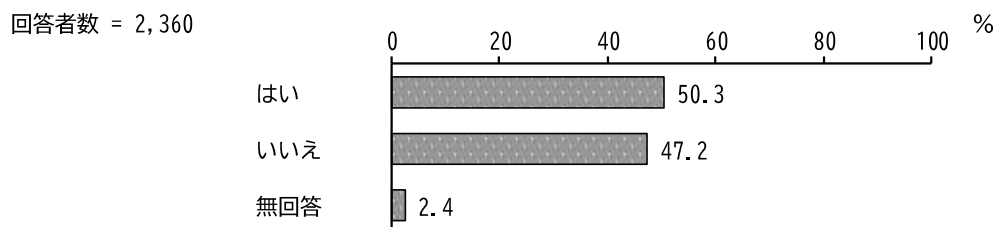
「毎日ある」の割合が54.8%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が13.4%となっています。



(4) 毎日の生活について

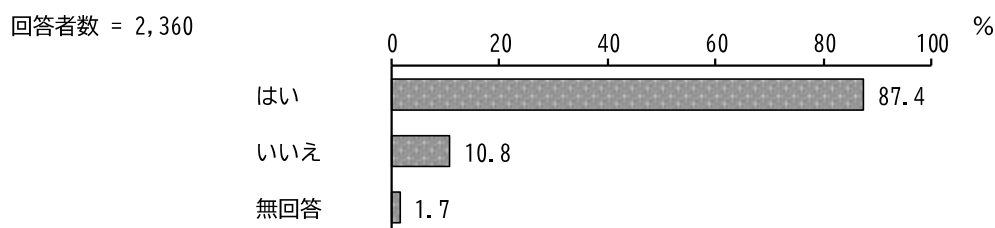
問 18 物忘れが多いと感じますか (回答は1つ)

「はい」の割合が50.3%、「いいえ」の割合が47.2%となっています。



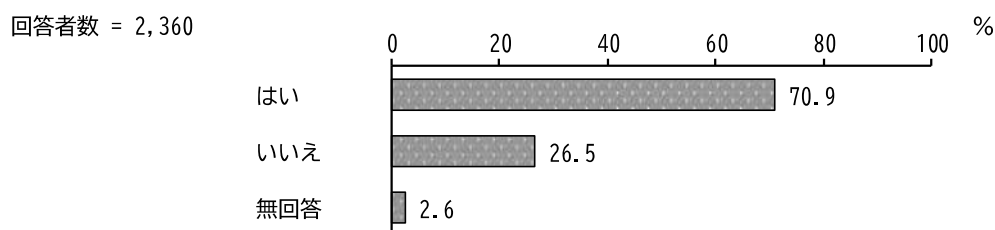
問 18 健康についての記事や番組に関心がありますか (回答は1つ)

「はい」の割合が87.4%、「いいえ」の割合が10.8%となっています。



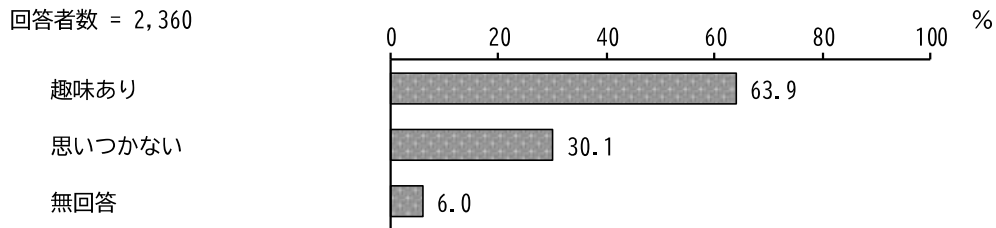
問 20 家族や友人の相談にのっていますか (回答は1つ)

「はい」の割合が70.9%、「いいえ」の割合が26.5%となっています。



問 21 趣味はありますか（回答は1つ）

「趣味あり」の割合が63.9%、「思いつかない」の割合が30.1%となっています。



【幸福度別】

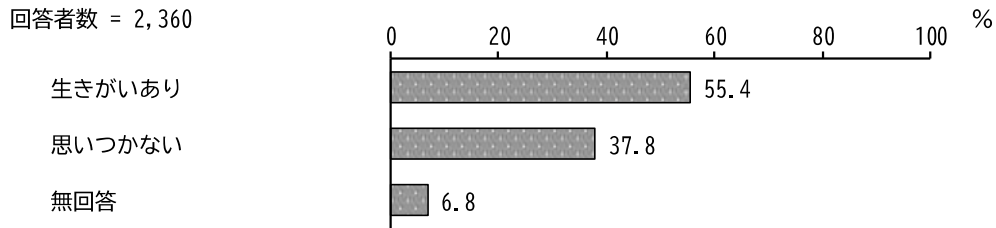
幸福度別にみると、0～3点で「思いつかない」の割合が、4～6点で「思いつかない」の割合が、7～10点で「趣味あり」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	趣味あり	思いつかない	無回答
全 体	2360	63.9	30.1	6.0
0～3点	120	37.5	53.3	9.2
4～6点	795	54.6	40.1	5.3
7～10点	1314	73.7	21.5	4.8

問 22 生きがいがありますか（回答は1つ）

「生きがいあり」の割合が55.4%、「思いつかない」の割合が37.8%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、0～3点で「思いつかない」の割合が、4～6点で「思いつかない」の割合が、7～10点で「生きがいあり」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	生きがいあり	思いつかない	無回答
全 体	2360	55.4	37.8	6.8
0～3点	120	19.2	75.8	5.0
4～6点	795	41.1	53.3	5.5
7～10点	1314	68.5	25.2	6.3

(5) 地域の活動について

問 23 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※① - ⑧それぞれに回答してください

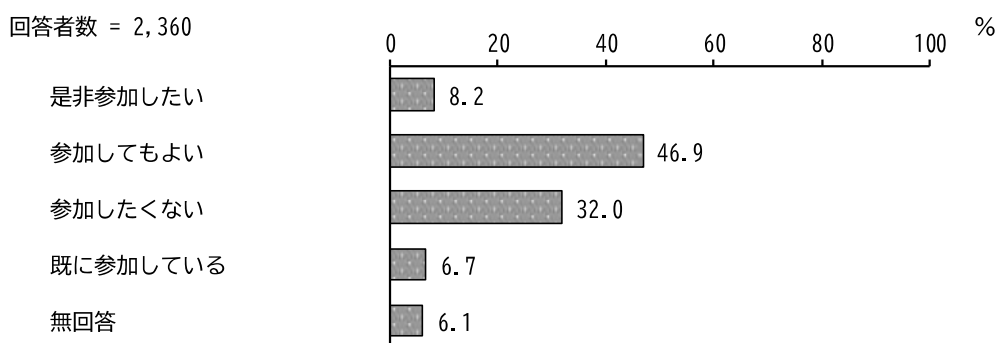
『⑦町内会・自治会』で「年に数回」の割合が、『⑧収入のある仕事』で「週4回以上」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	全 体	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
①ボランティアのグループ	2360	0.2	0.6	1.2	3.5	7.9	63.8	22.8
②スポーツ関係のグループやクラブ	2360	1.9	4.3	5.0	4.4	2.3	61.6	20.5
③趣味関係のグループ	2360	0.8	2.3	4.0	9.6	5.8	57.5	19.9
④学習・教養サークル	2360	0.4	0.5	1.1	2.8	2.3	68.9	24.0
⑤介護予防のための通いの場 (自治会館等で実施する健康体操)	2360	0.7	0.5	3.6	1.2	0.9	69.9	23.2
⑥老人クラブ	2360	0.2	0.5	0.7	1.9	3.6	70.4	22.8
⑦町内会・自治会	2360	0.1	0.3	0.7	4.9	26.8	45.2	21.9
⑧収入のある仕事	2360	11.7	8.8	1.8	2.1	2.8	52.2	20.5

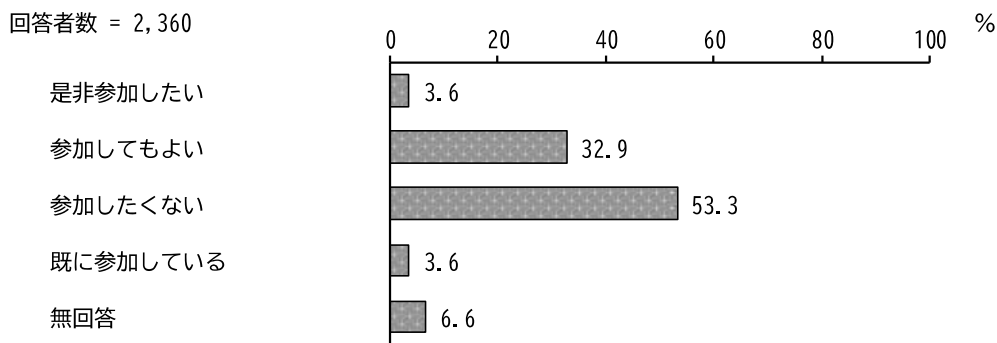
問 24 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（回答は1つ）

「参加してもよい」の割合が46.9%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が32.0%となっています。



問 25 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（回答は1つ）

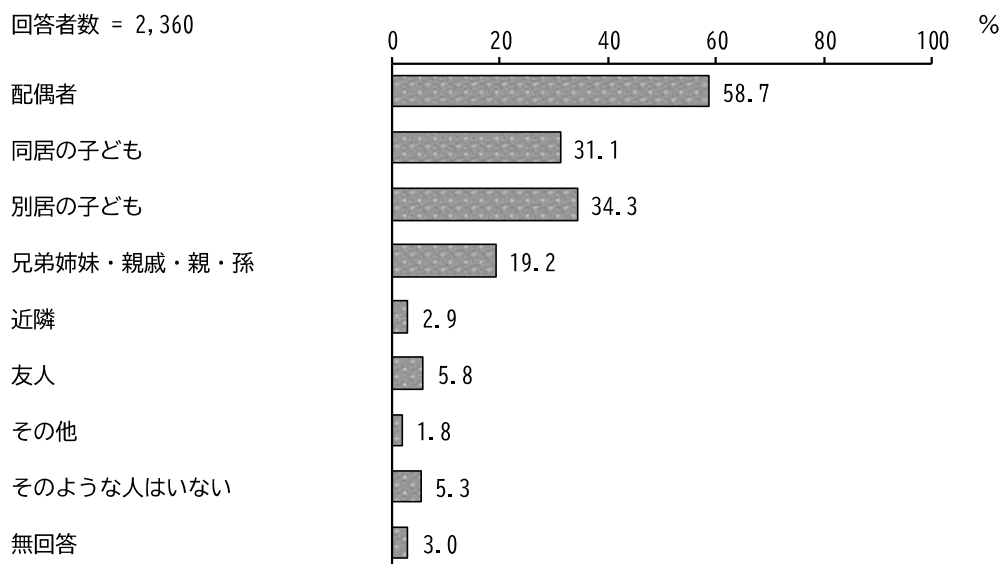
「参加したくない」の割合が53.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が32.9%となっています。



（6）たすけあいについて

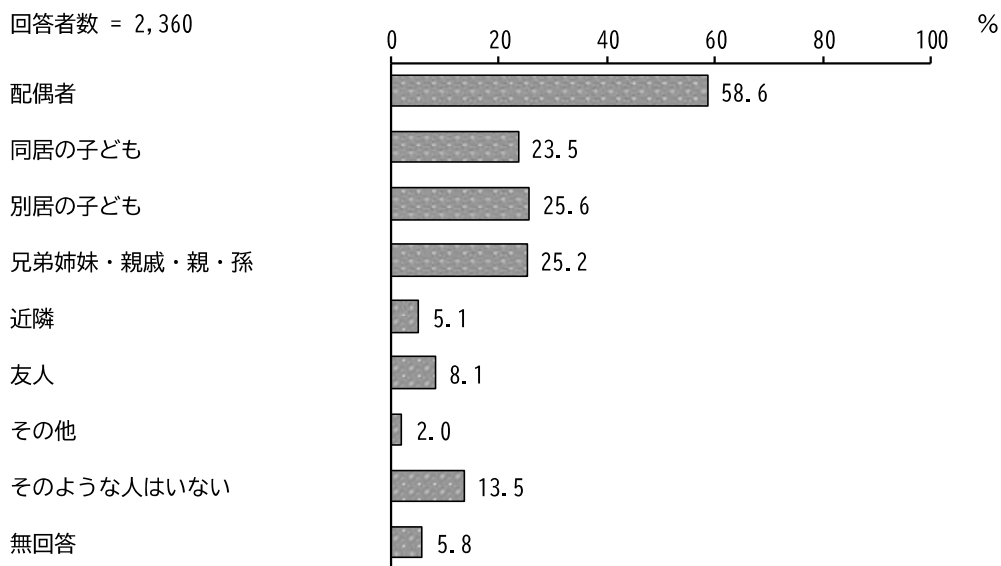
問 26 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が58.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が34.3%、「同居の子ども」の割合が31.1%となっています。



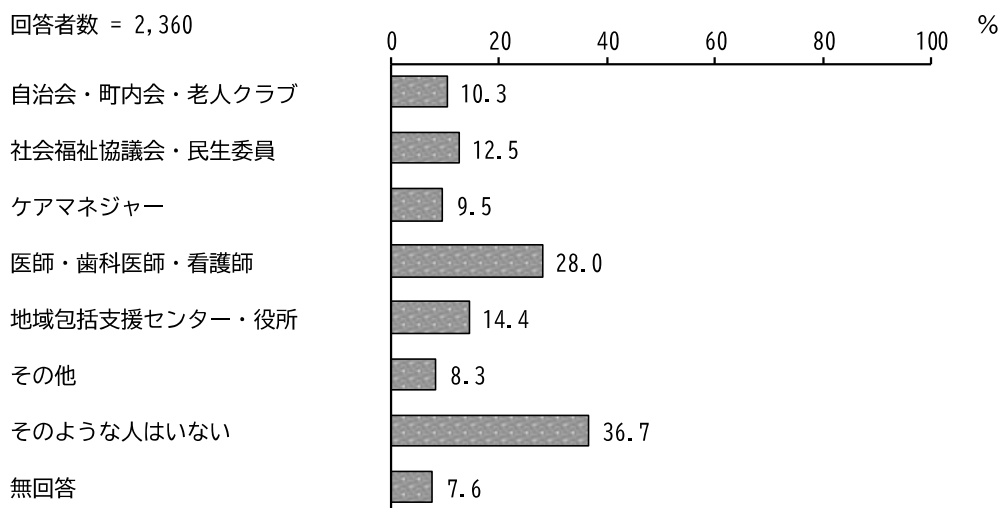
問 27 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 25.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 25.2%となっています。



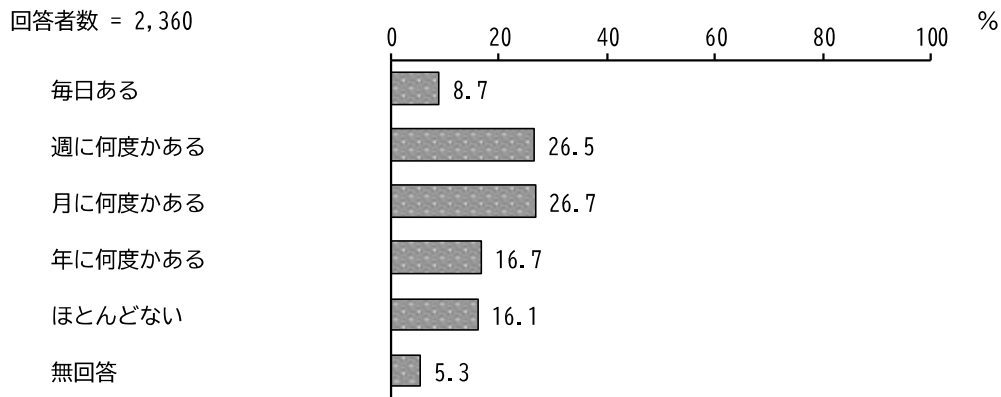
問 28 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

「そのような人はいない」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が 28.0%、「地域包括支援センター・役所」の割合が 14.4%となっています。



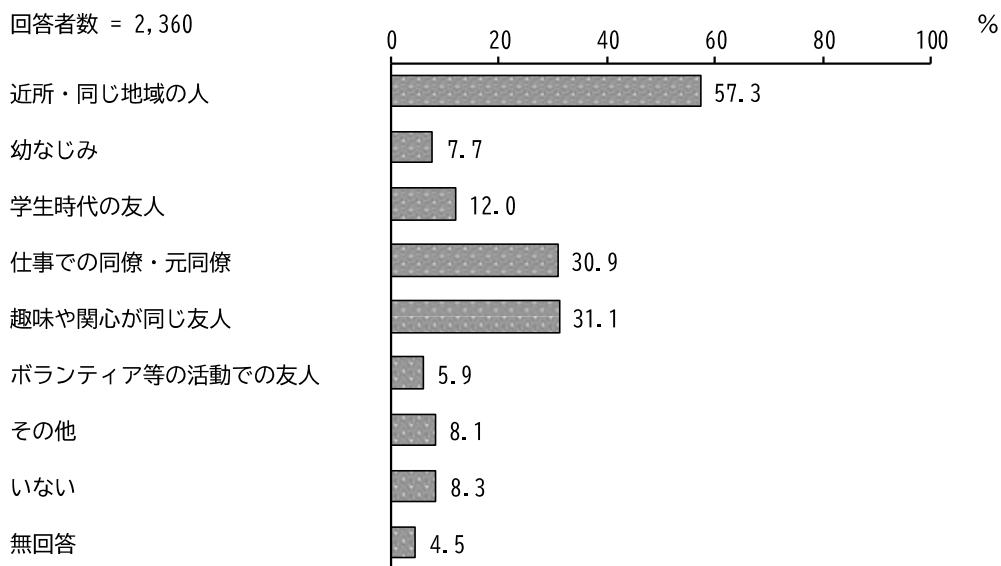
問 28 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（回答は1つ）

「月に何度かある」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が 26.5%、「年に何度かある」の割合が 16.7%となっています。



問 30 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

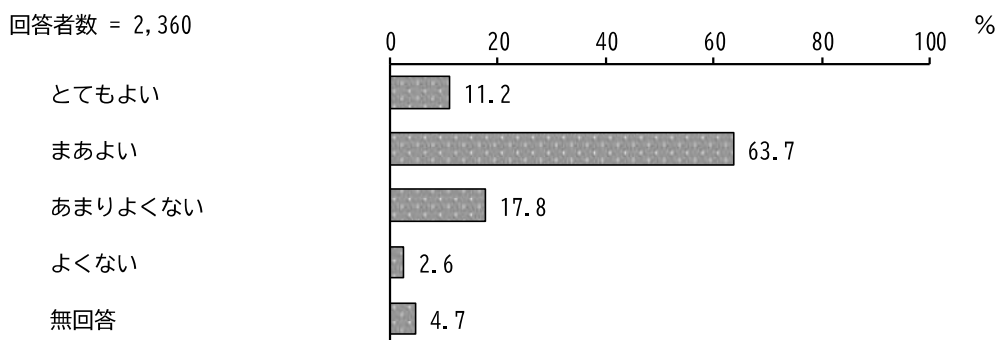
「近所・同じ地域の人」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が 31.1%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が 30.9%となっています。



(7) 健康について

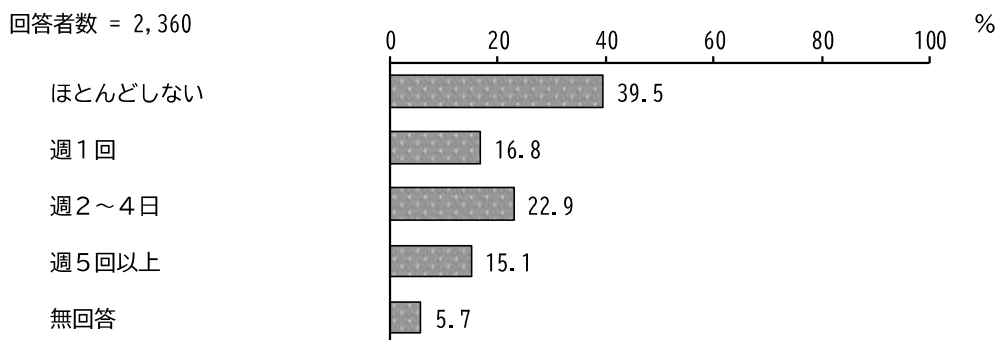
問 31 現在のあなたの健康状態はいかがですか（回答は1つ）

「まあよい」の割合が63.7%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が17.8%、「とてもよい」の割合が11.2%となっています。



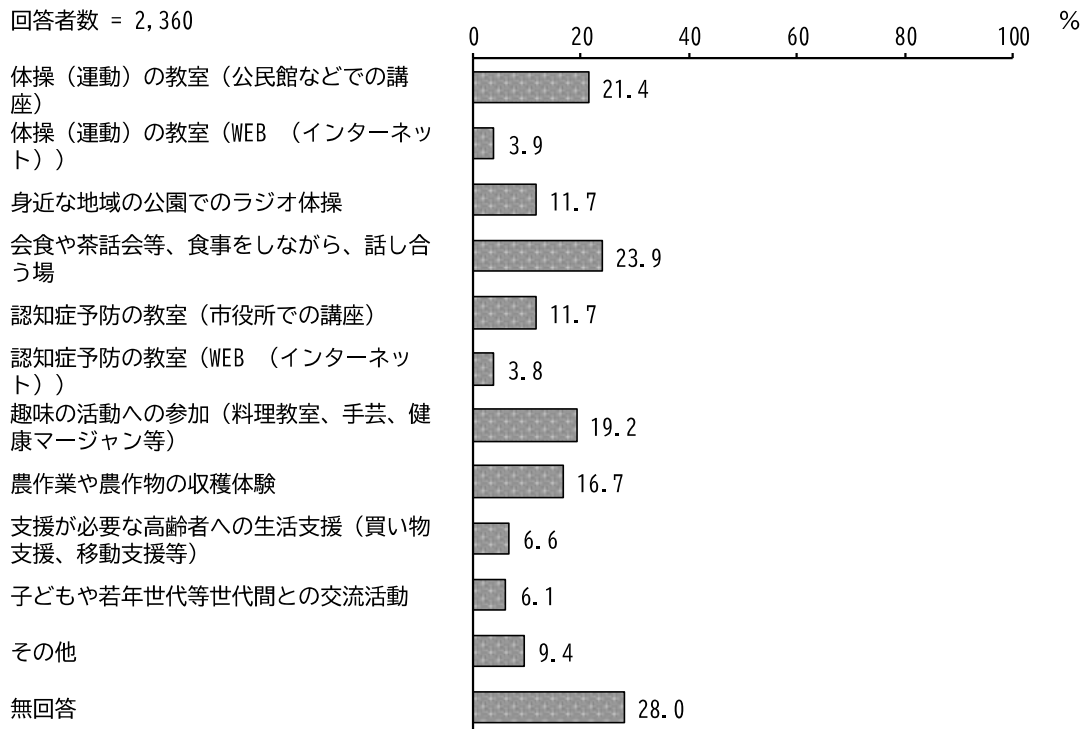
問 32 軽い運動・体操もしくは定期的な運動・スポーツを週1回以上していますか（回答は1つ）

「ほとんどしない」の割合が39.5%と最も高く、次いで「週2～4日」の割合が22.9%、「週1回」の割合が16.8%となっています。



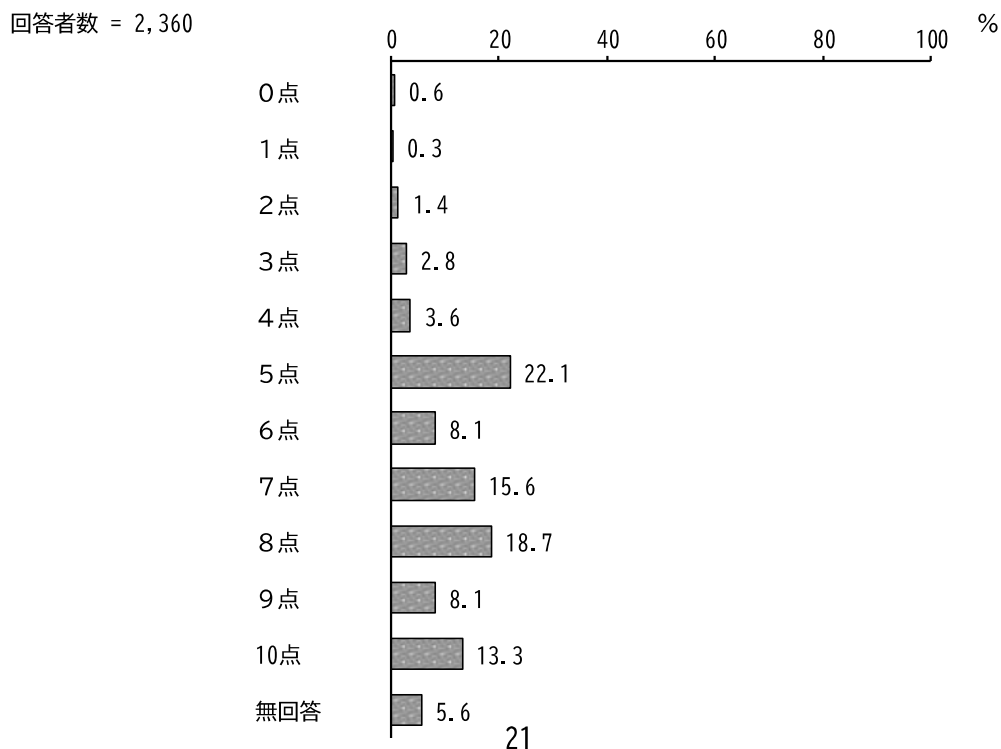
問 33 あなたは以下のどの介護予防や健康づくりの活動に参加したいですか（いくつでも）

「会食や茶話会等、食事をしながら、話し合う場」の割合が 23.9%と最も高く、次いで「体操（運動）の教室（公民館などでの講座）」の割合が 21.4%、「趣味の活動への参加（料理教室、手芸、健康マージャン等）」の割合が 19.2%となっています。



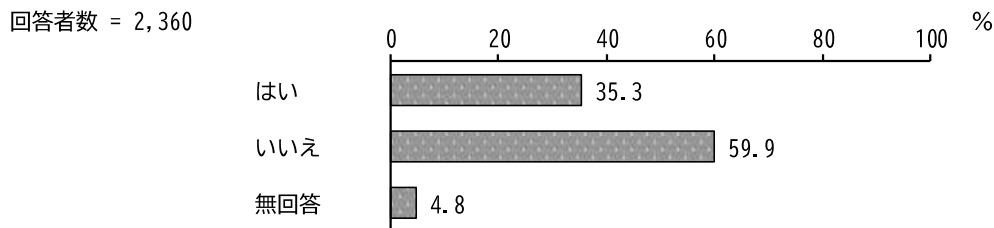
問 34 あなたは、現在どの程度幸せですか

「5点」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「8点」の割合が 18.7%、「7点」の割合が 15.6%となっています。



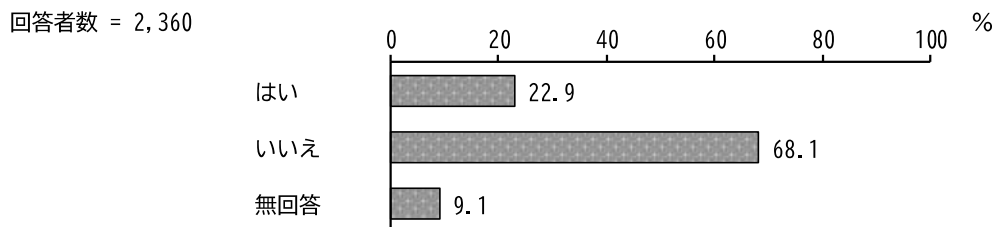
問 35 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（回答は1つ）

「はい」の割合が35.3%、「いいえ」の割合が59.9%となっています。



問 36 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（回答は1つ）

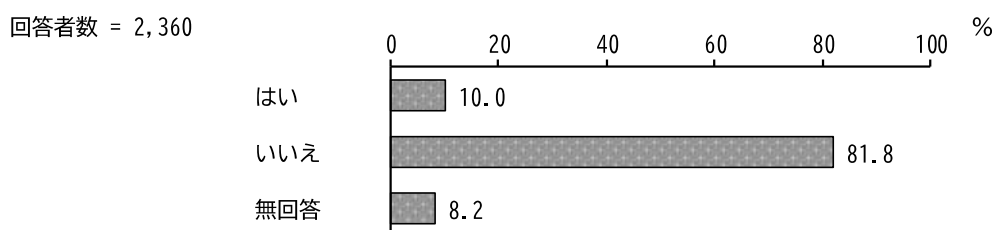
「はい」の割合が22.9%、「いいえ」の割合が68.1%となっています。



(8) 認知症にかかる相談窓口の把握について

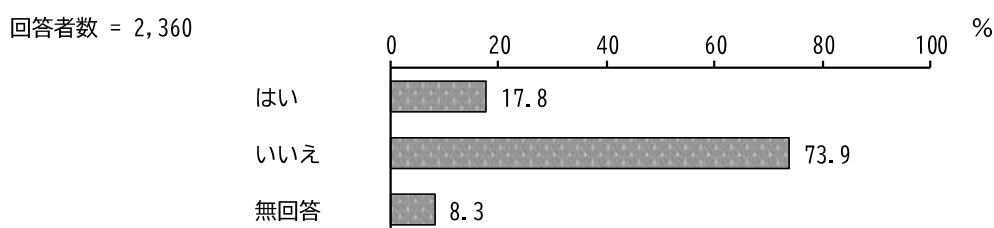
問 37 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（回答は1つ）

「はい」の割合が10.0%、「いいえ」の割合が81.8%となっています。



問 38 認知症に関する相談窓口を知っていますか（回答は1つ）

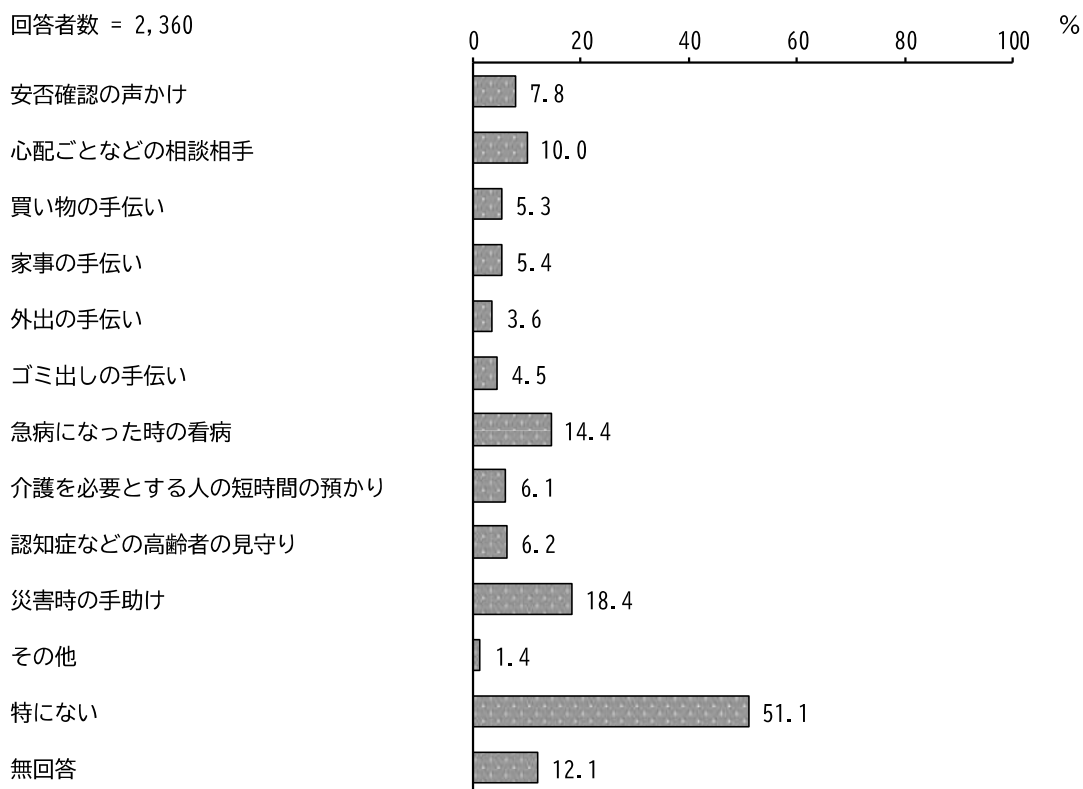
「はい」の割合が17.8%、「いいえ」の割合が73.9%となっています。



(9) 生活支援について

問 39 日常的に受けたいと思う支援はありますか (いくつでも)

「特にない」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が 18.4%、「急病になった時の看病」の割合が 14.4%となっています。



2 生活機能評価等に関する分析

(1) 機能別リスク該当者割合の分析

①運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

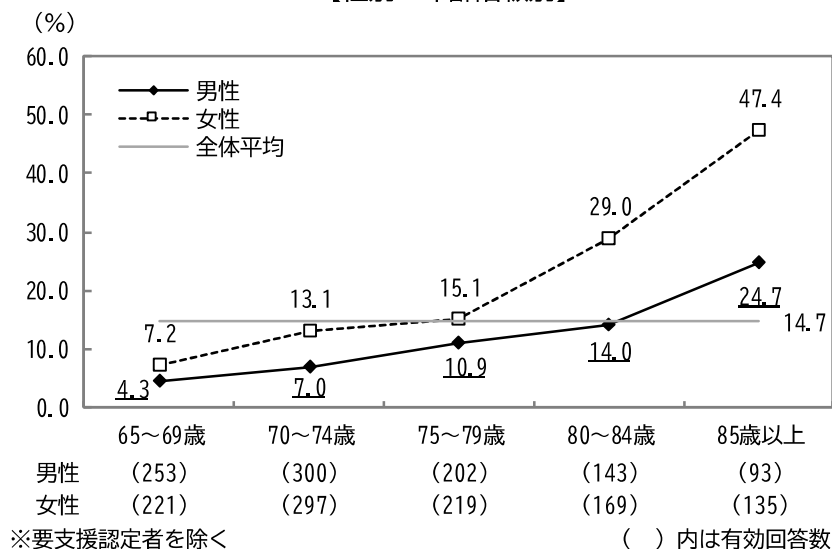
設問	該当する選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
15分位続けて歩いていますか。	3. できない
過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

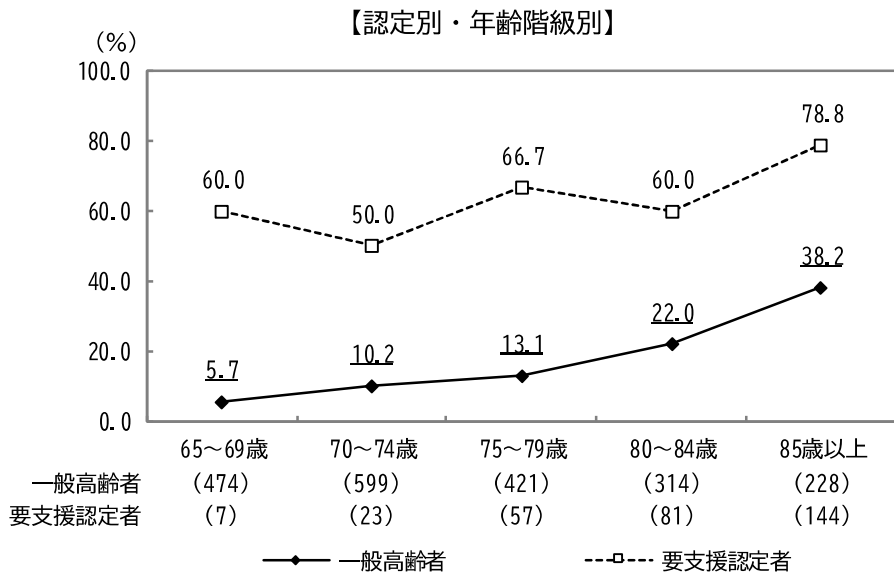
国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で14.7%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上では47.4%と75～79歳に比べ32.3ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上では24.7%と80～84歳に比べ10.7ポイント上昇しています。したがって、男性は80歳以降、女性は75歳以降で運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。

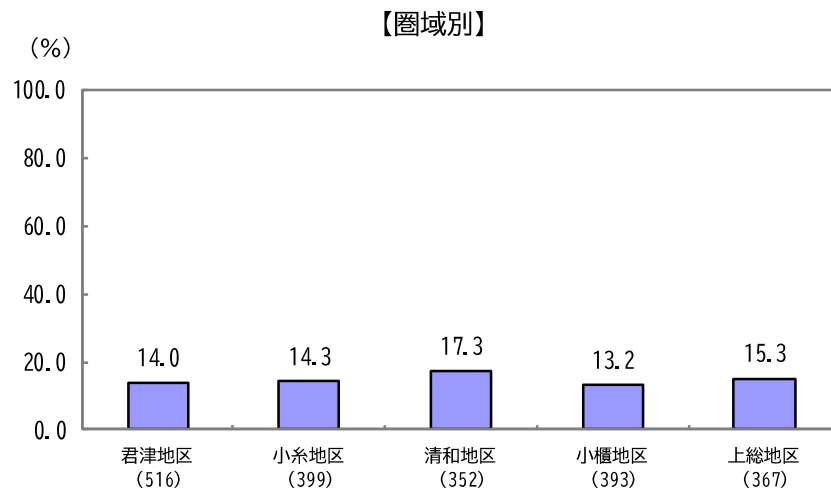
【性別・年齢階級別】



認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援対象者では割合がとても高くなっています。要支援対象者をみると、85歳以上で該当者が70%以上となっています。



圏域別にみると、清和地区、上総地区で該当者割合が全体平均の14.8%を超えています。また、最も高い圏域は清和地区で17.3%、最も低い圏域は小櫃地区で13.2%となっており、4.1ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

②閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

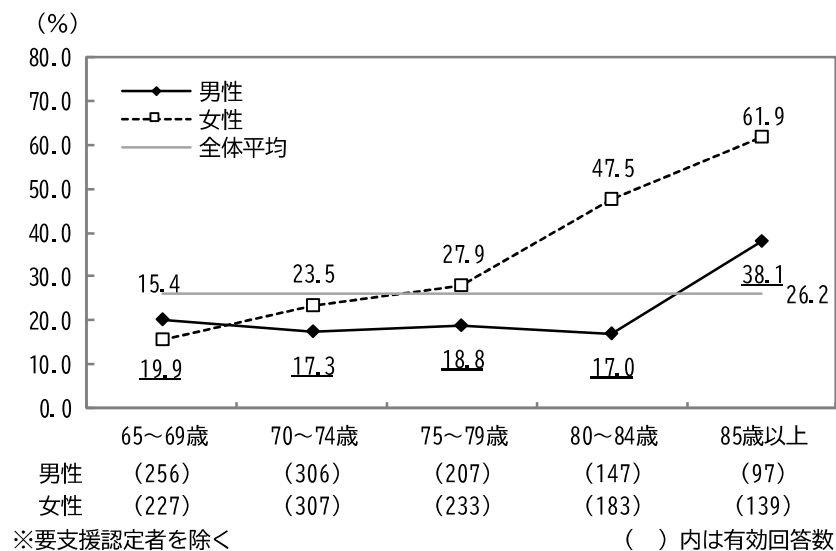
設問	該当する選択肢
週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

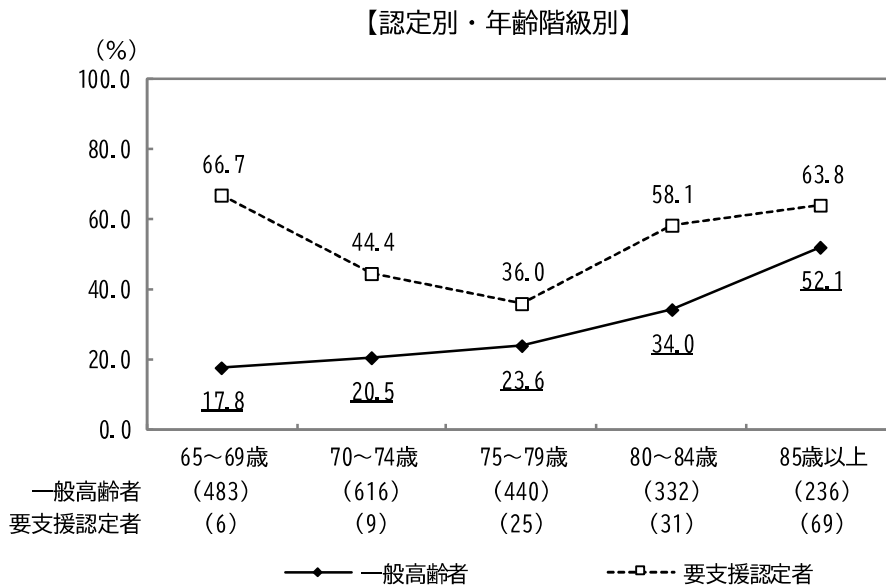
国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で26.2%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で61.9%と、80～84歳に比べ14.4ポイント上昇しています。また、70歳以上では男性に比べて女性で割合が高くなっています。また、男性では85歳以上で加齢に伴う身体状態の悪化などにより急激に外出の頻度が減少しています。

【性別・年齢階級別】

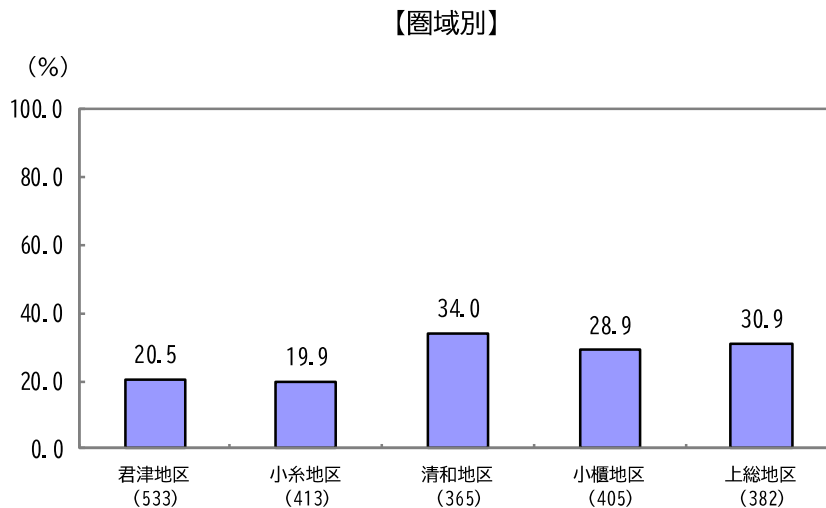


認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援対象者では割合がとて高くなっています。一般高齢者では、85歳以上で52.1%と80～84歳に比べ18.1ポイント上昇しています。



圏域別にみると、清和地区、小櫃地区、上総地区で該当者割合が全体平均の26.8%を超えています。

また、最も高い圏域は清和地区で34.0%、最も低い圏域は小系地区で19.9%となっており、14.1ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

③転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

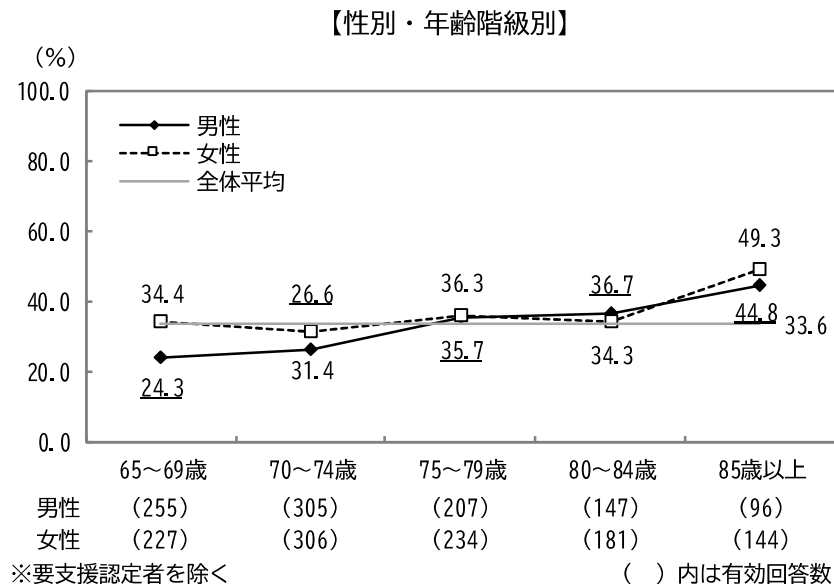
【判定設問】

設問	該当する選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

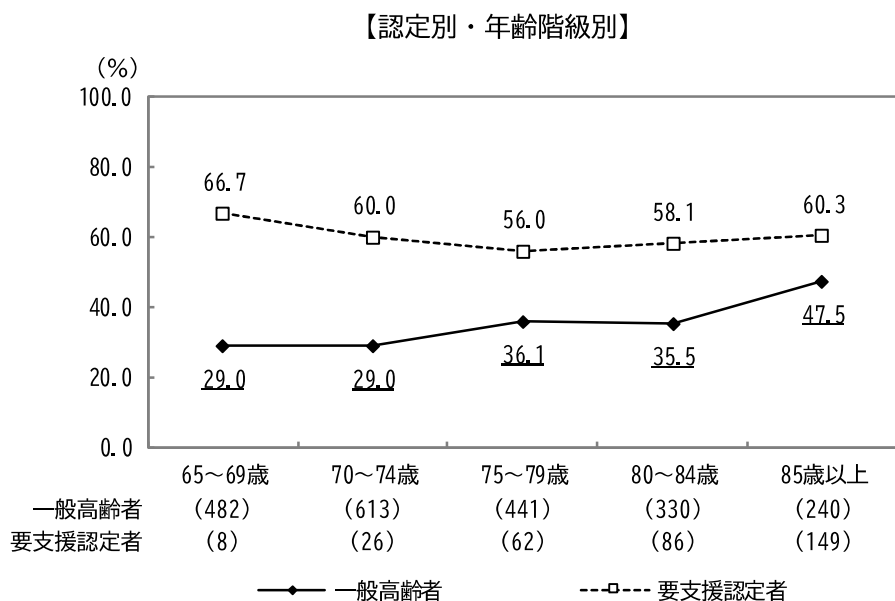
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で33.6%が転倒リスクの該当者となっています。

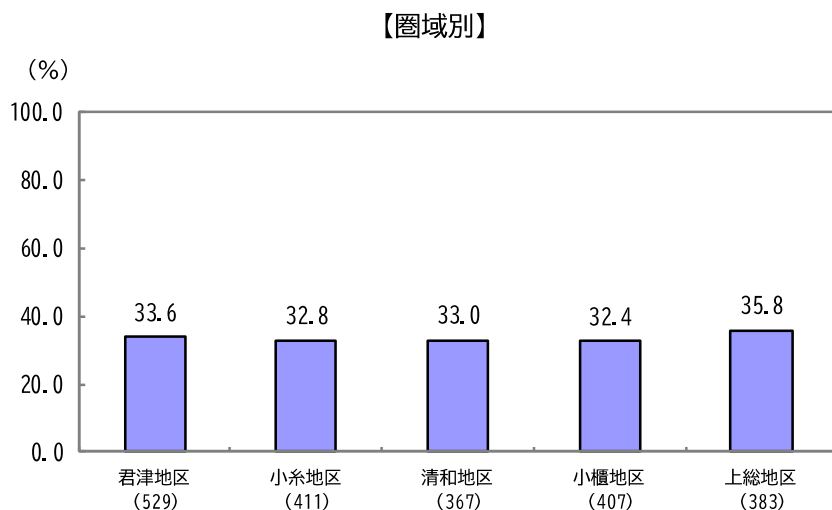
性別・年齢階級別にみると、男性と女性を比べると70歳以上から大きな差はありません。



認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援対象者では割合がとて高くなっています。一般高齢者では、年齢が上がるにつれて割合が徐々に上昇しています。



圏域別にみると、君津地区、で該当者割合が全体平均の 33.5% を超えています。
 また、最も高い圏域は上総地区で 35.8%、最も低い圏域は小櫃地区で 32.4% となっており、3.4 ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

④栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

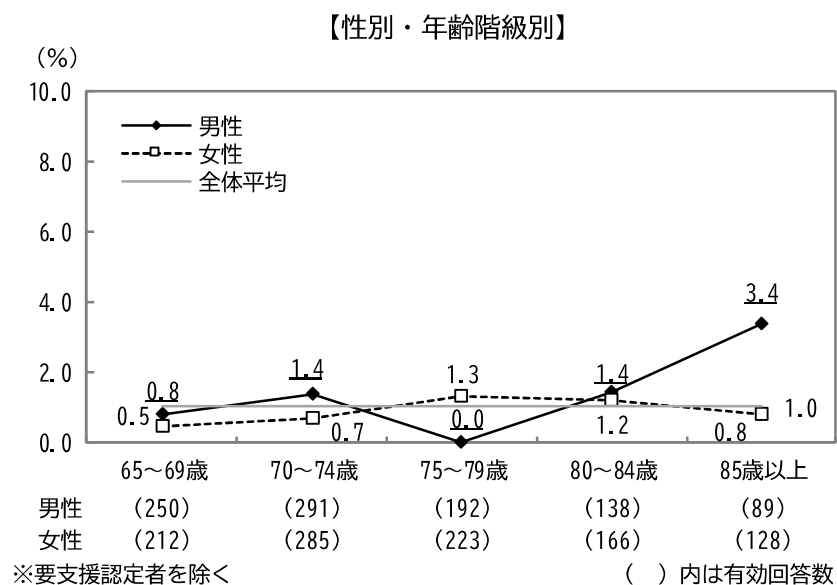
【判定設問】

設問	該当する選択肢
身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

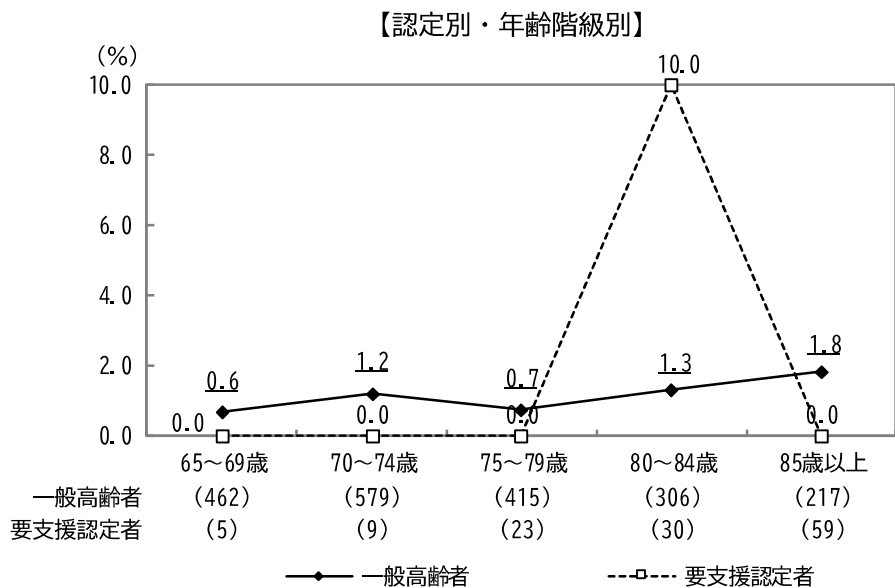
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で1.0%が低栄養リスクの該当者となっています。

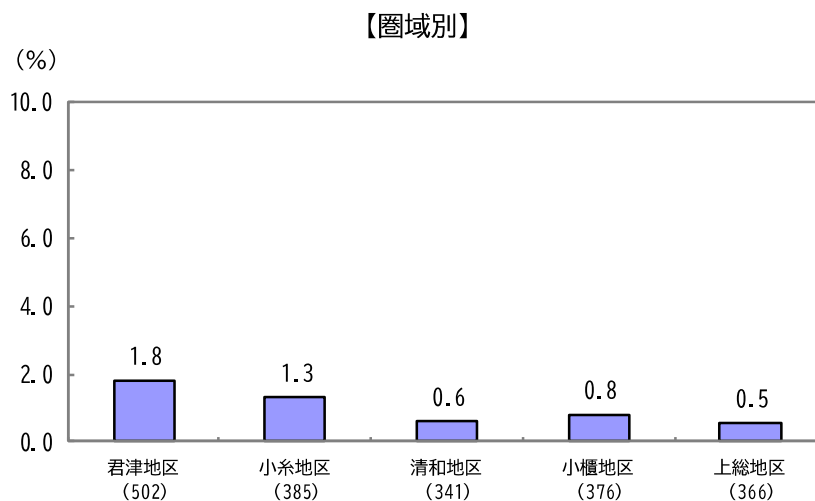
性別・年齢階級別にみると、男性と女性を比べると85歳以上でも2.6ポイントと大きな差はありません。



認定別・年齢階級別にみると、該当者割合は、要支援認定者の80～84歳で10.0%と最も高くなっていますが、他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。



圏域別にみると、君津地区、小糸地区で該当者割合が全体平均の1.0%を超えています。また、最も高い圏域は君津地区で1.8%、最も低い圏域は上総地区で0.5%となっており、1.3ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

⑤口腔

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

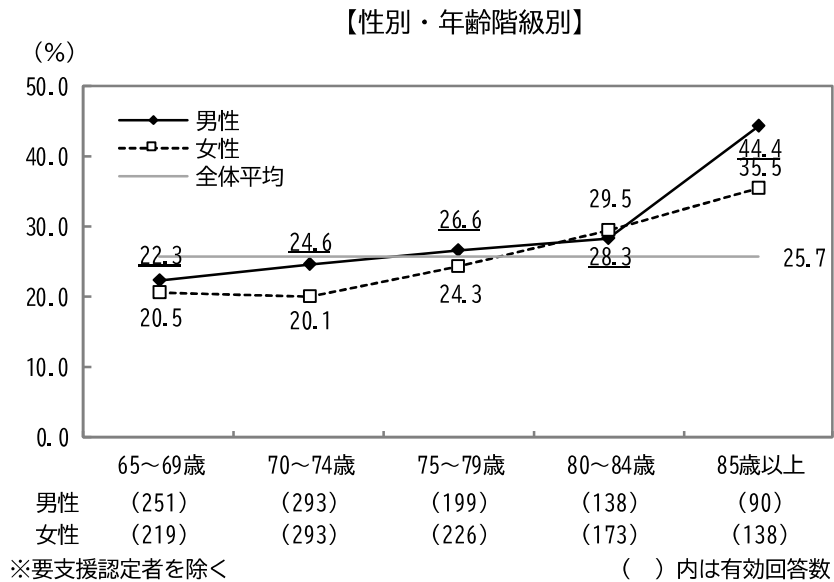
【判定設問】

設問	該当する選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
口の渇きが気になりますか。	1. はい

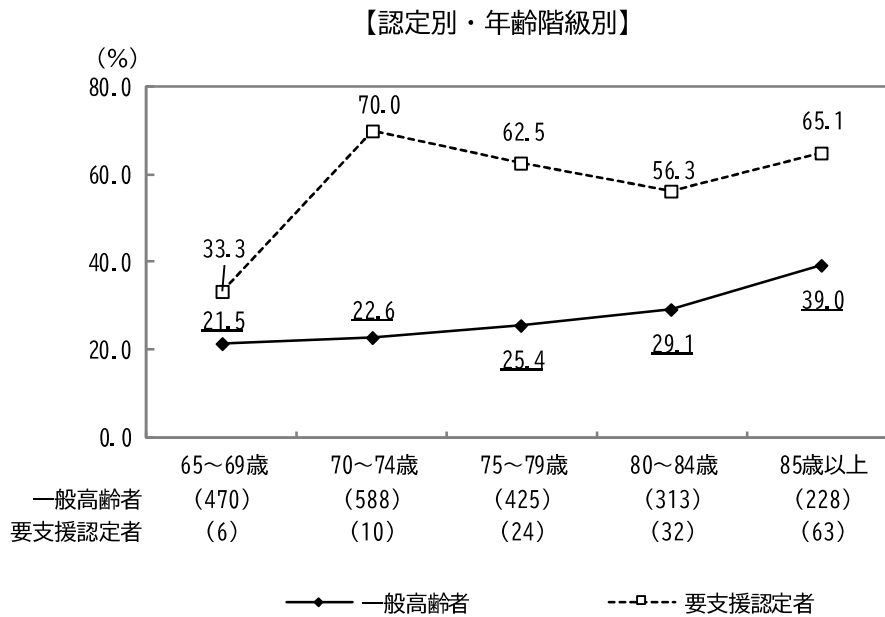
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で25.7%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

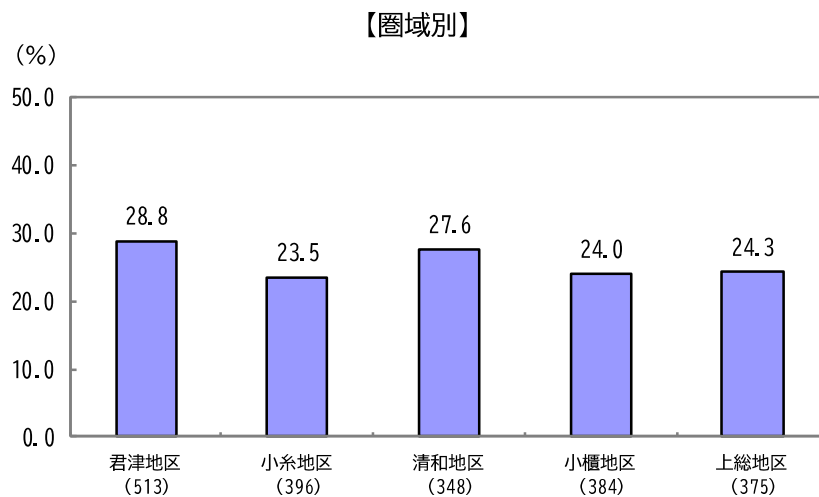
性別・年齢階級別にみると、男性では、85歳以上で44.4%と80~84歳に比べ16.1ポイント上昇しており、女性では、85歳以上で35.5%と80~84歳に比べ6.0ポイント上昇しています。



認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっていきます。



圏域別にみると、君津地区、清和地区で該当者割合が全体平均の25.6%を超えています。また、最も高い圏域は君津地区で28.8%、最も低い圏域は小糸地区で23.5%となっており、5.3ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

⑥認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

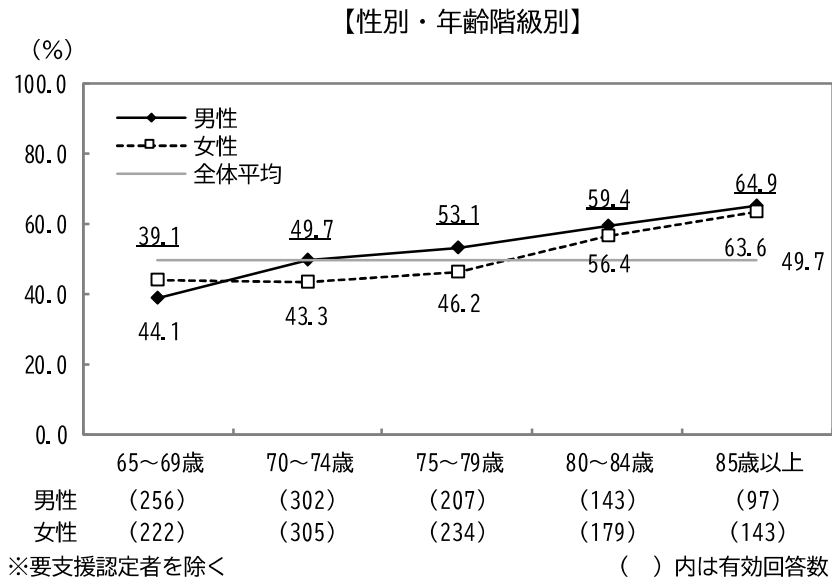
【判定設問】

設問	該当する選択肢
物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

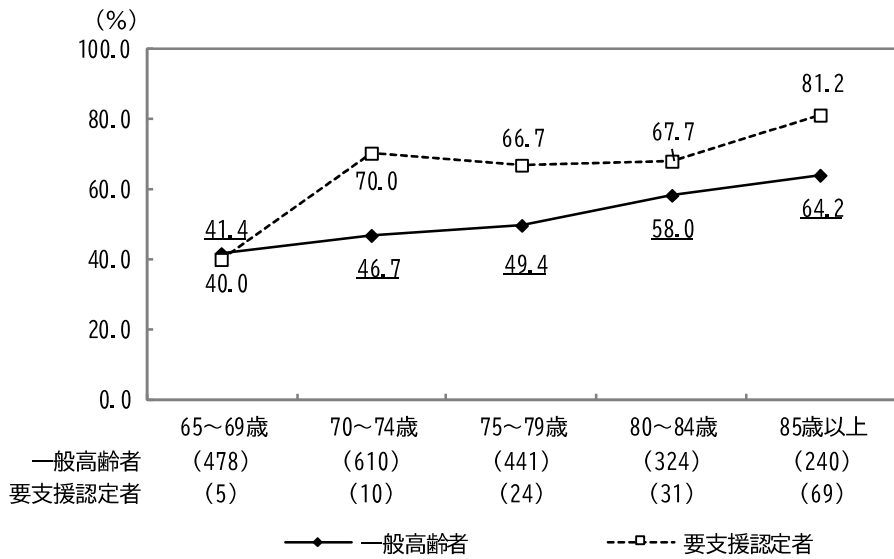
国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で49.7%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。また、85歳以上では、女性に比べ、男性で割合が高くなっています。



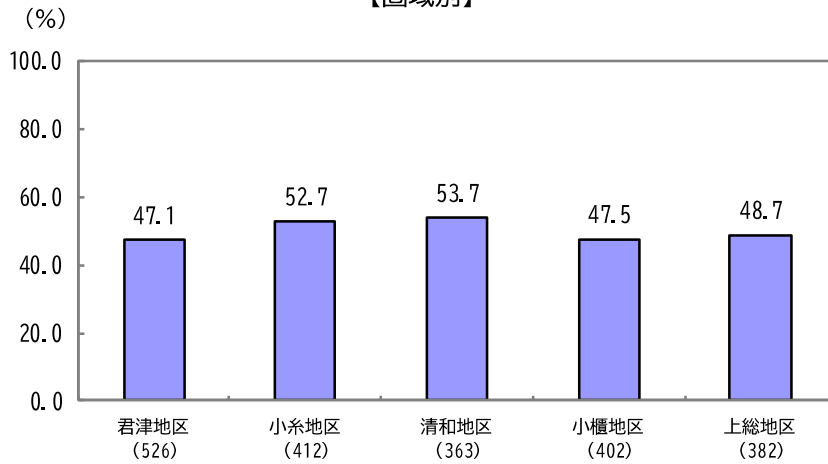
認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっています。また、要支援認定者では、85歳以上で81.2%と最も高くなっています。

【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、小糸地区、清和地区で該当者割合が全体平均の49.9%を超えています。また、最も高い圏域は清和地区で53.7%、最も低い圏域は君津地区で47.1%となっており、6.6ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

⑦うつ

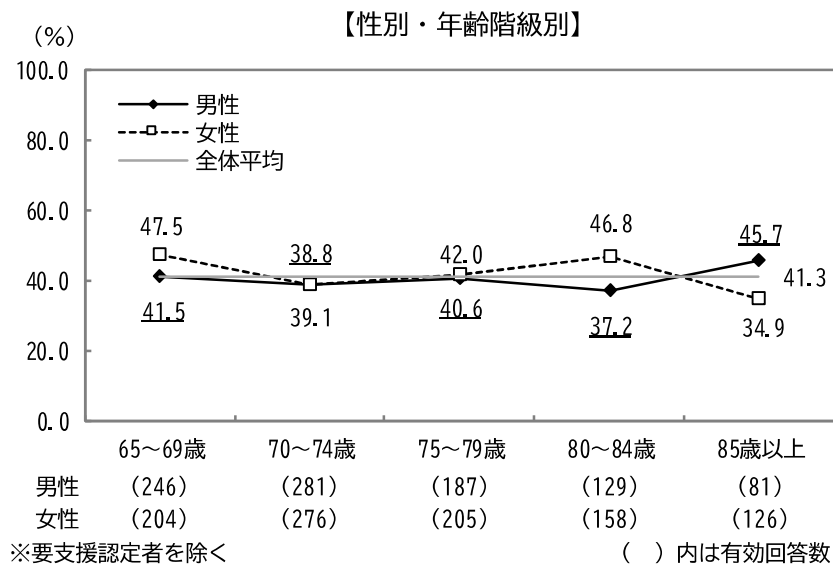
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

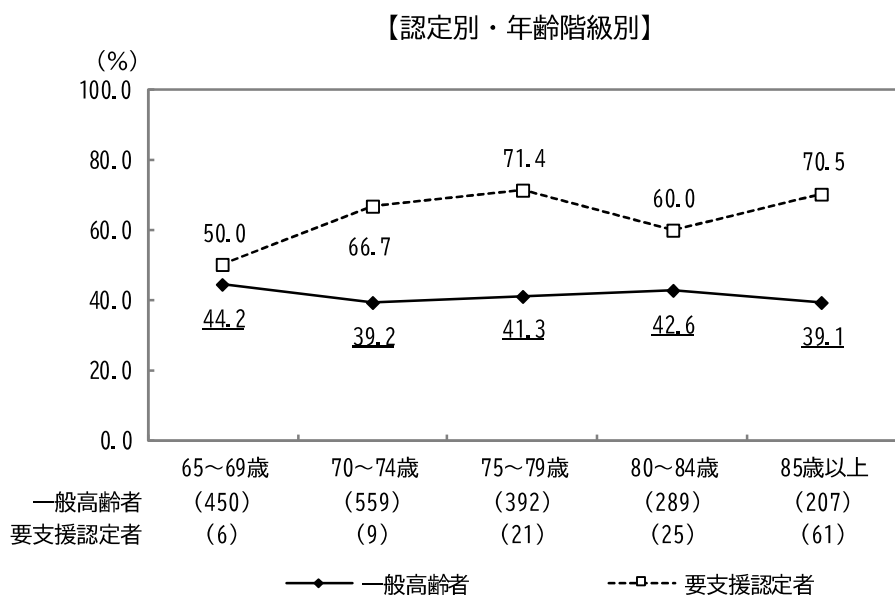
設問	該当する選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で41.3%が該当者となっています。性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに、年齢階級での大きな変化はありません。

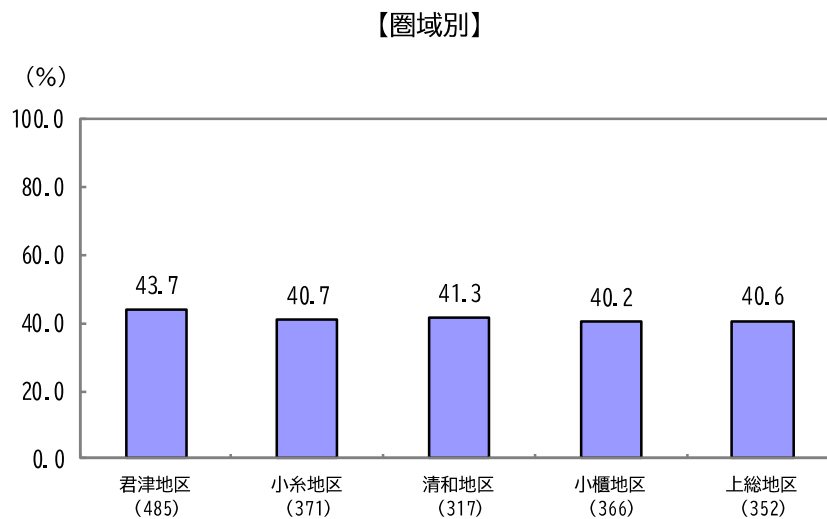


認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で割合が高くなっています。



圏域別にみると、君津地区で該当者割合が全体平均の41.3%を超えています。

また、最も高い圏域は君津地区で43.7%、最も低い圏域は小櫃地区で40.2%となっており、9.7ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

(2) 日常生活

①手段的自立度（IADL）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL）に関する設問が5問あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

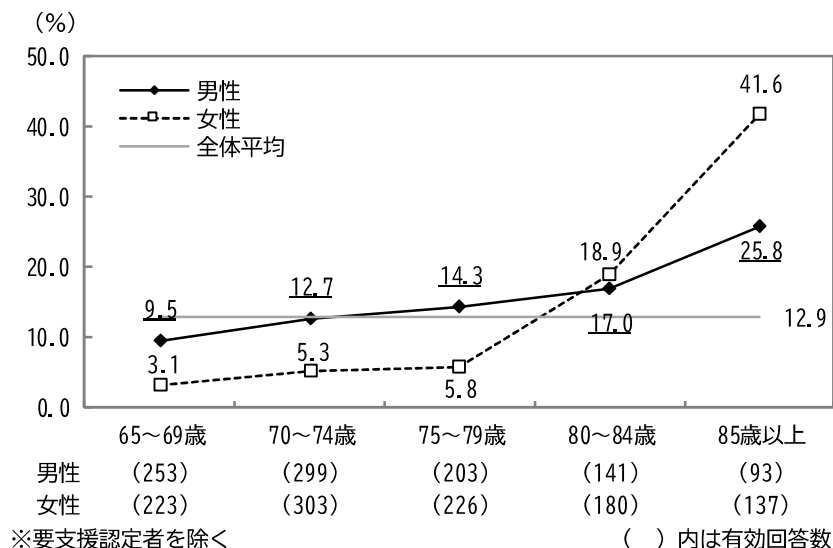
設問	該当する選択肢
バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【該当状況】

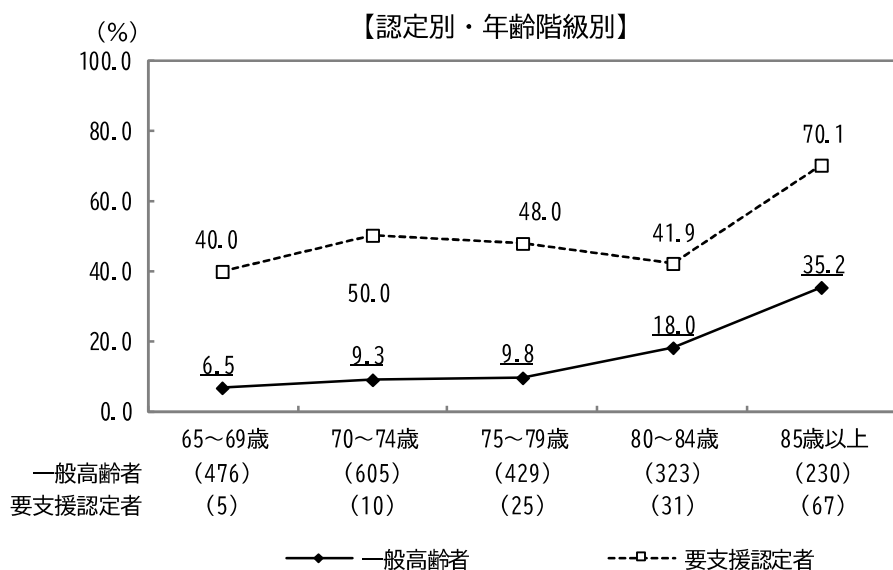
全体平均では12.9%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性では、85歳以上になると急激に上昇しています。男性では、85歳以上で25.8%と80～84歳に比べ8.8ポイント、女性では、85歳以上で41.6%と80～84歳に比べ22.7ポイント増加しています。

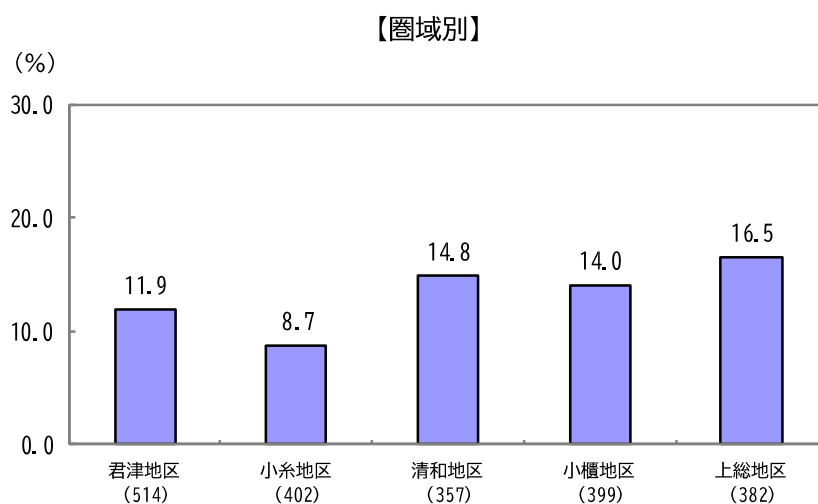
【性別・年齢階級別】



認定別・年齢階級別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で割合が高くなっています。また、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっています。



圏域別にみると、清和地区、小櫃地区、で該当者割合が全体平均の13.2%を超えています。また、最も高い圏域は上総地区で16.5%、最も低い圏域は小糸地区で8.7%となっており、7.8ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

(3) 社会参加

① 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

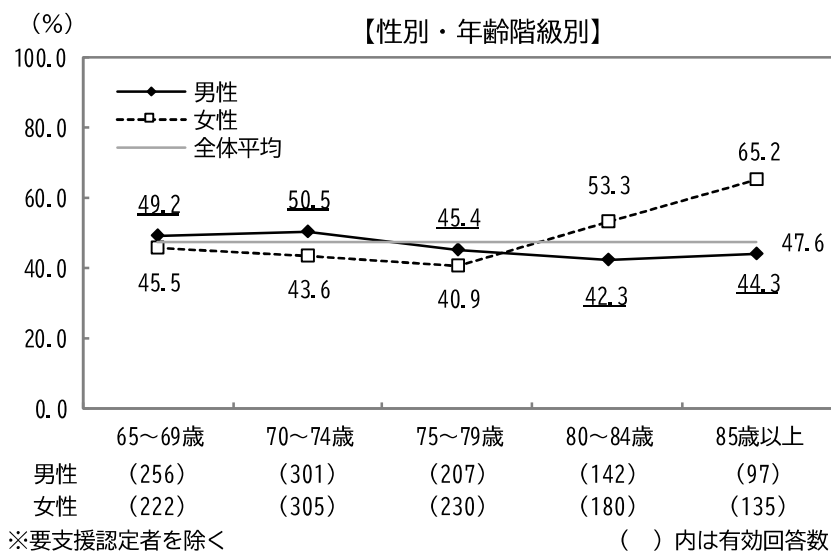
【判定設問】

設問	該当する選択肢
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

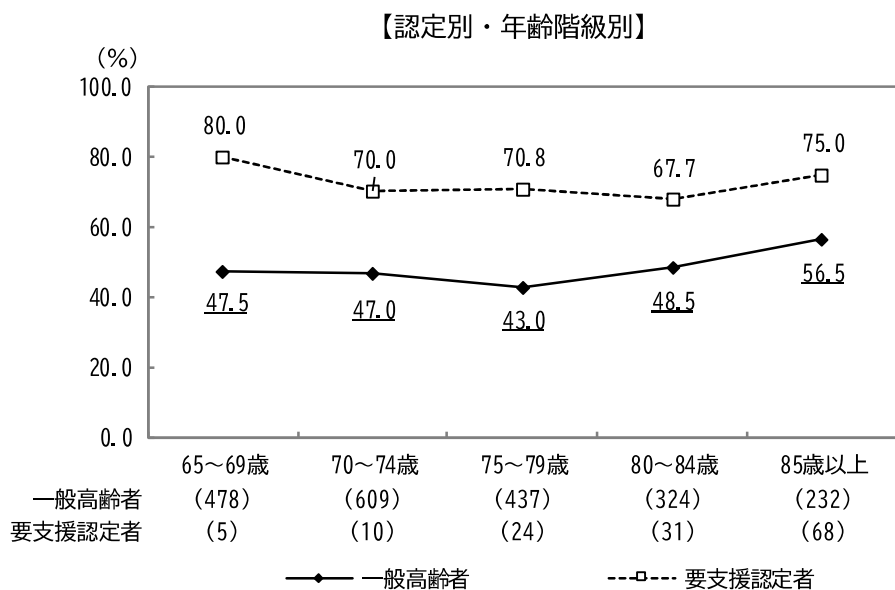
【該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では47.6%となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性では、85歳以上で男性を上回っています。また、85歳以上で65.2%と、80～84歳に比べ、11.9ポイント増加しています。

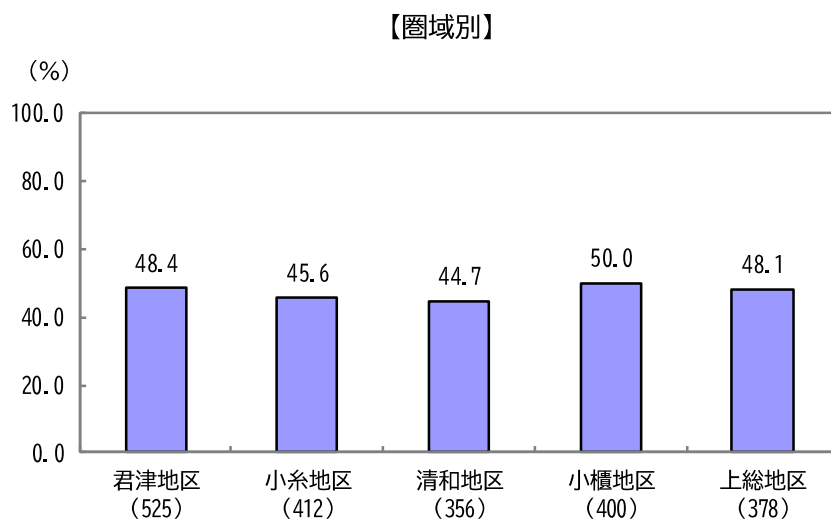


認定・該当状況別・年齢階級別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で割合が高くなっています。一般高齢者では、85歳以上が56.5%と最も高くなっています。



圏域別にみると、君津地区、小櫃地区、上総地区で該当者割合が全体平均の47.4%を超えています。

また、最も高い圏域は小櫃地区で50.0%、最も低い圏域は清和地区で44.7%となっており、5.3ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

②社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

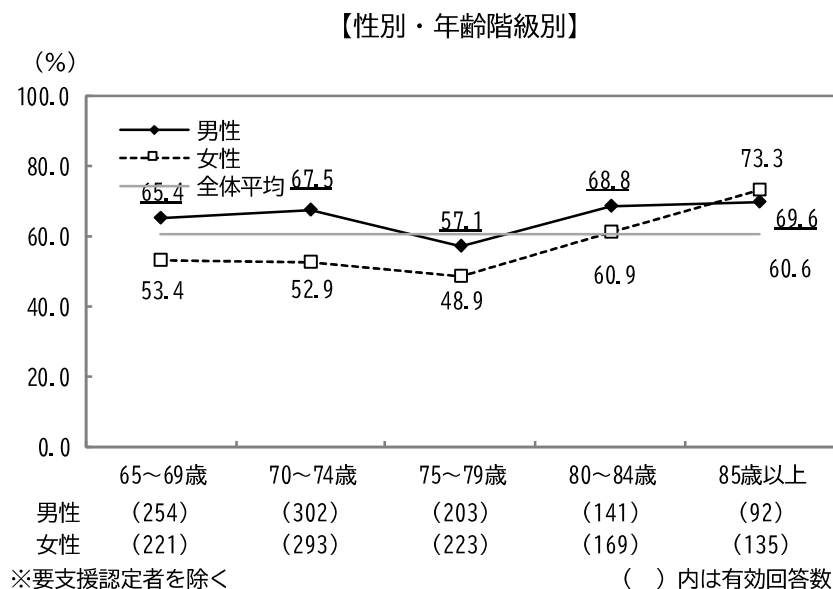
【判定設問】

設問	該当する選択肢
友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

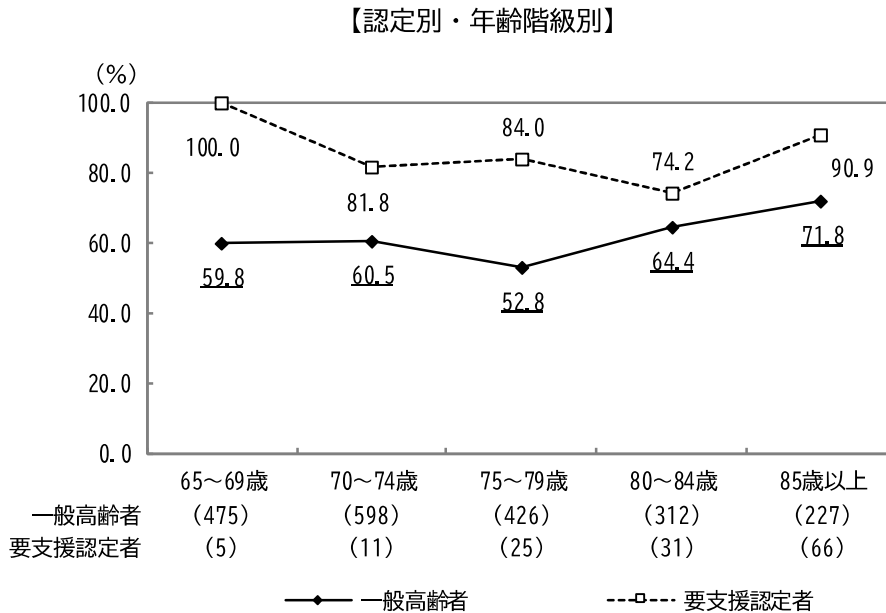
【該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では60.6%となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性では、70～74歳で67.5%と最も高くなっています。女性では、75～79歳以降急激に上昇し、85歳以上で73.3%と75～79歳に比ベ24.4ポイント上昇しています。

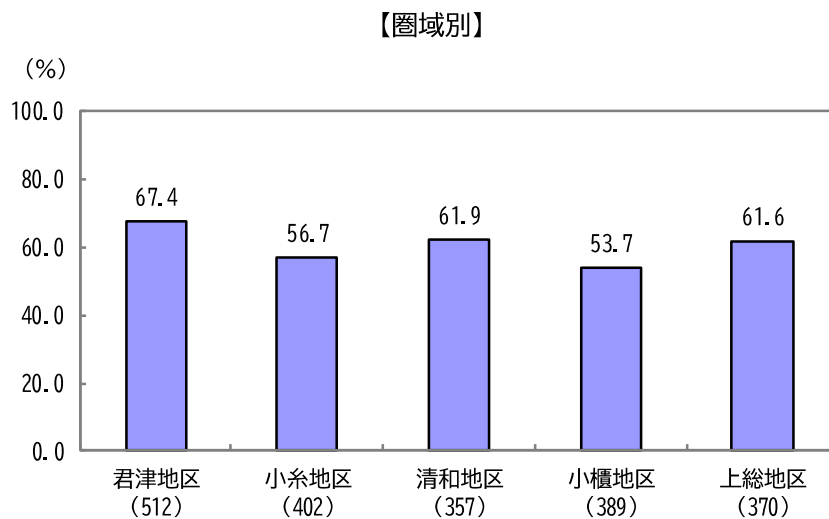


認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で割合が高くなっています。75～79歳では、一般高齢者が52.8%、要支援認定者が84.0%と、31.2ポイントの差となっています。また、85歳以上では、一般高齢者が71.8%、要支援認定者が90.9%と、19.1ポイントの差となっています。



圏域別にみると、君津地区、清和地区、上総地区で該当者割合が全体平均の60.3%を超えています。

また、最も高い圏域は君津地区で67.4%、最も低い圏域は小櫃地区で53.7%となっており、13.7ポイントの差となっています。



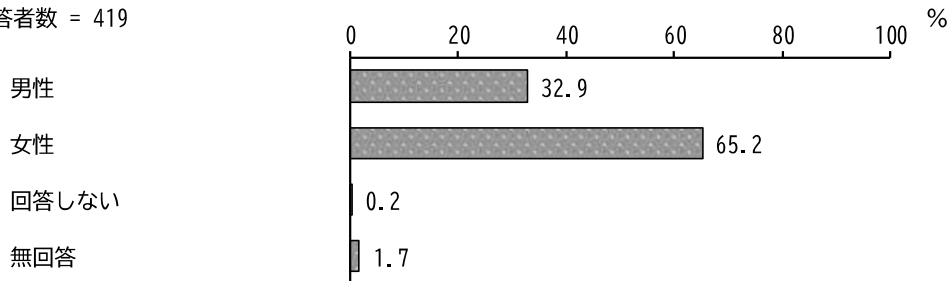
3 在宅介護実態調査

(1) 調査対象者様ご本人について

問1 ご本人の性別について、ご回答ください（回答は1つ）

「女性」の割合が65.2%と最も高く、次いで「男性」の割合が32.9%となっています。

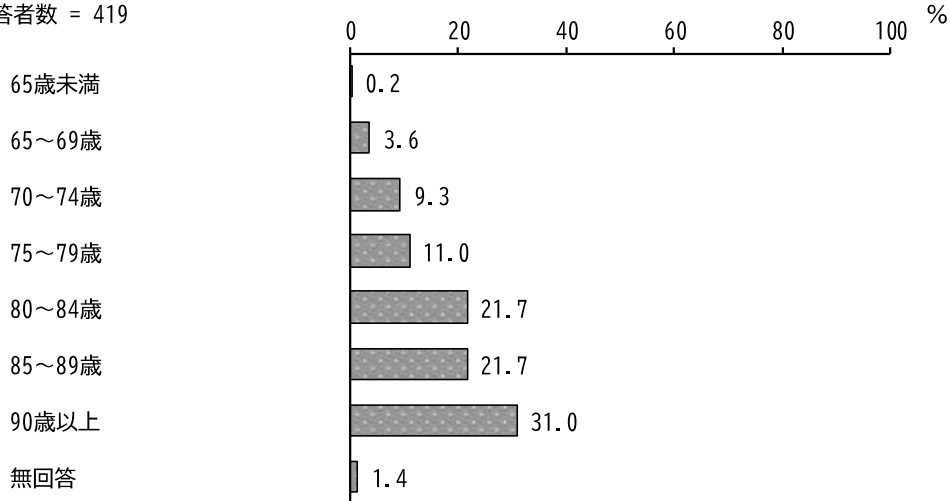
回答者数 = 419



問2 ご本人の年齢について、ご回答ください（回答は1つ）

「90歳以上」の割合が31.0%と最も高く、次いで「80～84歳」、「85～89歳」の割合が21.7%となっています。

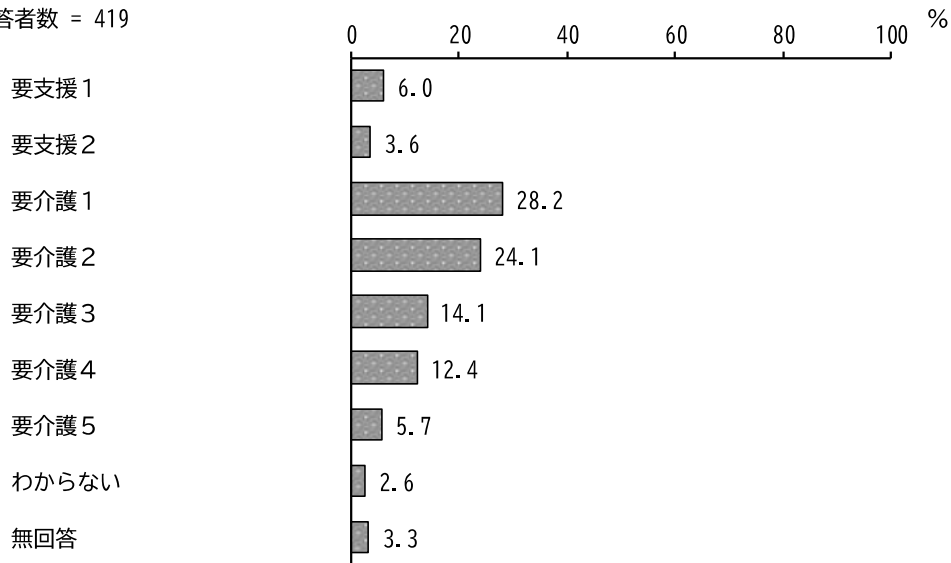
回答者数 = 419



問3 ご本人の要介護度について、ご回答ください（回答は1つ）

「要介護1」の割合が28.2%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が24.1%、「要介護3」の割合が14.1%となっています。

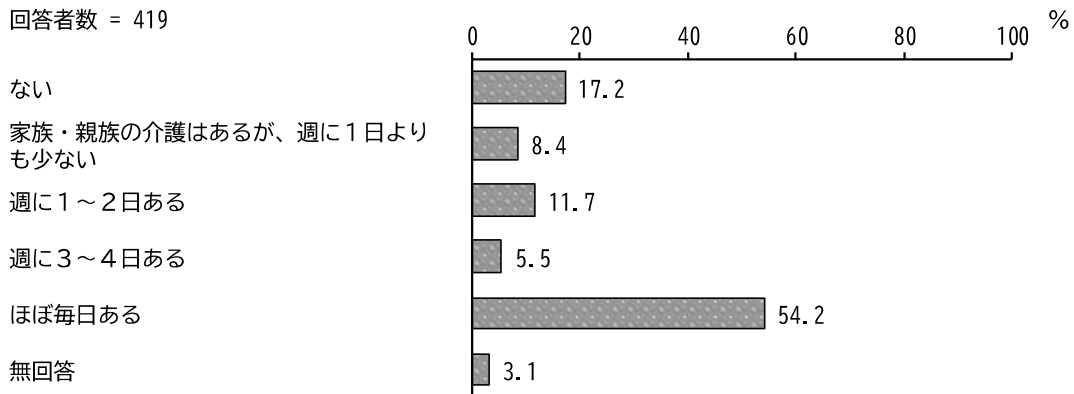
回答者数 = 419



問4 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（回答は1つ）

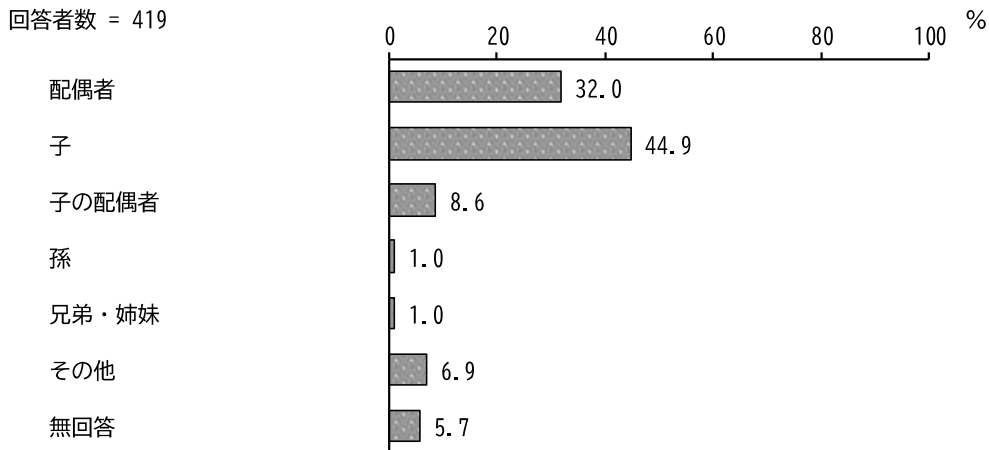
「ほぼ毎日ある」の割合が54.2%と最も高く、次いで「ない」の割合が17.2%、「週に1～2日ある」の割合が11.7%となっています。

回答者数 = 419



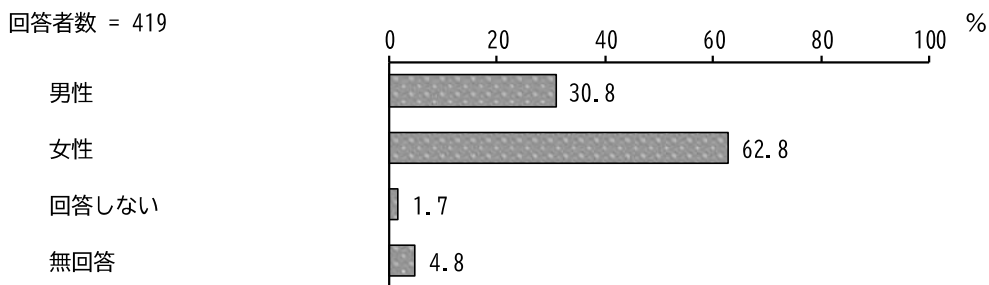
問5 主な介護者の方は、どなたですか（回答は1つ）

「子」の割合が44.9%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が32.0%となっています。



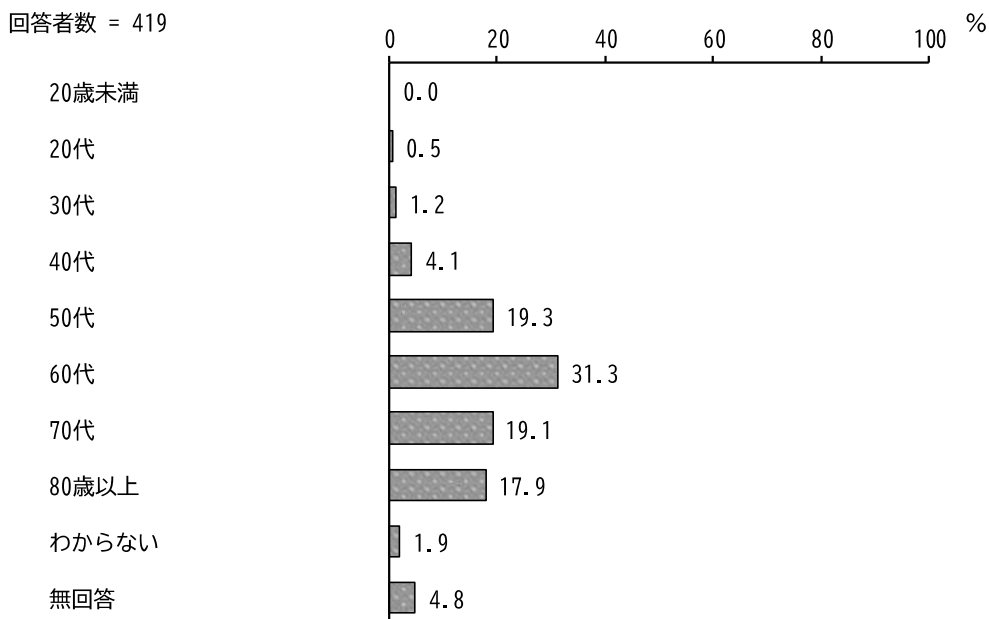
問6 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（回答は1つ）

「女性」の割合が62.8%と最も高く、次いで「男性」の割合が30.8%となっています。



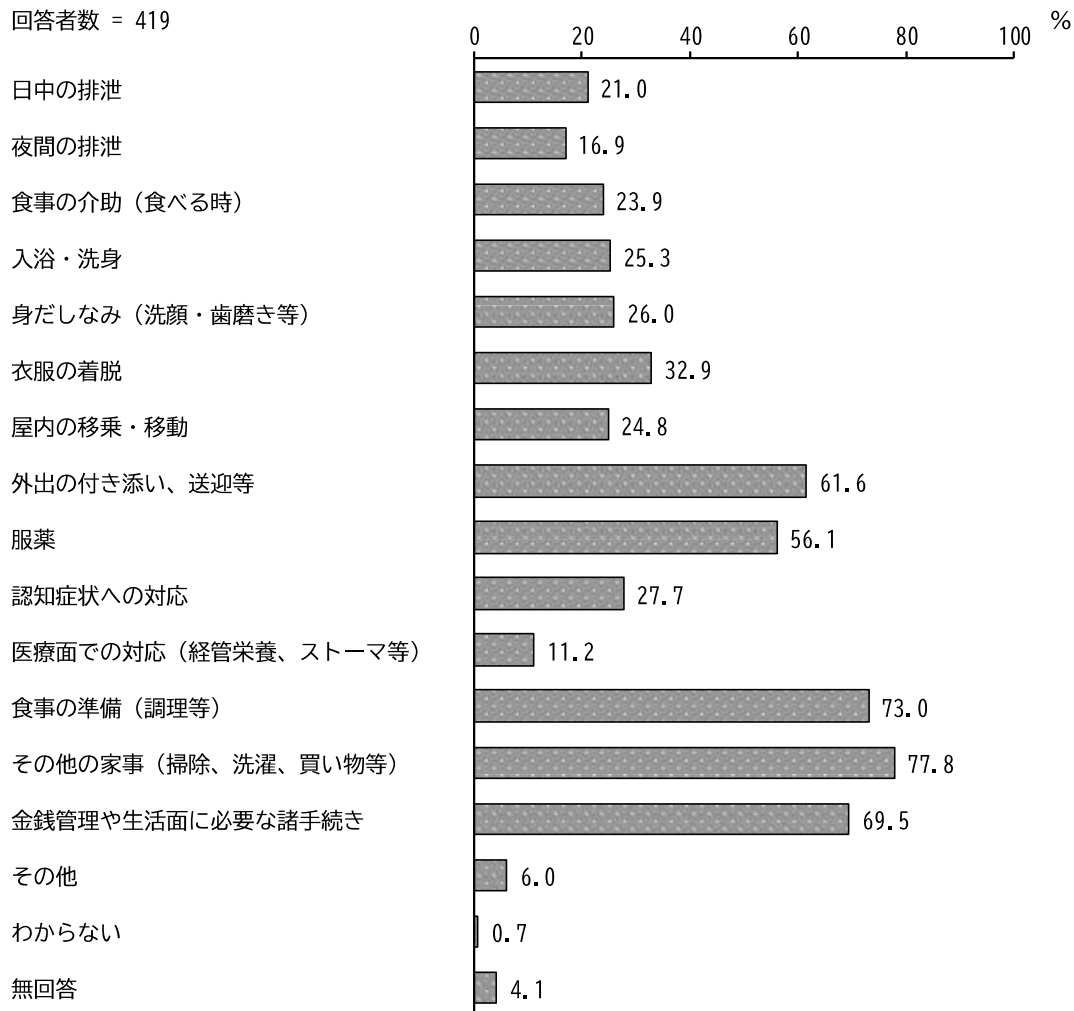
問7 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（回答は1つ）

「60代」の割合が31.3%と最も高く、次いで「50代」の割合が19.3%、「70代」の割合が19.1%となっています。



問8 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（いくつでも）

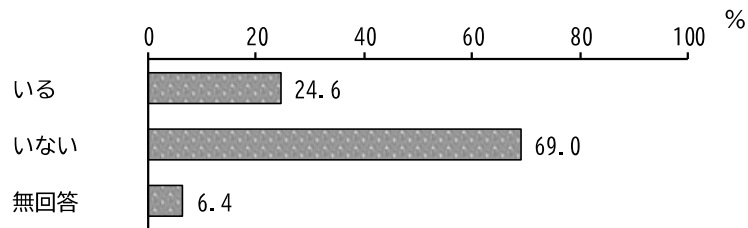
「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 77.8%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」の割合が 73.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が 69.5%となっています。



問9 ご本人（調査対象者）以外のご家族で成人していて（学生は除く）働いていない（所得のない）方はいますか（回答は1つ）

「いる」の割合が24.6%、「いない」の割合が69.0%となっています。

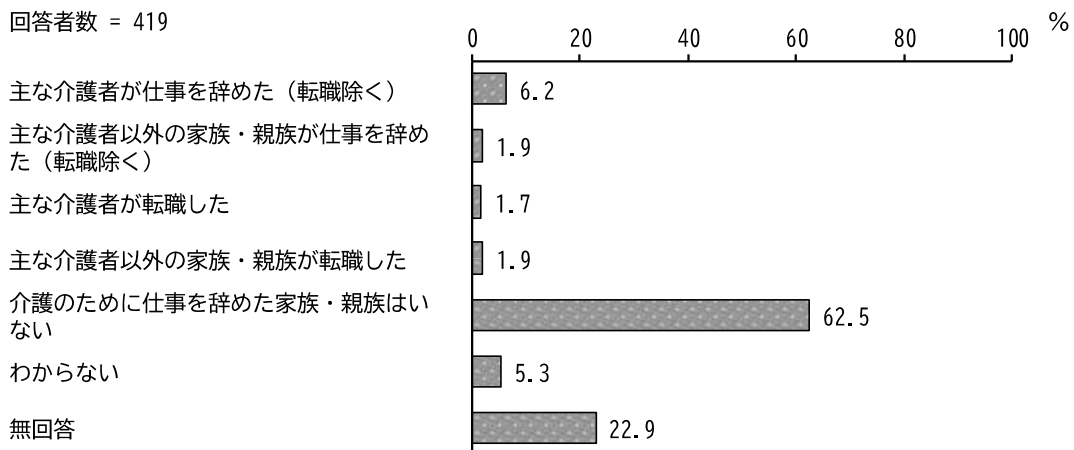
回答者数 = 419



問10 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

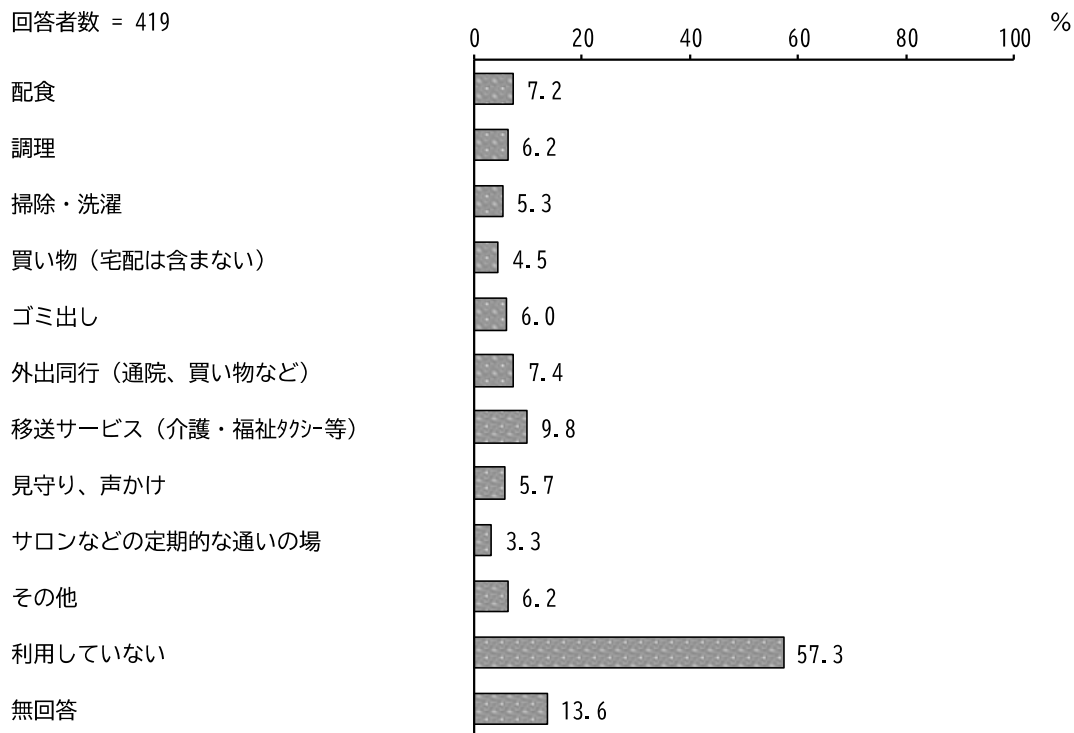
「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が62.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 419



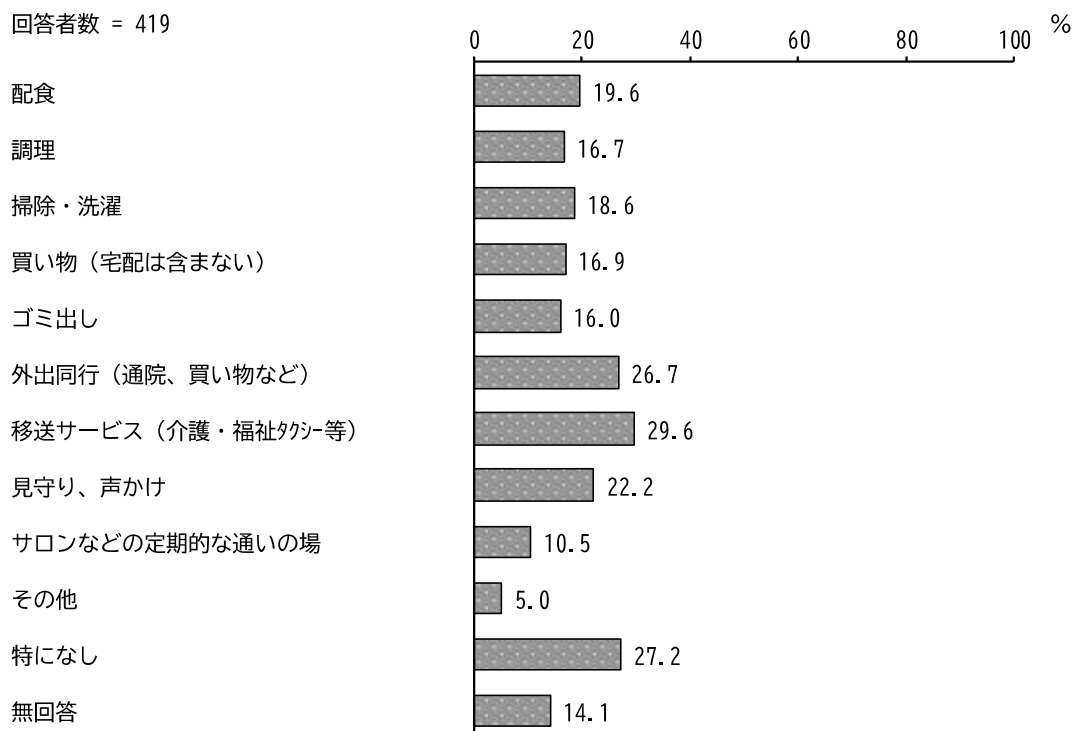
問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、
ご回答ください（いくつでも）

「利用していない」の割合が 57.3%と最も高くなっています。



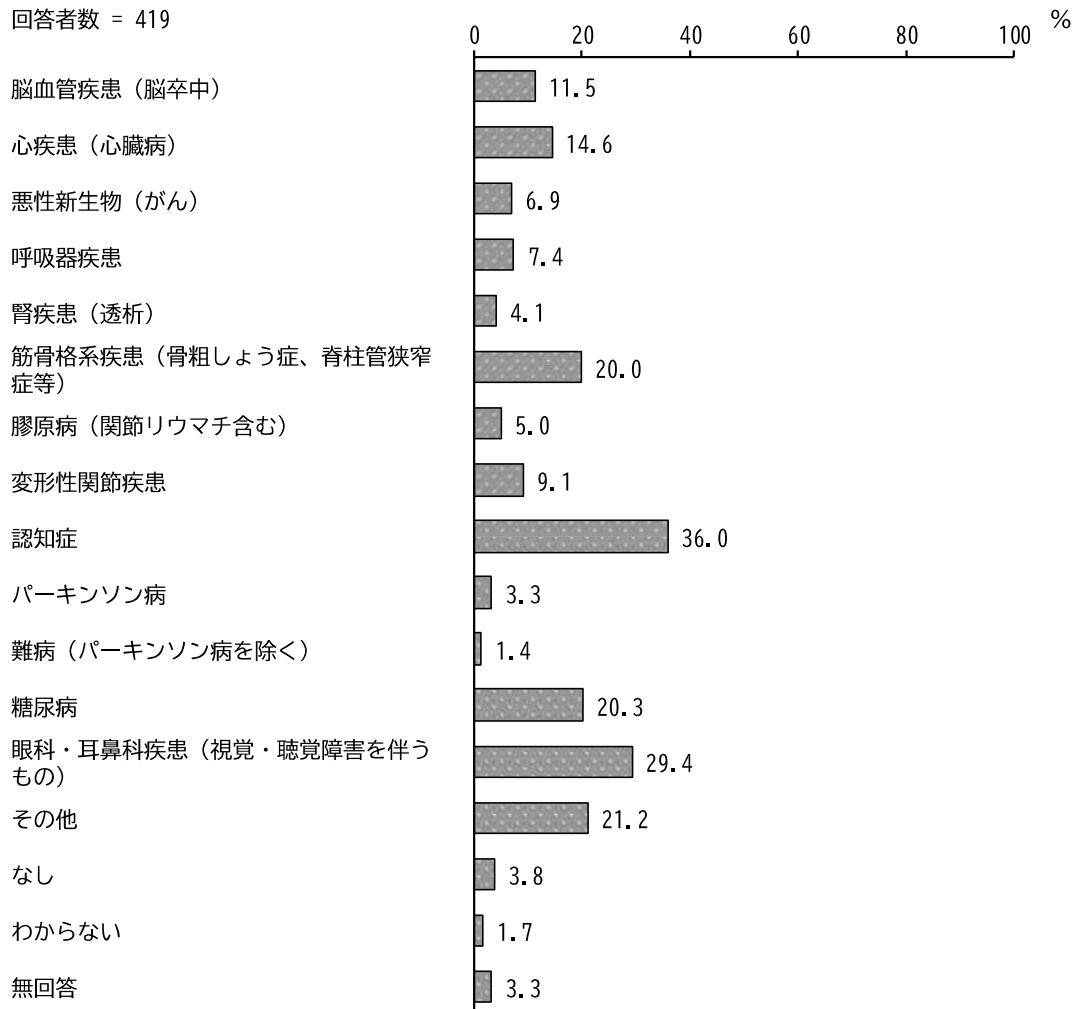
問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「特になし」の割合が 27.2%、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が 26.7%となっています。



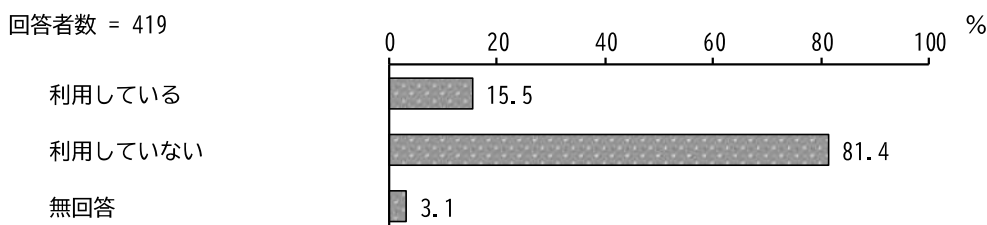
問 13 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（いくつでも）

「認知症」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が 29.4%、「糖尿病」の割合が 20.3%となっています。



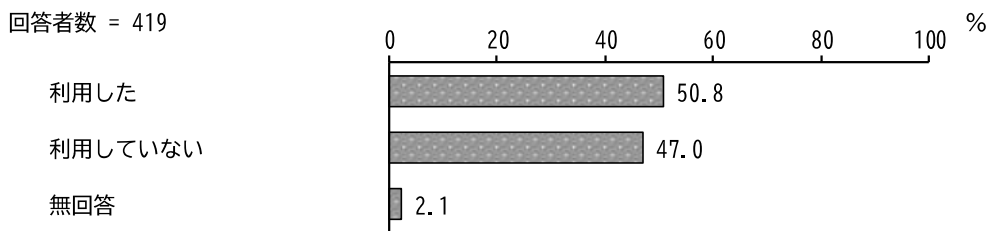
問 14 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（回答は1つ）

「利用している」の割合が 15.5%、「利用していない」の割合が 81.4%となっています。



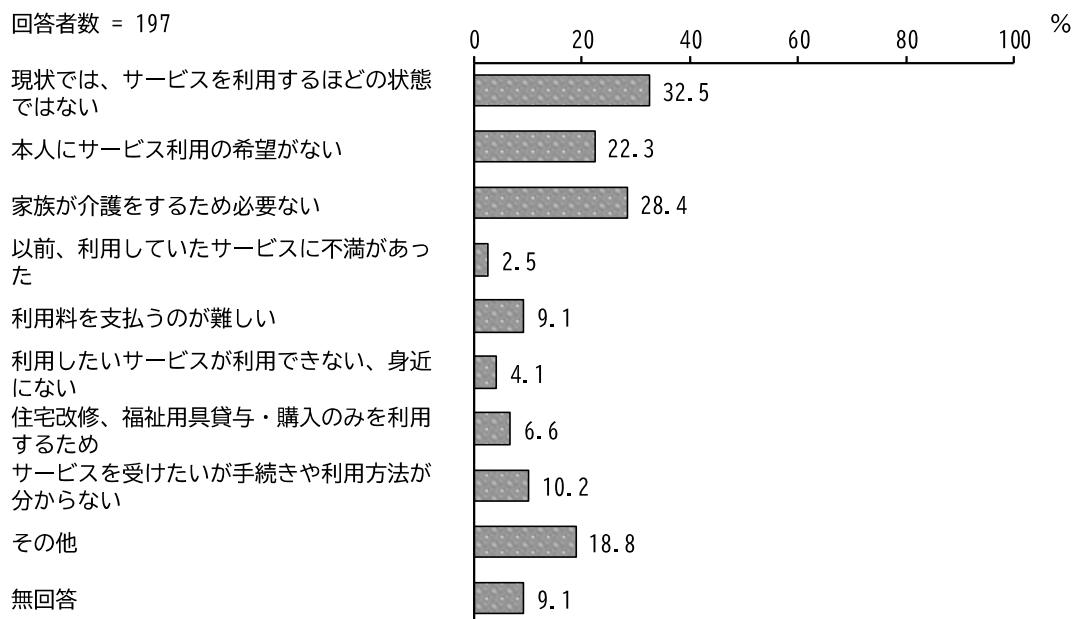
問 15 令和5年1月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか (回答は1つ)

「利用した」の割合が 50.8%、「利用していない」の割合が 47.0%となっています。



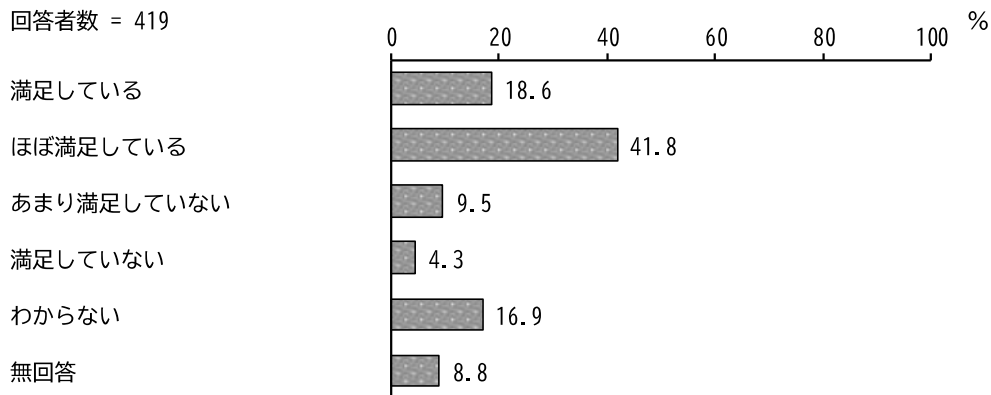
問 16 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (いくつでも)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」の割合が 28.4%、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 22.3%となっています。



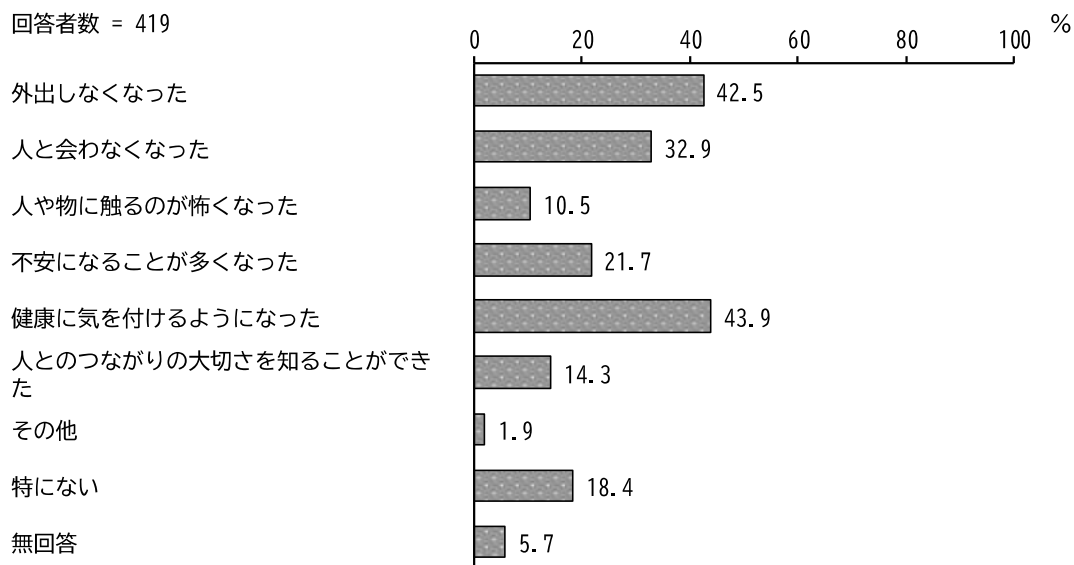
問 17 今のケアプランについて、あなたはどの程度満足していますか（回答は1つ）

「ほぼ満足している」の割合が41.8%と最も高く、次いで「満足している」の割合が18.6%、「わからない」の割合が16.9%となっています。



問 18 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの行動や意識に変化はありましたか（いくつでも）

「健康に気を付けるようになった」の割合が43.9%と最も高く、次いで「外出しなくなった」の割合が42.5%、「人と会わなくなった」の割合が32.9%となっています。

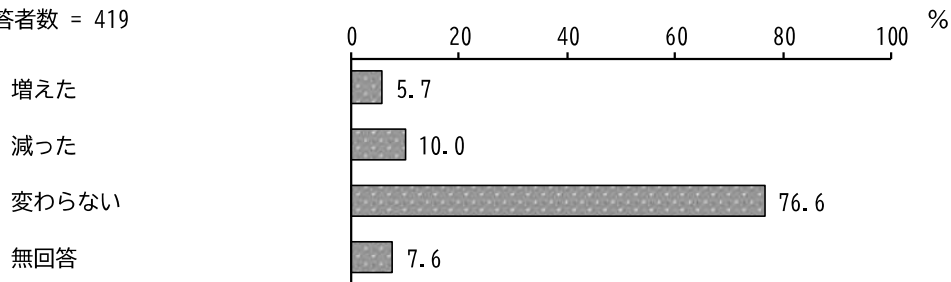


問 19 新型コロナウイルス感染症の影響でサービス利用状況は変化しましたか。また、それに伴う身体の変化はありますか（回答は1つ）

【サービスの利用状況】

「変わらない」の割合が76.6%と最も高く、次いで「減った」の割合が10.0%となっています。

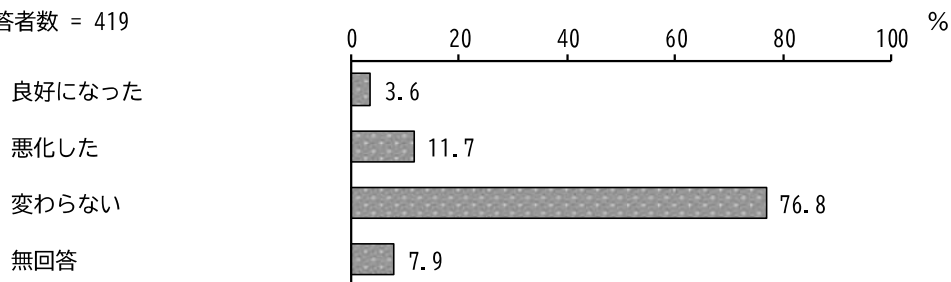
回答者数 = 419



【身体の状態】

「変わらない」の割合が76.8%と最も高く、次いで「悪化した」の割合が11.7%となっています。

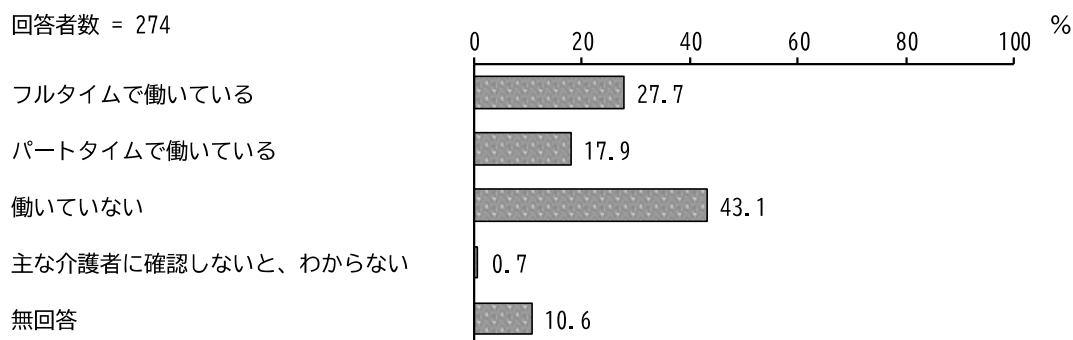
回答者数 = 419



(2) 主な介護者の方について

問 20 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（回答は1つ）

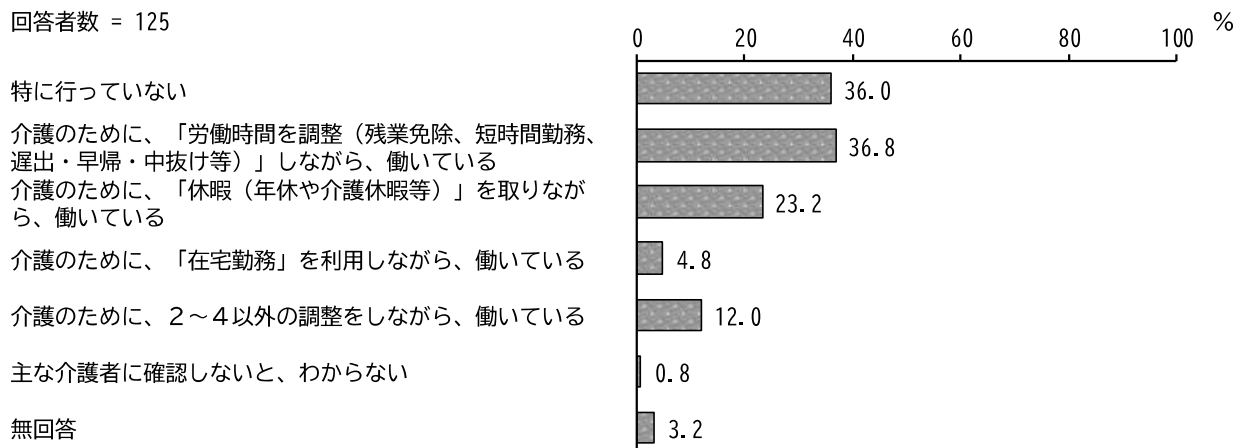
「働いていない」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が 27.7%、「パートタイムで働いている」の割合が 17.9%となっています。



問 21 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（いくつでも）

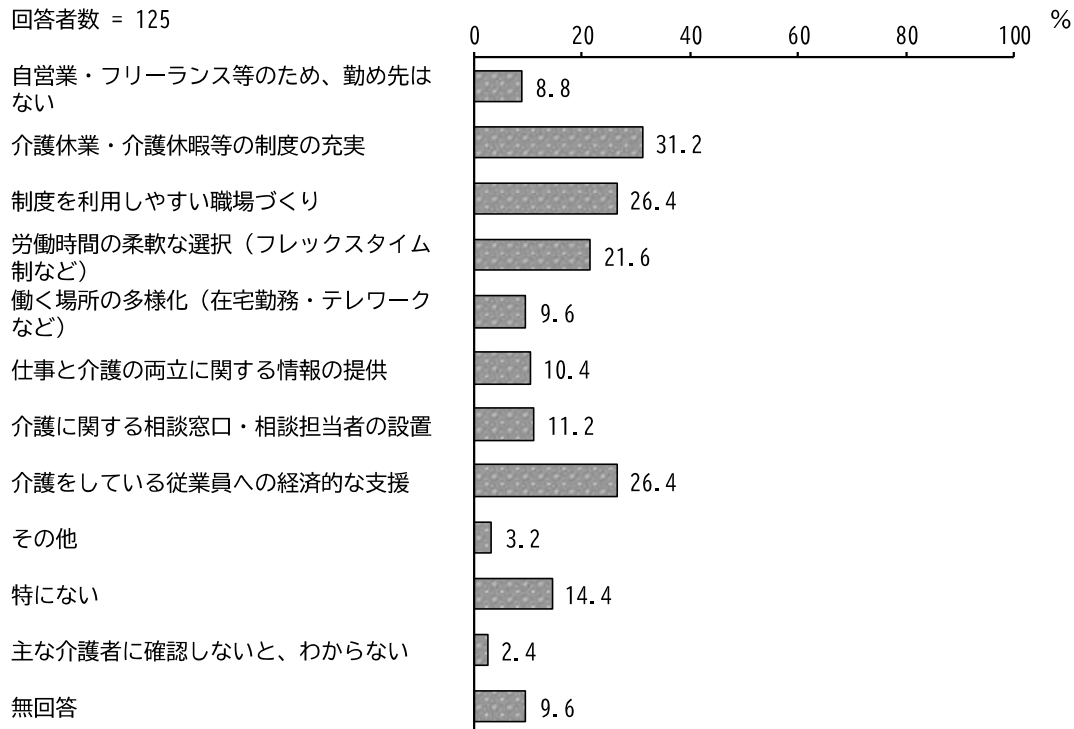
「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「特に行っていない」の割合が 36.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が 23.2%となっています。

回答者数 = 125



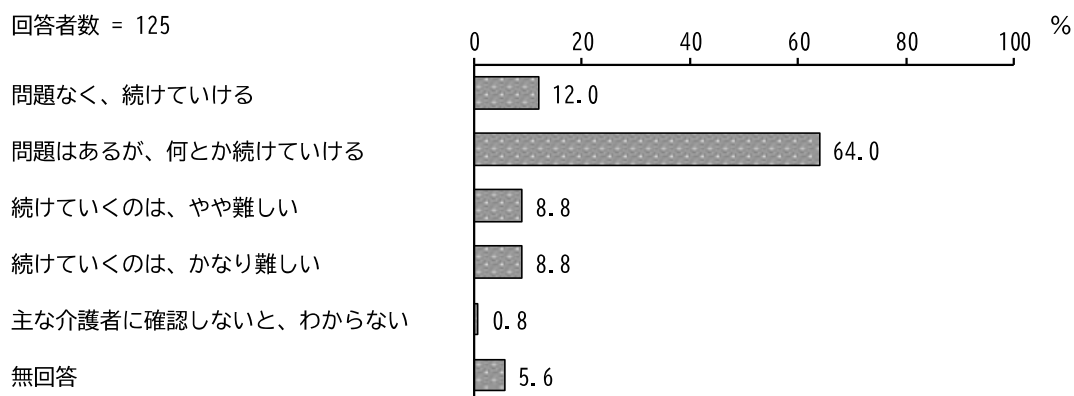
問 22 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（回答は3つまで）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が 31.2%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」、「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が 26.4%となっています。



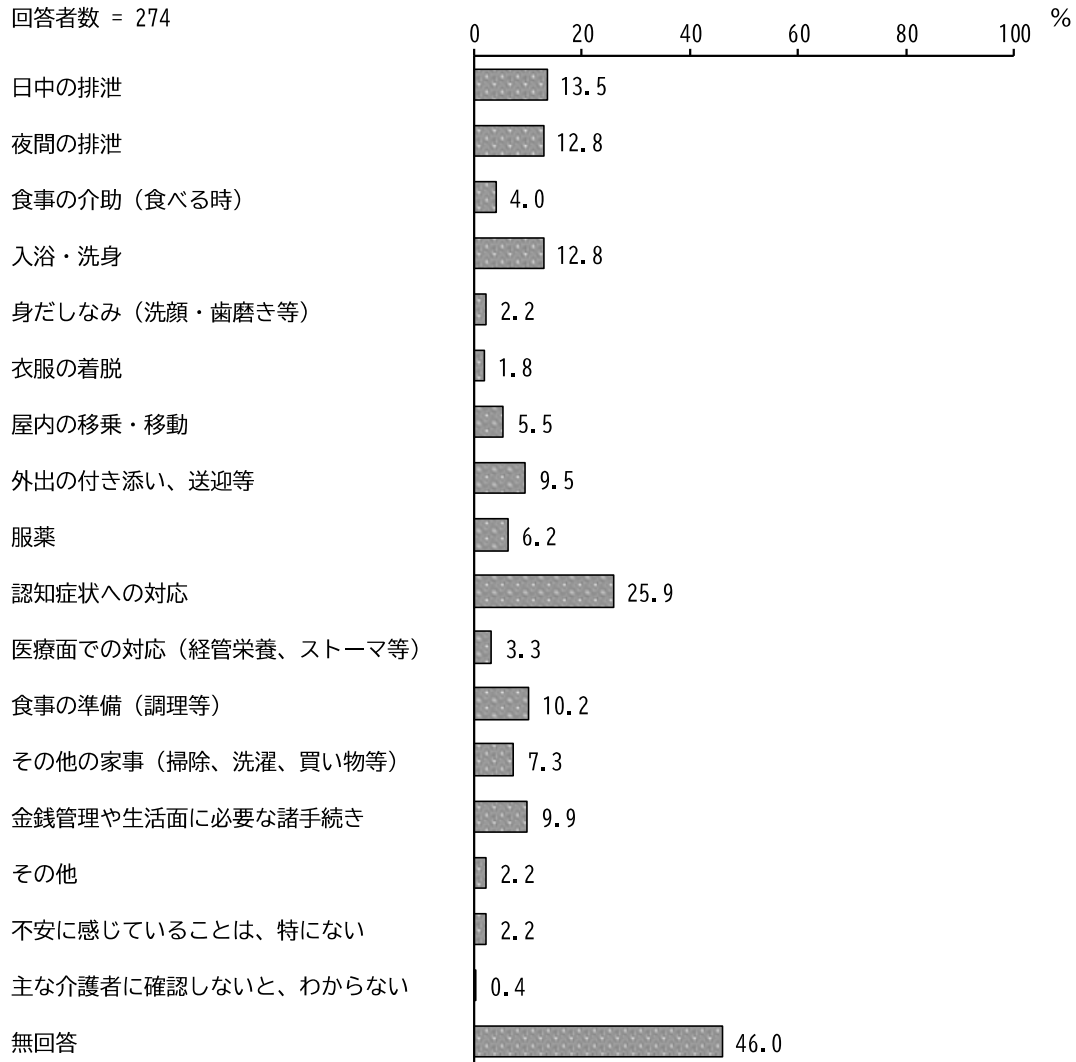
問 23 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（回答は1つ）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 12.0%となっています。



問 24 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（回答は3つまで）

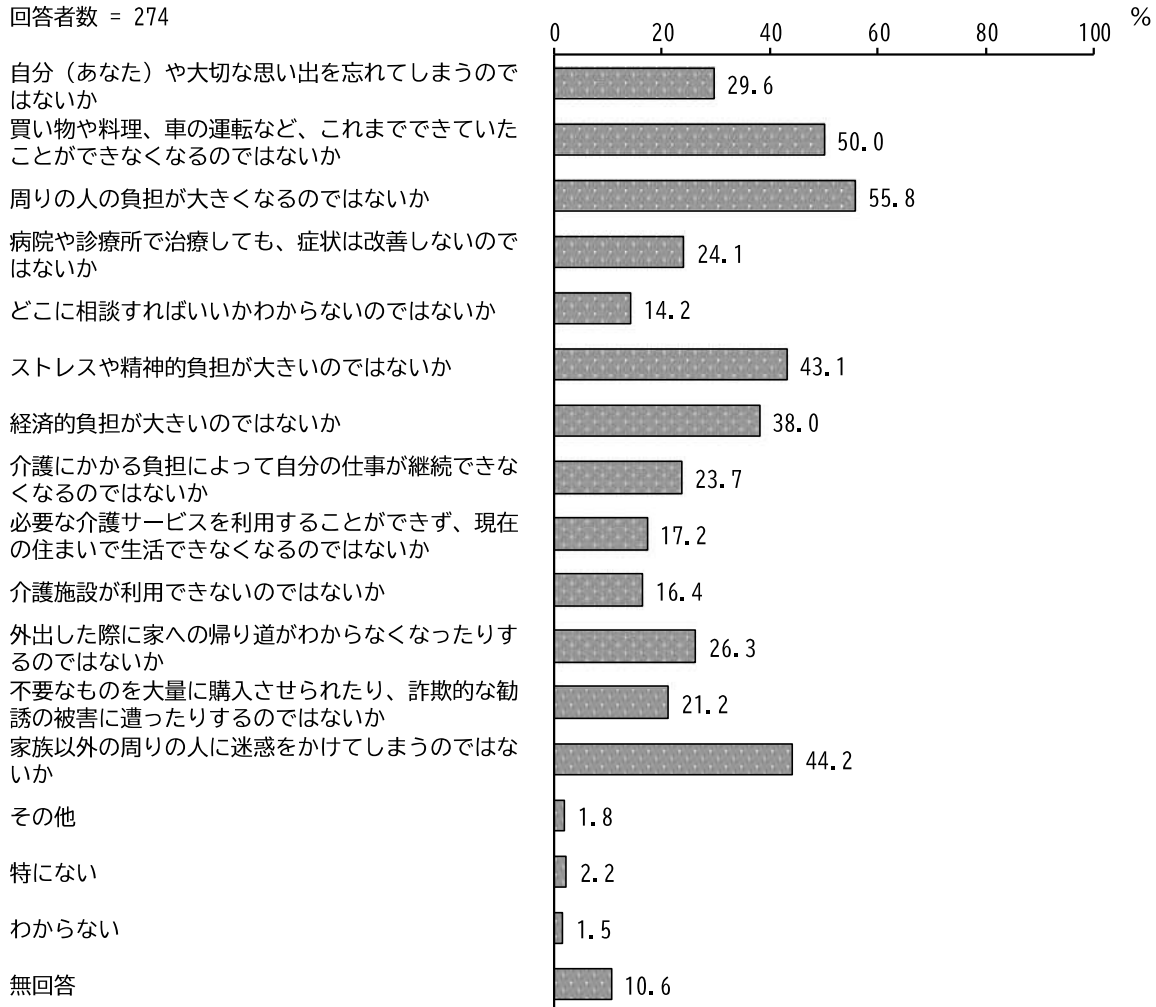
「認知症状への対応」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「日中の排泄」の割合が 13.5%、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」の割合が 12.8%となっています。



問 25 ご自身やご家族が認知症になったら不安に感じることは何がありますか

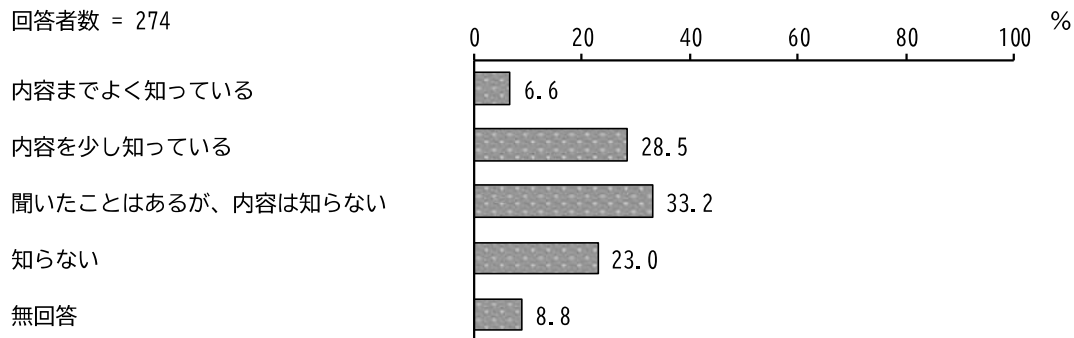
「周りの人の負担が大きくなるのではないか」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるのではないか」の割合が 50.0%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」の割合が 44.2%となっています。

回答者数 = 274



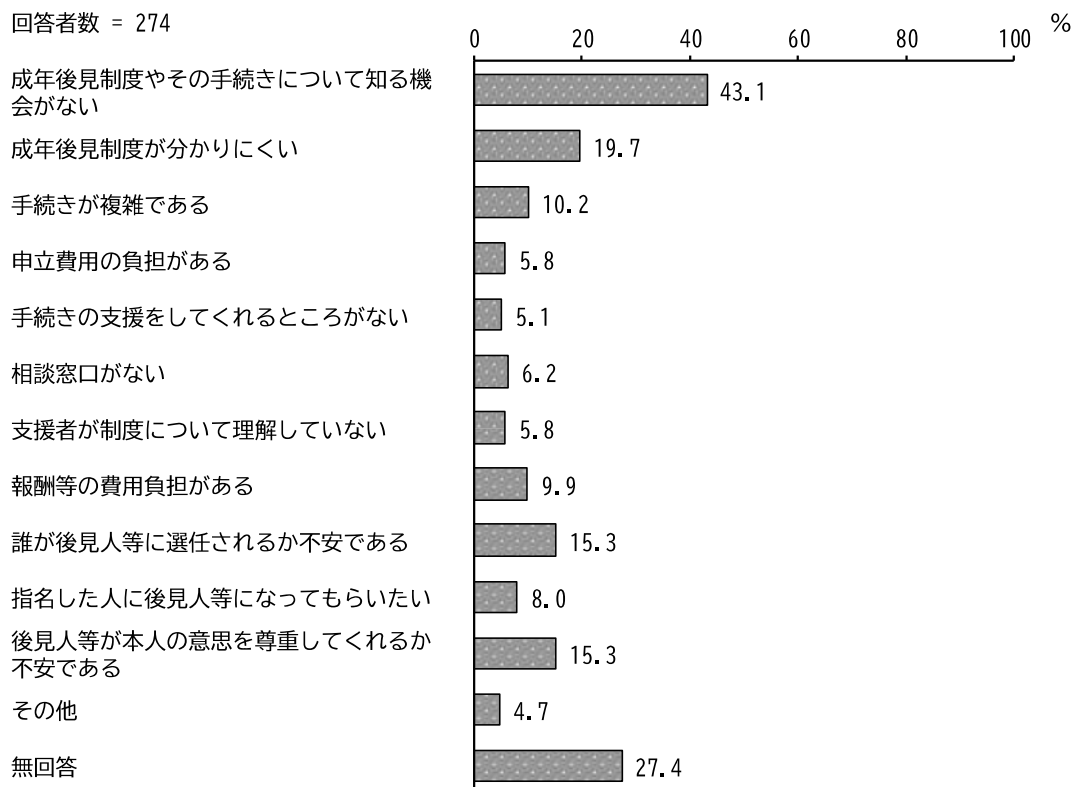
問 26 あなたは、「成年後見制度」をご存知ですか（回答は1つ）

「聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が33.2%と最も高く、次いで「内容を少し知っている」の割合が28.5%、「知らない」の割合が23.0%となっています。



問 27 成年後見制度の利用促進に向けての課題は何だと思いますか

「成年後見制度やその手続きについて知る機会がない」の割合が43.1%と最も高く、次いで「成年後見制度が分かりにくい」の割合が19.7%、「誰が後見人等に選任されるか不安である」、「後見人等が本人の意思を尊重してくれるか不安である」の割合が15.3%となっています。



4 在宅生活改善調査

(1) 自宅等から居所を変更した利用者の行先別の人数

過去1年間に自宅等から居所を変更した利用者は169人で、行先別の人数をみると、特別養護老人ホームが43人(25.4%)、サービス付き高齢者向け住宅が27人(16.0%)、介護老人保健施設が21人(12.4%)と多く、兄弟・子ども・親戚等の家が18人(10.7%)と続いています。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

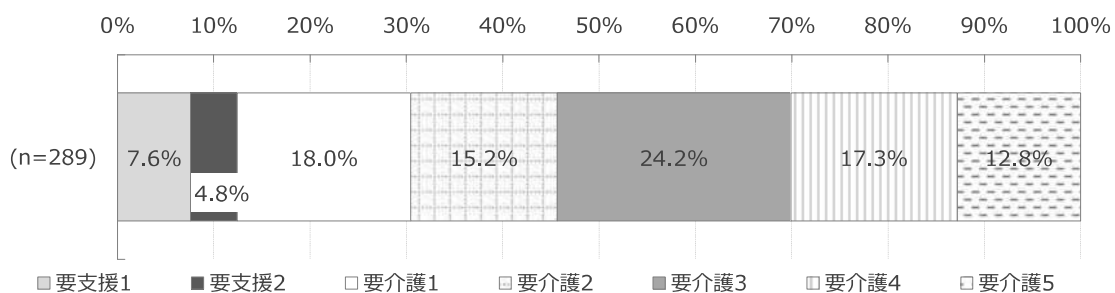
行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	11人 6.5%	7人 4.1%	18人 10.7%
住宅型有料老人ホーム	1人 0.6%	2人 1.2%	3人 1.8%
軽費老人ホーム	0人 0.0%	2人 1.2%	2人 1.2%
サービス付き高齢者向け住宅	12人 7.1%	15人 8.9%	27人 16.0%
グループホーム	11人 6.5%	0人 0.0%	11人 6.5%
特定施設	7人 4.1%	3人 1.8%	10人 5.9%
地域密着型特定施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護老人保健施設	14人 8.3%	7人 4.1%	21人 12.4%
療養型・介護医療院	8人 4.7%	1人 0.6%	9人 5.3%
特別養護老人ホーム	32人 18.9%	11人 6.5%	43人 25.4%
地域密着型特別養護老人ホーム	3人 1.8%	1人 0.6%	4人 2.4%
その他	6人 3.6%	15人 8.9%	21人 12.4%
行先を把握していない			0人 0.0%
合計	105人 62.1%	64人 37.9%	169人 100.0%

(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
 (注2) 表の上段の数値は、「回答実数」であり、回収率の逆数に乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

(2) 自宅等から居所を変更した利用者の要介護度の内訳

過去1年間に自宅等から居所を変更した利用者のうち、死亡を除いた要介護度の内訳をみると、要介護3が24.2%と最も多く、要介護1が18.0%、要介護4が17.3%、要介護2が15.2%とそれに続きます。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



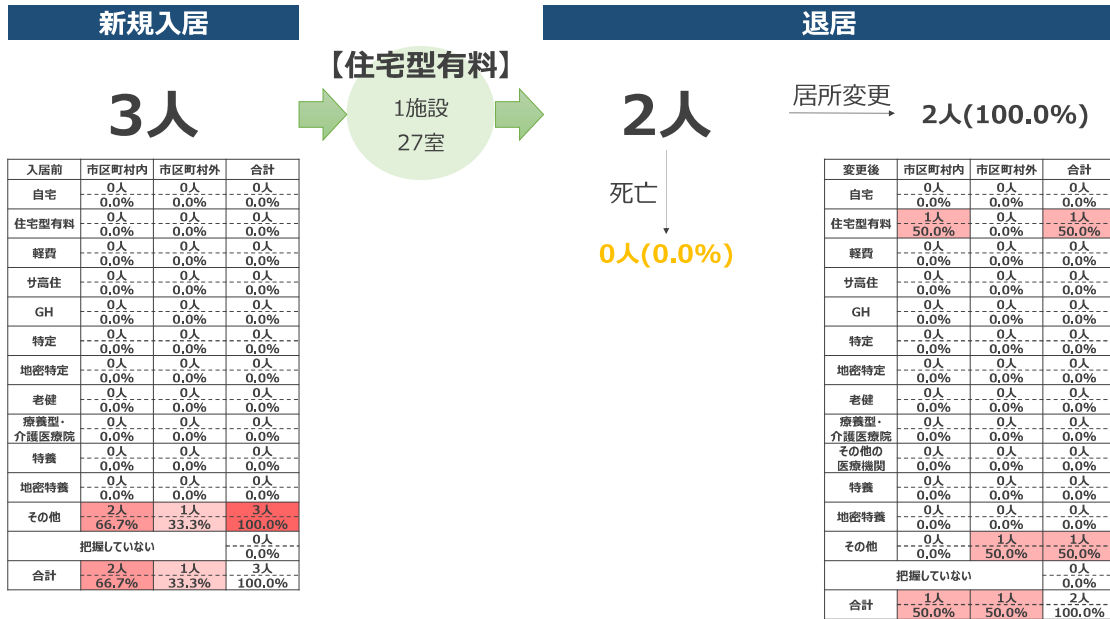
(注)「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。また、死亡した方は集計から除いています。

5 居所変更実態調査

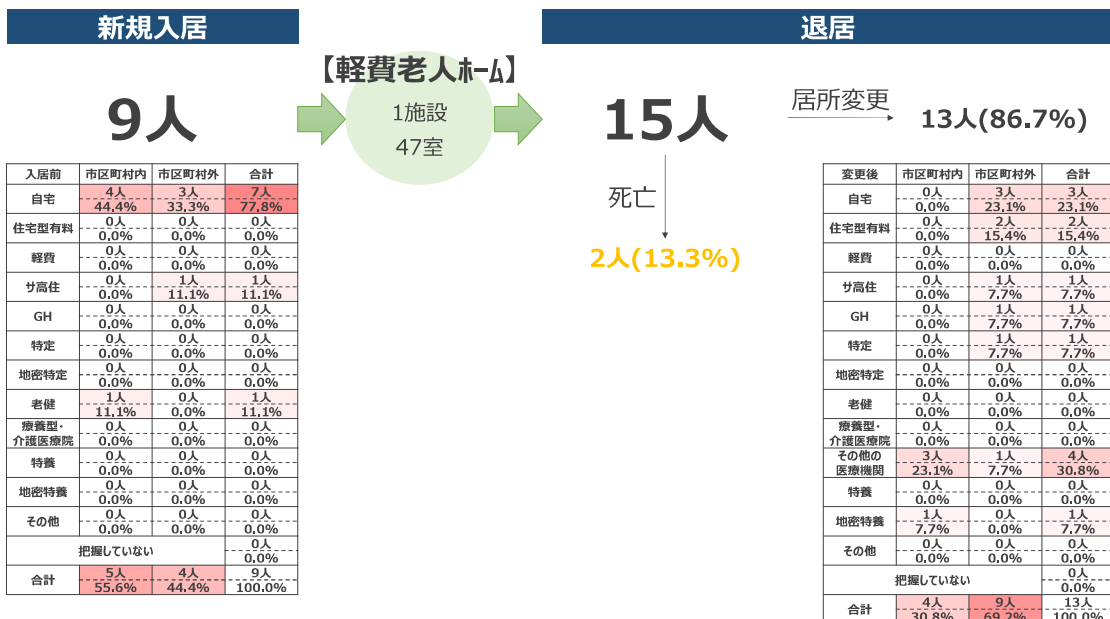
(1) 地域内の居所移動の実態

過去1年間の施設等の新規の入居・入所及び退去・退所の流れをサービス種類別にみると、特別養護老人ホームで退去者が139人、死亡も95人と最も多くなっています。

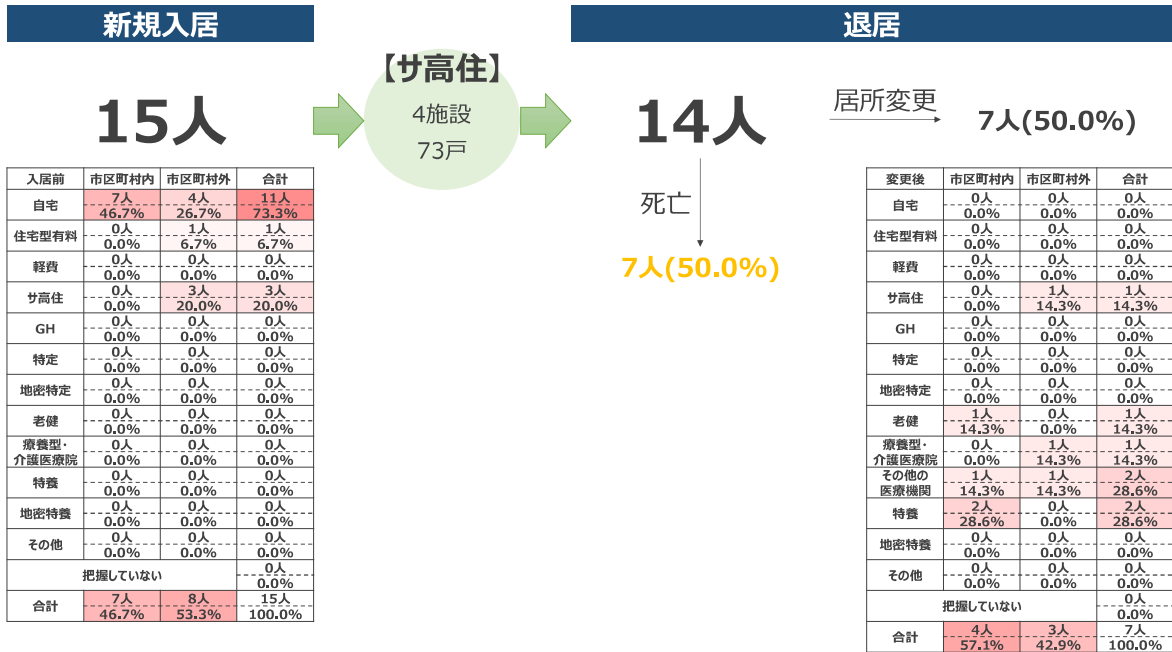
過去1年間の住宅型有料老人ホームの入居及び退居の流れ



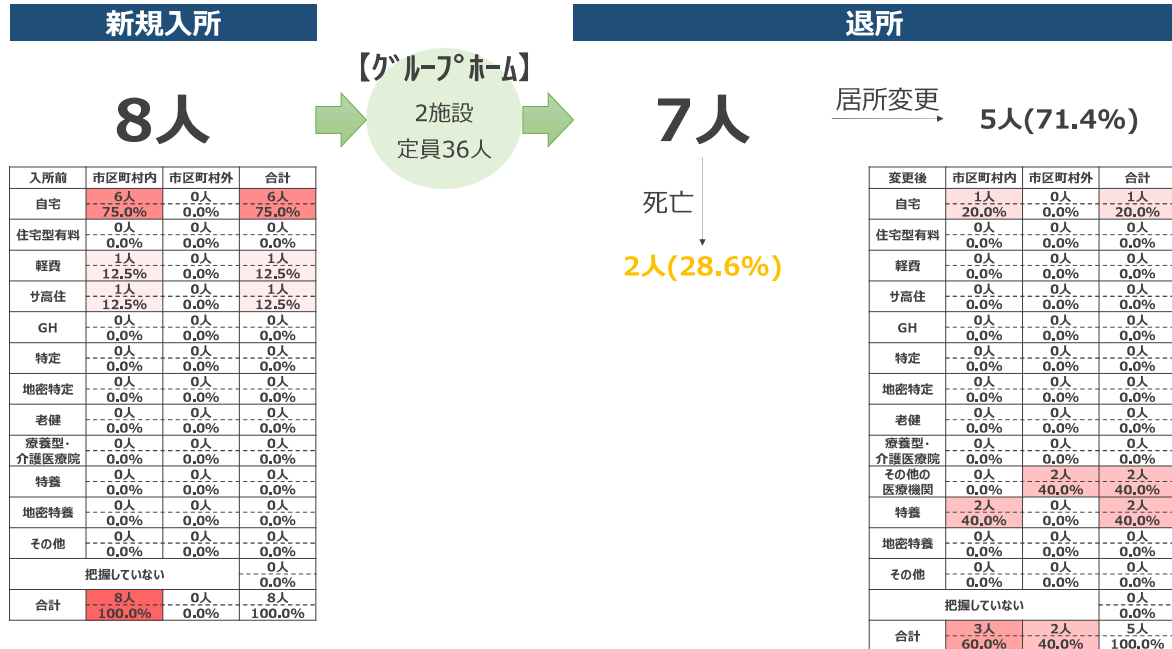
過去1年間の軽費老人ホームの入居及び退居の流れ



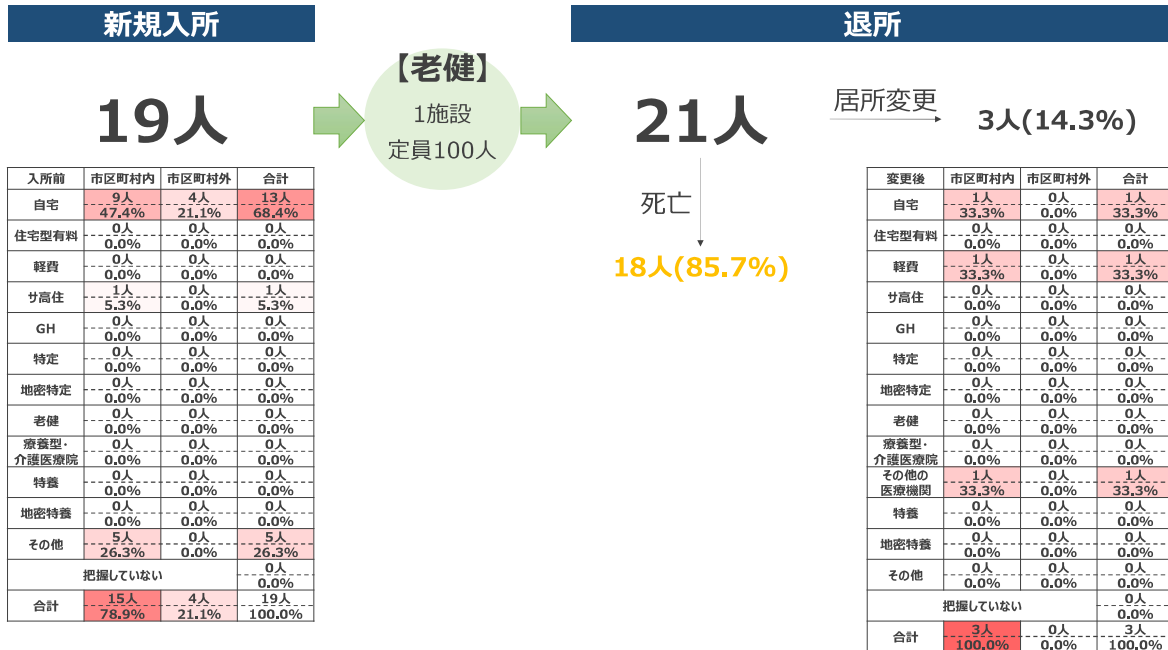
過去1年間のサービス付き高齢者向け住宅の入居及び退居の流れ



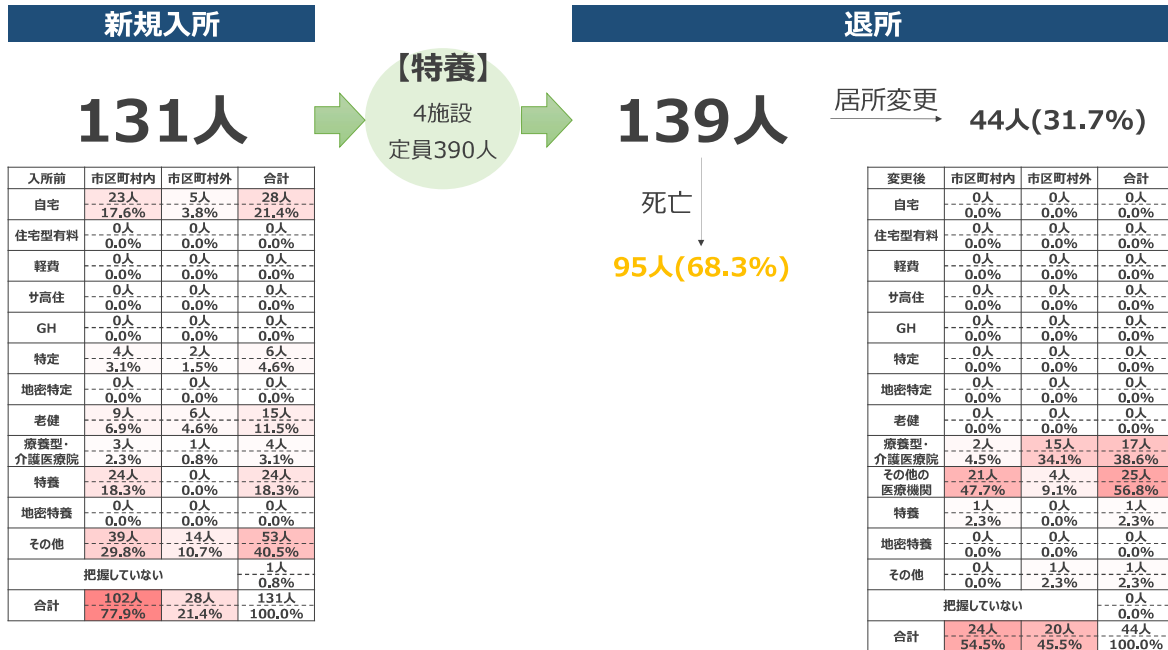
過去1年間のグループホームの入所及び退所の流れ



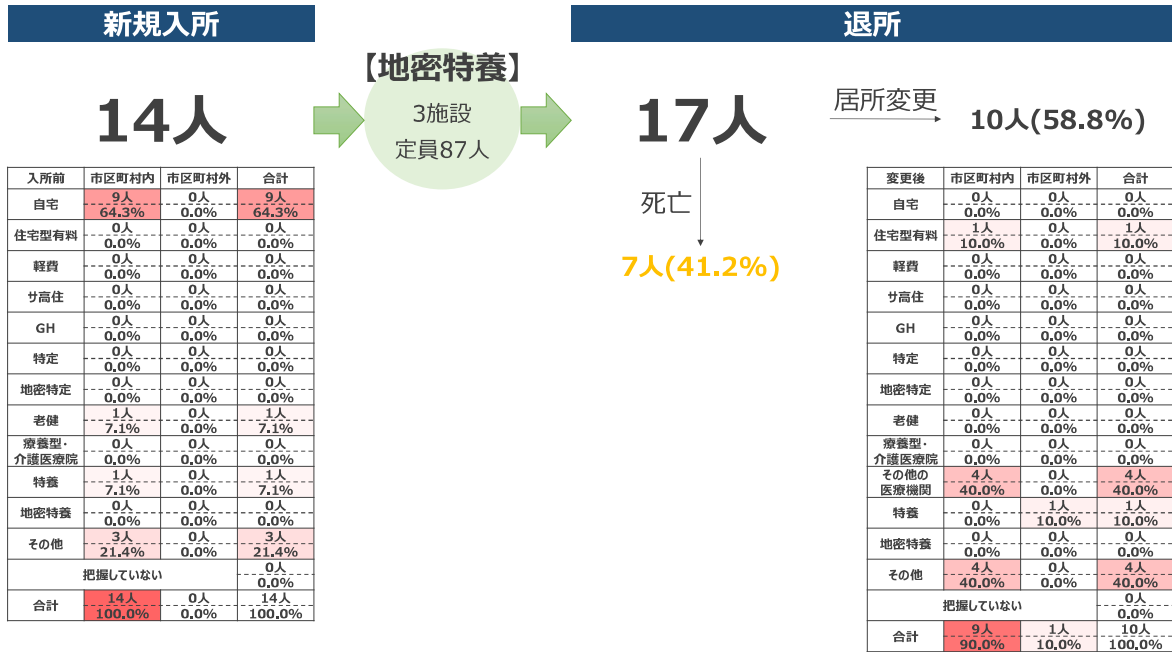
過去1年間の介護老人保健施設の入所及び退所の流れ



過去1年間の特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ



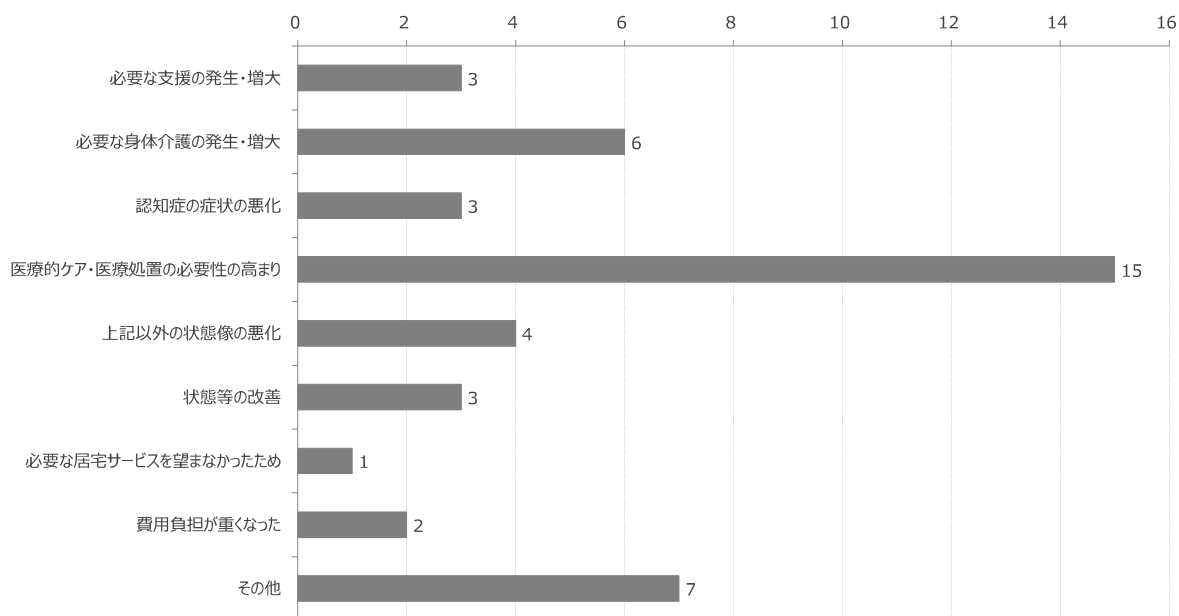
過去1年間の地域密着型特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ



(2) 居所変更した理由

各施設等から居所変更した理由をみると、「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」、「必要な身体介護の発生・増大」、「上記以外の状態像の悪化」などとなっています。

居所変更した理由 (n=16、順位不問、複数回答)

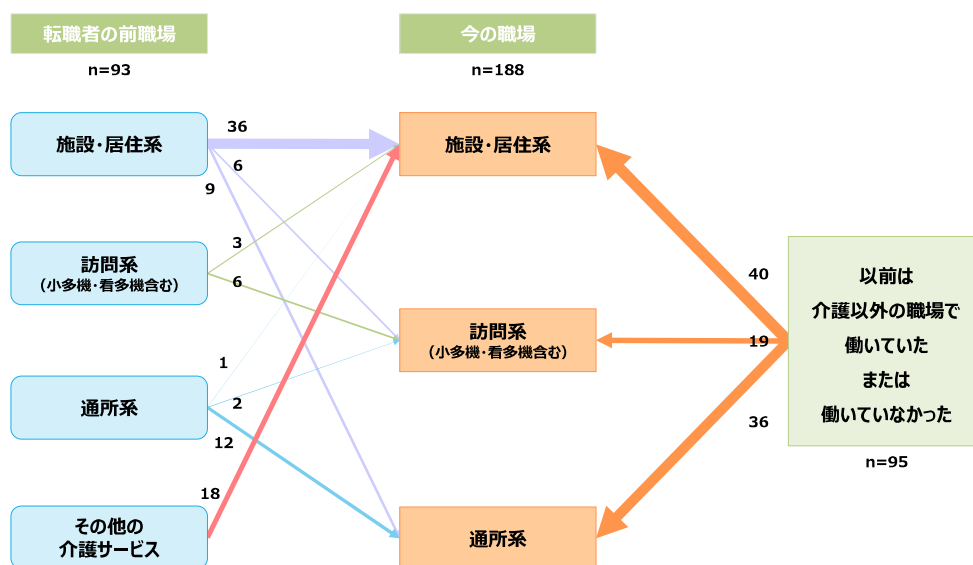


6 介護人材実態調査

(1) 過去1年間の介護職員の職場の変化

過去1年間の介護職員の職場の変化をみると、多いのは、「以前は介護以外の職場で働いていた、または働いていなかった」人が「施設・居住系」「通所系」の職場に採用される動線、「施設・居住系」の職場で働いていた人が「施設・居住系」の職場に採用される動線などです。

過去1年間の介護職員の職場の変化
(同一法人・グループ内での異動は除く)

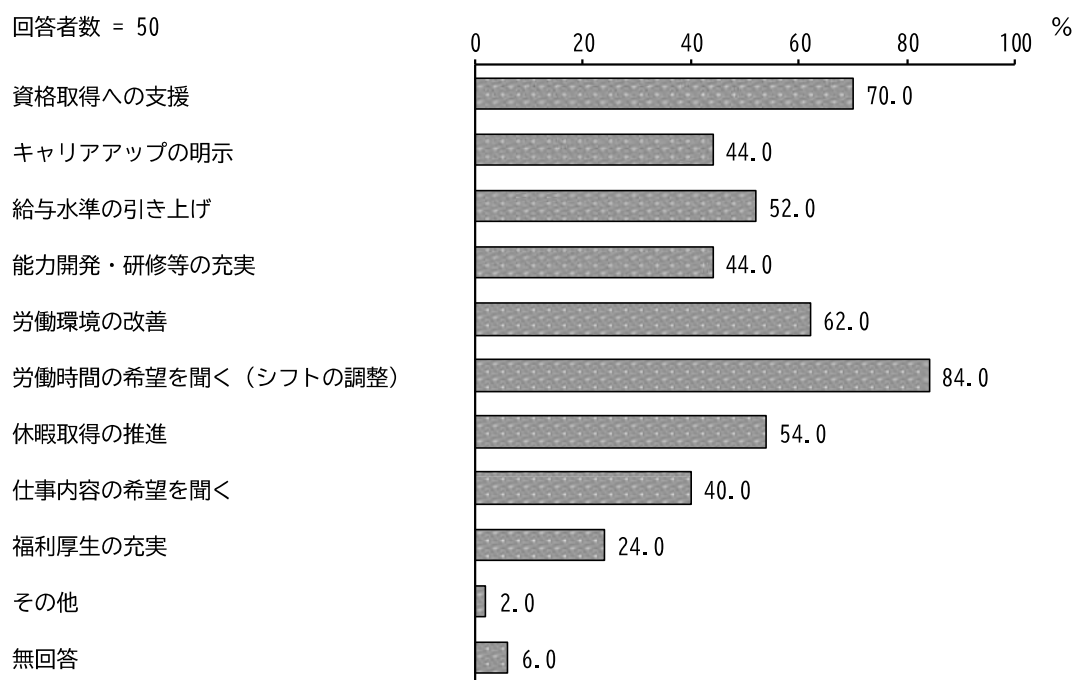


(注) 上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています。

(2) 人材確保や職員定着のための取り組み

問2-5 貴事業所では、人材確保や職員定着のためにどんなことに取り組んでいますか。
(該当項目に○)

「労働時間の希望を聞く（シフトの調整）」の割合が84.0%と最も高く、次いで「資格取得への支援」の割合が70.0%、「労働環境の改善」の割合が62.0%となっています。



君津市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計
画実態調査（アンケート）に係る分析結果報告書
令和5年3月

発行：君津市 福祉部介護保険課 介護推進係
〒299-1192 君津市久保2丁目13番1号
TEL 0439-56-1736